上 下 水 道 事 業 年 報

―令和７年度版―

小　樽　市　水　道　局

目　　次

水　道　事　業

1　沿　　革 …… 1

2　施　設　の　概　要 …… 7

(1) 施　設　の　概　要 …… 7
(2) 浄水場別送水実績 …… 8
(3) 水道施設位置図 …… 9
(4) 小樽市水道施設フローシート …… 10
(5) 水利権許可状況 …… 11

3　事　業　の　概　要 …… 12

(1) 上水道事業認可の経緯 …… 12
(2) 導・送水管整備事業 …… 13
(3) 配水管整備事業 …… 16
(4) 改　良　事　業 …… 22
(ｱ) 消火栓新設工事 …… 22
(ｲ) 消火栓整備工事 …… 22
(ｳ) 老朽施設等更新改良工事 …… 23
(5) 石狩湾新港銭函地区簡易水道事業 …… 31
(6) 配　水　管　延　長 …… 32

4　浄　水　状　況 …… 33

(1) 浄水量、薬品使用量、塩素注入量 …… 33
(2) 水質試験実施状況 …… 34
(ｱ) 法定及び管理試験 …… 34
(ｲ) その他の試験・調査・研究事項 …… 35
(3) 水質試験成績表 …… 36
(ｱ) 令　和　6　年　度 …… 36
(ｲ) 令　和　7　年　度 …… 38

5　給・配水状況 …… 40

6　給・配水工事状況 …… 41

(1) 給水装置工事 …… 41
(2) 配　水　管　工　事 …… 41
(ｱ) 配　水　管　修　繕 …… 41
(ｲ) 消　　火　　栓 …… 41

7　漏　水　防　止　対　策 …… 42

(1) 漏水防止対策の変遷 …… 42
(2) 漏水防止実施状況 …… 42

8 メーター設置状況 …… 42
9 料金等業務状況 …… 43
(1) 料金改定変遷表 …… 43
(2) 検針業務状況 …… 44
(3) 料金調定状況 …… 44
(4) 加入金 …… 45
(5) 加入金収入状況 …… 45
10 財務状況 …… 46
(1) 比較損益計算書 …… 46
(2) 比較貸借対照表 …… 47
(3) 経営指標 …… 49

下水道事業

1 沿革 …… 50
2 施設の概要 …… 53
(1) 下水終末処理場 …… 53
(2) 中継ポンプ場 …… 54
(3) 下水道施設位置図 …… 55
3 事業の概要 …… 56
(1) 下水道事業認可の経緯 …… 56
(2) 認可計画 …… 57
(3) 事業費 …… 58
(ｱ) 計画別事業費 …… 58
(ｲ) 処理区別事業費 …… 58
(4) 普及状況 …… 59
(5) 整備状況 …… 60
(ｱ) 管渠 …… 60
(ｲ) 処理場 …… 60
(ｳ) ポンプ場 …… 62
4 処理状況 …… 64
(1) 処理量 …… 64
(2) 水質試験実施状況 …… 64
(ｱ) 平常試験 …… 64
(ｲ) 定期（精密）試験 …… 65
(ｳ) その他の試験・調査事項 …… 66
(ｴ) 中央・銭函・蘭島下水終末処理場の定期水質試験結果 …… 68

5 特定事業場と水質指導 …… 69
(1) 下水道法に基づく届出状況 …… 69
(2) 監視状況 …… 69
(ｱ) 監視・指導 …… 69
(ｲ) 水質立入り検査 …… 69
6 排水設備工事状況 …… 69
7 管渠維持状況 …… 69
8 建設改良工事状況 …… 70
9 水洗化普及状況 …… 75
10 使用料等業務状況 …… 76
(1) 使用料改定変遷表 …… 76
(2) 使用料調定状況 …… 77
(3) 受益者負担金賦課状況 …… 77
(4) 貸付制度 …… 77
11 財務状況 …… 78
(1) 比較損益計算書 …… 78
(2) 比較貸借対照表 …… 79
(3) 経営指標 …… 81

機構及び人事状況

1 機構図 …… 82
2 事務分掌 …… 83
3 職員配置 …… 86
4 年齢別職員構成 …… 88
5 勤続年数別職員構成 …… 88
6 職員数推移調 …… 89

水　道　事　業

１　沿　　革

年号	年	月	日	内　　容
明治	27	11		水道敷設の声高まり、北海道庁に調査設計を申請
	29	2		道庁から実施調査の結果報告
		6	9	給水人口10万人として水道敷設認可及び国費補助を申請
	34	9		小樽区上水道実施設計に着手
	38	9		仮設水道工事に着手
		12		仮設水道工事竣工
	40	6	20	創設水道敷設及び補助を申請
		12	26	小樽区水道敷設の許可
	41	1	4	創設水道事務を開始
		3	6	創設水道工事に着手
	43			上水協議会（日本水道協会）に全国で21番目に加入
	44	7	7	一部給水開始
大正	3	9	30	創設水道工事竣工
	4	8	12	奥沢水源地で通水祝賀式を挙行
				小樽区水道工事報告文発行
	10	4		水道の会計を特別会計
		8	29	第１次拡張工事認可申請
	11	3	25	同上認可
		7	31	同上起工
		8	1	市制施行
	15	7	25	第１次拡張通水式を潮見台浄水場で挙行
昭和	2	12	12	同上竣工
	3	3	28	高島郡高島町及び厩の一部を給水区域に編入
	5	9	30	水天宮から水神さんを勧請
	6	10	10	放任制を計量制に改定
	9			日本水道協会北海道地方支部総会開催（第３回）
	12	6		奥沢浄水場で液体塩素採用
	16			日本水道協会北海道地方支部総会開催（第10回）
		10		奥沢貯水ダム補強工事着手
	17	10		奥沢貯水池及びろ過池に偽装網を施工
	20			日本水道協会北海道地方支部臨時総会開催
	22	7		改良工事係を置き配水量の増強を図るため各所にポンプを設置
				日本水道協会北海道地方支部臨時総会開催
	24	4	1	水道料金改定
		9	14	高島町給水工事に着手
	26	4	16	第２次拡張工事認可
		8	1	水道料金改定
	27	5	20	第２次拡張工事着手
		8	17	朝里地区簡易水道工事着手
		9		高島町給水工事竣工
		11	1	入船町８丁目に庁舎・倉庫等を新設して本庁舎から移転
		12	27	水道課を部制に改組
	28	1	1	地方公営企業法により企業会計を実施
		4	1	水道料金改定
	29	3	25	朝里地区簡易水道工事竣工
		4	1	水道料金改定
		8	10～12	日本水道協会全国総会開催
		9	18	銭函地区簡易水道工事着手
			27	台風15号のため朝里水源地の建物その他被害
		12	25	第２次拡張工事竣工
	30	11	30	銭函地区簡易水道工事竣工
	31	8	1	水道料金改定
		10		市内の配水を円滑にする応急拡張工事を施工
	32	2	12	第３次拡張工事の認可
		6	15	水道法が公布され従来の水道条例が廃止

年号	年	月	日	内　　容
昭和	32	8	10	第３次拡張工事着手
		12	5	第４次拡張工事認可申請
	33	2	7	同上認可
				日本水道協会北海道地方支部総会開催（第29回）
		5	16	第４次拡張工事に伴う水利使用許可
		8	1	同上着手
		9	9	朝里川温泉郷簡易水道工事認可
		10		朝里川温泉センター建設工事着手
			15	朝里川温泉郷簡易水道工事着手
	34	3	25	第３次拡張工事竣工
				於古発浄水場で急速ろ過法を採用
		5		メカニカル形ダクタイル鋳鉄管採用
		7	31	朝里川温泉郷簡易水道工事竣工
		10	1	朝里川温泉センター開館
	36	4	1	水道料金改定
		6	30	忍路町簡易水道工事認可
		7	30	同上着手
		12	16	同上竣工
	37	4	1	水道料金を隔月集金制
		5	11	塩谷町簡易水道工事認可
		7	10	同上着手
		8	2	台風９号のため勝納川が増水し水管橋危険となる。その他配・給水管に被害甚大
		10	27	第４次拡張工事豊倉浄水場竣工、落成式挙行
		12	4	市役所新庁舎増改築工事落成式、入船町から新庁舎に移転
	38	8	31	塩谷町簡易水道工事竣工
		12	6	銭函地区拡張工事認可申請
			28	同上認可
	39	4	1	同上着手
		6		日本水道協会北海道地方支部総会開催（第35回）
		7	22	小樽市長から知事に余市川水系の水道と発電事業の２部門による共同施行の要請
		8	1	水道料金改定（平均41.6%）
		11	16	奥沢ダムの水利使用の追認
			30	第４次拡張工事竣工
	40	2	24	余市川総合開発計画説明打ち合わせ会
		4	26	第５次拡張工事水利使用打ち合わせ会（１回目）
		8	1	小樽水道50年誌発刊
		12	9	第５次拡張工事認可申請
				第５次拡張工事水利使用打ち合わせ会（６回目）
			13	同　　上　　（７回目）
			17	同　　上　　（８回目）
	41	2	1	第５次拡張工事に伴う水利使用申請
			22	同　　上　　許可見込
		3	2	余市商工会議所で小樽市の水利使用についての賛成答申
			22	第５次拡張工事認可
		5	28	余市町議会特別委員会で水利使用の反対決議
		7	16	北海道副知事が第５次拡張工事水利使用について仲裁（９回目）
		8	1	第５次拡張工事着手
			15	小樽市長から知事に水利使用許可の早期決定の申請
		10	5	第５次拡張工事水利使用打ち合わせ会（10回目）
		12	4	余市町議会特別委員会で水利使用の承認
			6	第５次拡張工事に伴う水利使用許可
	42	2	3	余市川取水打合せ会で覚書の審議
				天神浄水場新設工事に着手
		4	12	第５次拡張工事起工式開催
			20	余市川取水に伴う覚書調印
		11	1	銭函地区拡張工事竣工
	43	4	1	水道料金改定（平均37.1%）

年号	年	月	日	内　　容
昭和	43	4	1	常盤・松倉水路トンネル工事着手
		8	13	水道用無線基地局開設
		9	15	松ヶ枝配水センター工事着手
	44	3	31	忍路町簡易水道拡張工事認可
		8	23	同　上　着手
	45	10	31	常盤・松倉水路トンネル工事竣工
		11	7	天神浄水場で通水式挙行
		12	20	忍路町簡易水道拡張工事竣工
	46	5		タイトン形ダクタイル鋳鉄管採用
		9	14	配水管整備の５か年計画による初年度着手
		10	20	常盤ダム工事竣工
		11	20	松ヶ枝配水センター工事竣工
	47	10	23	天神浄水場工事竣工
	48	4	1	水道料金改定（平均38.9%）
		10	1	部制から局制に改組
				水道局総合庁舎新築、本庁舎から移転
			31	第５次拡張工事竣工
				松ヶ枝配水センターに集中管理システムを導入
	49	3	7	銭函地区第２次拡張工事認可
		8	2	第６次拡張工事地質調査着手
		10	21	おたるの水道60周年展開催
		11	1	銭函地区第２次拡張工事着手
	50	3	15	柾里水源地廃止（日本生コンへ売却）
		9	1	排水処理施設整備工事着手
		11	21	水道料金審議会諮問、委員委嘱
				同　上　（第１回）
	51	2	2	同　上　（第６回）答申
		4	1	水道料金改定（平均96.7%）共用栓廃止
		11	17	排水処理設備整備工事竣工
	53	1		桃内浄水場で消毒に次亜塩素酸ナトリウム採用
		2	10	第６次拡張工事認可申請
			20	銭函地区第２次拡張工事竣工
		6	1	第６次拡張工事認可
			13	簡易水道施設の統合承認（厚生大臣）
		11	2	第６次拡張工事着手
	54	4	3	朝里ダム実施計画調査費採択（事業主体　北海道）
		5	21	同　上　着手（事業主体　北海道）
	55	7	21	東南地域開発事業（おたる望洋パークタウン）に伴う配水管等布設工事着手
		8		耐震継手（Ｓ型・ＳⅡ型）ダクタイル鋳鉄管採用
	56	3	27	朝里ダム建設工事に関する基本協定書締結
		4	2	朝里ダム建設予算採択（事業主体　北海道）
		6	1	水道料金改定（平均17.2%）
		8	1	水道加入金制度採用
	57	4		異形管エポキシ粉体塗装採用
		6	25	６次拡張工事（前期）水利使用許可（朝里ダム関連水利権）
		9	29	水道局退職者協議会設立
	58	12	8	豊倉浄水場でマンガン処理用に次亜塩素酸ナトリウム採用
	59	4	1	豊倉浄水場除マンガン処理開始
		5	11	水質試験所が松ヶ枝配水センターから中央下水終末処理場へ移転
		7	20	朝里ダム建設工事に関する基本協定書変更
		12	17	於古発浄水場を休止
	60	4	1	給・配水管台帳図作成着手
				24時間凝集剤注入開始
		5	27	厚生省の企画により奥沢水源が「近代水道百選」に選定
		8	1	検針業務を民間委託
			2	第６次拡張工事給水区域の変更認可申請（伍助沢地区）
		10	12	第６次拡張工事変更認可（伍助沢地区）

年号	年	月	日	内　　容
昭和	60	10	21	朝里ダム建設工事に係る朝里水源地補償契約締結
		12	27	伍助沢地区給水開始
	61	5	21～23	全国水道研究発表会開催（第37回）
		7	30	朝里ダム堤体工事着手
		9	2	朝里ダム建設工事に関する基本協定書変更
	62	3	1	朝里水源地の廃止
		4	1	水道料金等の集金制廃止
	63	4	1	検針用ハンディターミナル導入
		6	14	朝里ダム定礎式挙行
		11	5	松ヶ枝配水センター計装設備更新工事着手
平成	元	1	26	奥沢ダム改良工事着手
		4	1	水道料金消費税相当額転嫁（３％）
		6	27	石狩湾新港銭函地区簡易水道認可申請
		7	10	同上認可
		8	1	同上工事着手
	2	1	1	同上給水開始
		4	1	水道料金消費税相当額凍結
		6	1	石狩湾新港銭函地区簡易水道給水区域の変更認可申請（行政界の変更）
			29	同上変更認可
			30	朝里ダム建設工事に関する基本協定変更
	3	12	20	石狩西部広域水道企業団の設立について（議決）
	4	3	3	石狩西部広域水道企業団設立認可
		4	1	水道料金改定（平均28.0％）
			21	石狩湾新港銭函地区簡易水道変更認可申請（一次拡張）
		6	2	同上変更認可
		7	6	経営健全化計画策定
		10	1	財務会計コンピューターシステム導入
		11	2	朝里ダム試験湛水開始（ダム水取水開始）
		12	19	奥沢ダム改良工事竣工
	5	2	25	ダクタイル鋳鉄製可撓伸縮管採用
		3	10	松ヶ枝配水センター計装設備更新工事竣工
		4	1	朝里ダム管理に関する協定書締結
		5	1	豊倉浄水場交代勤務へ移行
		7	2	朝里ダム試験湛水終了
		9	1	天神浄水場改良工事着手
			24	朝里ダム完成検査合格
			28	朝里ダム完成式挙行
		12	15	朝里川水利使用に関する取水開始届の提出
	6	1	27	塩谷浄水場を休止
		2	25	水道用ポリエチレン管二層管採用
		7	25	排水基準改正に伴い、豊倉浄水場でクローズドシステムを採用
		12	9	忍路浄水場を休止
	7	2	16～27	阪神・淡路大震災(1/17)による水道施設復旧支援派遣(派遣先：兵庫県神戸市) 局職員、管工事組合　計12名
		5	12	余市川流域環境保全推進協議会設置
			25	余市川クリーンアップ実行委員会設置
		7	25～26	日本水道協会北海道地方支部総会開催（第66回）
	8	2	5	豊倉系（朝里ダム）を銭函地区へ送水開始
		3	25	水道創設80周年「おたる水道のあゆみ」発刊（水道局及び退職者協議会編集）
		4	1	水道料金改定（平均6.7％）
				水道料金消費税相当額転嫁（３％）
		6	3	耐震継手（ＮＳ型）ダクタイル鋳鉄管採用
		8	14	浄水課３交代勤務へ移行
	9	3	31	礼文塚水源地を休止
		4	1	消費税及び地方消費税相当額改定（５％）
		6	27	銭函浄水場マンガン処理開始
	9	7	2	おたる望洋パークタウン造成工事に伴う上水道工事再開(H元～H8中断)

年号	年	月	日	内　　容
平成	10	1	14	第６次拡張工事竣工
		4	1	ダクタイル鋳鉄管（直管）３種管を採用 異形型、継手型式をＡ型からＫ型に変更
	11	2	5	天神浄水場、浄水池（5,000㎥）竣工
			9	望洋台第２配水槽竣工
		6	28	老朽施設等更新改良工事着手
		7	12	水質試験所が中央下水終末処理場から豊倉浄水場へ移転
		8	1	和田式打倒型消火栓を採用
	13	5	30	豊倉浄水場排水処理施設整備事業着手
		8	1	コンビニエンスストア収納事務委託の開始
		11	28	豊倉浄水場排水処理施設整備事業竣工
	14	5	16	上下水道事業経営懇話会設置
		7	15	広報誌「水おたる」創刊号発行
	15	3	1	松ヶ枝配水センターを閉鎖し、天神浄水場へ機能を移設
		12	3	奥沢浄水場水神社外屋舎改修
	16	1	14	余市川水源シャーベット流入による取水障害に伴い災害対策本部設置 高島・祝津地区　2,000戸断水
		3	1	天神浄水場マンガン処理開始
			10	天神浄水場改良工事竣工
			31	銭函営業所廃止
		9	28	水道創設90周年記念のペットボトル「小樽の水」を製造
	17	3	15	春香第２送水ポンプ所の竣工により銭函地区への送水強化
		4	1	銭函浄水場の夜間・休日の運転停止
		11	1	ペットボトル「小樽の水」試験販売開始
	18	3	10	豊倉浄水場４号ろ過池改修により施設能力を増強　（送水・配水能力42,370㎥/日）
		4	1	桃内浄水場休止
			10	浄水場施設運転管理業務（夜間・休日）の一部委託開始（豊倉、天神）
			25	災害時等における上・下水道の応急対策に関する協定締結（小樽市管工事業協同組合）
	19	4	1	浄水場施設運転管理業務（平日）の一部委託開始（銭函）
		8	1	災害時総合応援に関する協定締結（日本水道協会北海道地方支部道央地区協議会）
	20	6	8	水道週間に合わせ、奥沢水源地水管橋部分を11月３日まで一般開放
		9	27	渇水により朝里ダム水力発電停止（12月14日まで）
		10	3	渇水により朝里ダム貯水位が過去最低に（ＥＬ182.24m、貯水率16%）
		11	18	奥沢水源地水道施設が「平成20年度土木学会選奨土木遺産」に認定
		12	18	潮見台配水池を豊倉系に系列変更
	21	1	20	潮見台浄水場休止
		2	10	天神送水ポンプ所竣工
		4	1	浄水場施設運転管理業務（夜間・休日）の全面委託開始（豊倉、天神）
		6	1	熊出没のため水道週間の奥沢水源地開放を中止（奥沢水源地5/18、天神浄水場5/28出没）
		11	20	天神送水ポンプ所より豊倉系を天神浄水池に送水可能に
	22	2	28	上下水道ビジョン策定
		4	1	料金センター開設（料金等徴収業務委託の開始） 上下水道施設管理システム（ＧＩＳ）運用開始
		6	1	銭函浄水場週３日運転開始
		8	10	上下水道施設の災害に伴う応援協定締結（㈱ジェネッツ）
	23	3	3	余市川水源雪崩による取水不能（約10時間に及ぶも断水等被害なし）
			16	災害時等における上・下水道の応急対策に関する協定廃止（小樽市管工事業協同組合） 災害時等における上下水道の応急対策に関する協定締結（小樽市管工事業協同組合） ペットボトル「小樽の水」を東日本大震災(3/11)の被災地へ提供 提供先 ｛宮城県仙台市／岩手県岩手郡滝沢村｝ 3/16発送、3/18着 各4,800本(200箱)　計9,600本(400箱)
	23	3	25～	東日本大震災(3/11)による水道施設復旧支援派遣（派遣先：宮城県石巻市） 第１陣(派遣期間：3/25～4/3)　局職員、管工事組合　計11名 第２陣(派遣期間：4/8～4/17)　局職員、管工事組合　計11名

年号	年	月	日	内　　容
平成		4	1	銭函浄水場週２日運転開始
		8	5	奥沢ダム堤体上流面に陥没箇所を発見
			9	奥沢浄水場ろ過停止
			29	奥沢ダム廃止を公表
		11	9	奥沢ダム水路設置工事着手（融雪期出水対策としての堤体開削水路）
	24	3	26	奥沢ダム水路設置工事竣工
		4	10	銭函浄水場全面委託開始（平日週２日運転）
		10	3	二級河川塩谷川水系塩谷川における流水占用の廃止
		11	8	北海道知事宛てに北海道水資源地域指定提案書を提出（朝里・銭函・余市川水源）
	25	1	9	石狩湾新港銭函地区簡易水道変更認可申請（二次拡張）
		2	27	同上変更認可
		3	19	北海道水資源保全地域の指定告示（朝里・銭函・余市川水源）
		4	1	石狩西部広域水道企業団が小樽市、石狩市及び当別町に水道用水供給開始 石狩湾新港銭函地区簡易水道料金改定
		7	1	上下水道施設の災害に伴う応援協定締結廃止（㈱ジェネッツ） 上下水道施設の災害に伴う応援協定締結（㈱ジェネッツ、協和総合管理㈱）
		9	12	「奥沢水源地保存・活用基本構想」策定
	26	3	27	石狩湾新港銭函地区簡易水道変更届出（三次拡張）
		4	1	消費税及び地方消費税相当額改定（８％）
	27	3	20	小樽市水道局と札幌市水道局の連携協力に関する基本協定締結
			23	水道創設100周年 下水道60周年「おたる水道100年のあゆみ」発刊（水道局及び退職者協議会編集）
		7	23～24	日本水道協会北海道地方支部総会開催（第86回）
	28	4	30～	熊本地震(4/14)による水道施設復旧支援派遣（派遣先：熊本県熊本市） 派遣期間：4/30～5/11　局職員、管工事組合　計12名
	28	8	25～27	赤平市大雨災害による断水に伴う応急給水応援派遣（派遣先：北海道赤平市） 局職員　計20名
		9	30	二級河川勝納川水系勝納川における流水占用の廃止
	29	9	29	小樽市・札幌市緊急時連絡管の運用及び維持管理等に関する協定締結
	30	3	7～8	札幌市清田区断水被害に伴う応急給水応援派遣（派遣先：北海道札幌市清田区） 局職員　計４名
		9	6	北海道胆振東部地震の影響によるブラックアウト発生（市内：震度４を観測） 応急給水所の設置　　２か所：水道局本庁舎、望洋台中学校
			12～18	北海道胆振東部地震(9/6)による水道施設復旧支援派遣（派遣先：北海道勇払郡厚真町、安平町）　局職員、管工事組合　計46名
	31	3	19～27	古平町断水事故に係る応急給水、水質検査応援派遣（派遣先：北海道古平郡古平町）　局職員　計22名
令和	元	10	1	消費税及び地方消費税相当額改定（10%）
		12	26	第２次小樽市上下水道ビジョン策定
	2	4	16～	北海道が新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の区域に指定 指定期間：4/16～5/25　（同感染症の影響により有収水量は大きく減少）
		8	25	ダクタイル鋳鉄管（Ｔ型）の廃止及びダクタイル鋳鉄管（ＧＸ型）の採用を決定
	3	2	26～28	美唄市導水管漏水事故に伴う応急給水物資支援応援派遣（派遣先：北海道美唄市） 局職員　計12名
		3	16	耐震継手（ＧＸ型）ダクタイル鋳鉄管採用（若竹配水管布設工事（ゼロ市債））
		3	31	ペットボトル「小樽の水」販売終了
		8	24	低区配水池築造工事着手（旧入船小学校の跡地利用）
		9	13	水道配水用ポリエチレン管試験施工（オタモイ配水管布設工事）
		11	29	小樽市上下水道ＢＣＰ策定
	4	11	21	道内で初施行となる、ＳＤＦ工法による管路更生を堺配水管布設工事で実施
	5	1	25～	寒波の影響により水道管凍結の問合せ多発（対応期間：1/25～2/3）、期間中の問合せ件数379件、水道局職員による解氷作業班編成し対応
		1	31	水道配水用ポリエチレン管の採用を決定
	6	3	25	石狩湾新港銭函地区簡易水道変更届出（四次拡張）
	7	1		第２次小樽市上下水道ビジョン一部改訂
		1	31	小樽市上下水道耐震化計画策定(上下水道)
		8	8	既設管継手耐震補強金具試験施工（入船配水管耐震補強工事）

2 施　設　の　概　要

(1) 施　設　の　概　要

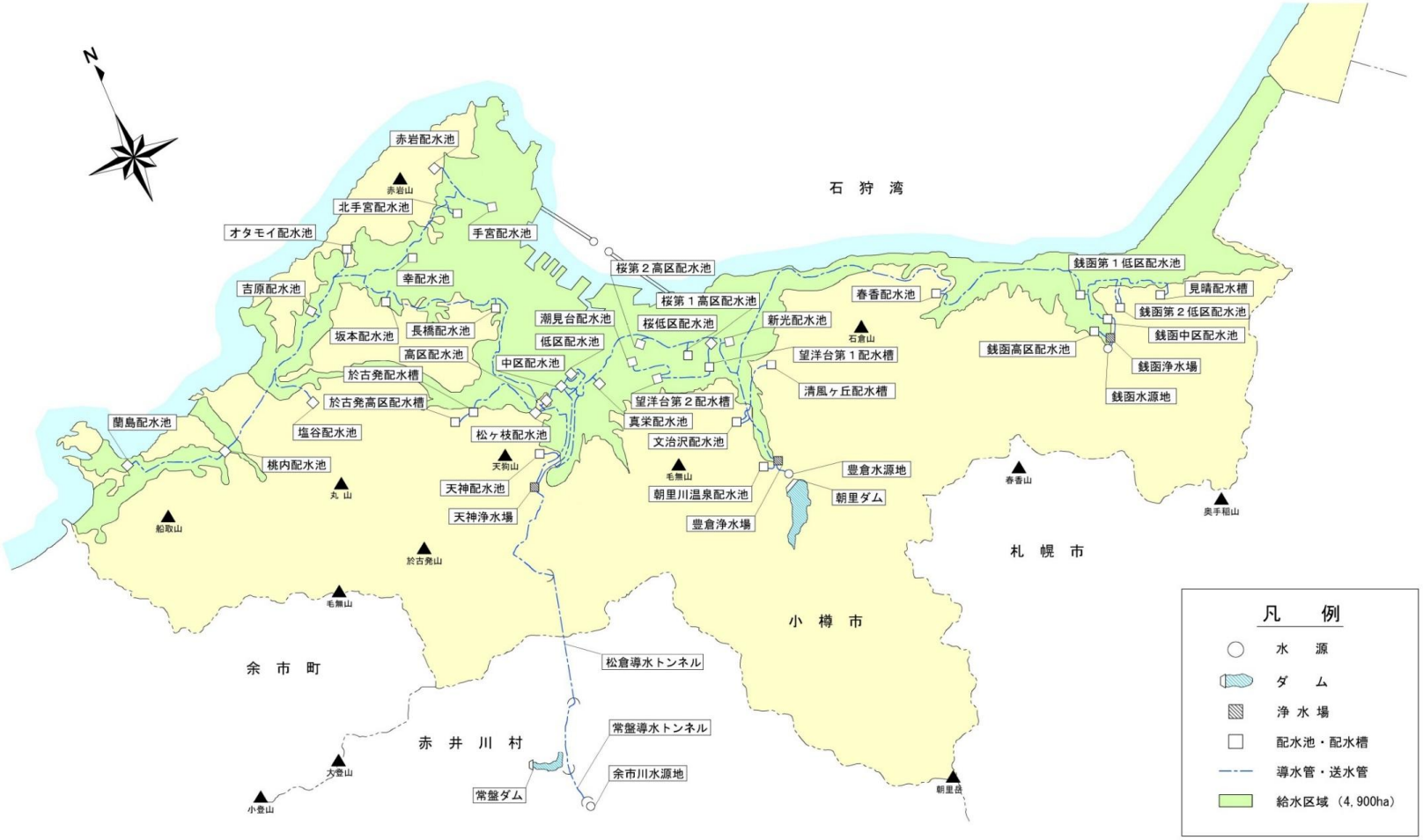
種別＼区分				
浄水場名	豊　　倉	天　　神	銭　　函	合　　計
施設能力（送水量㎥／日）	42,370	20,890	※1　1,500	64,760
敷地面積（㎡）	21,621	42,994	20,117	84,732
水　　源	朝里ダム放流水	余市川表流水	銭函川表流水	3か所
取水施設	取水堰堤　1か所 取水井　1池 沈砂池　1池 朝里ダム （重力式コンクリートダム 有効貯水量　7,700,000㎥ 総貯水量　8,800,000㎥）	取水堰堤　1か所 取水井　1池 沈砂池　1池 補水用貯水池　1池 （重力式コンクリートダム 有効貯水量　400,000㎥ 総貯水量　500,000㎥）	取水堰堤　1か所 取水井　1池 沈砂池　1池	
導水施設	口径800m/m　241m	水路トンネル（2か所） 2m標準馬蹄型　3,857m 口径400～1,000m/m　5,534m	口径350～400m/m　460m	10,092m （うちトンネル　3,857m　）
送水施設（支管を含む）	口径100～1,000m/m 36,147m （うち支管　18,056m）	口径100～600m/m 31,374m （うち支管　15,629m）	口径150～250m/m　4,218m	71,739m （うち支管　33,685m　）
浄水施設（予備含む）	急速 58.28㎥×4池 58.52㎥×2池	急速 38.7㎥×6池	急速 ※2　21.1㎥×2池	14池
配水施設 （配水管を除く） 名称は配水池名 数量は有効貯水量	桜第1高区　1,020㎥ 桜第2高区　1,000㎥ 桜低区　550㎥ 文治沢　600㎥ 清風ヶ丘(槽)　300㎥ 新光　930㎥ 真栄　1,200㎥ 望洋台第1(槽)　480㎥ 望洋台第2(槽)　750㎥ 潮見台　500㎥ 春香　1,500㎥ 朝里川温泉　450㎥ 中区　3,600㎥ 低区　6,330㎥	長橋　50㎥ 坂本　900㎥ 幸　800㎥ 北手宮　300㎥ 赤岩　1,600㎥ 手宮　500㎥ 松ヶ枝　4,000㎥ 高区　2,630㎥ 吉原　600㎥ 天神　50㎥ オタモイ　300㎥ 於古発(槽)　700㎥ 於古発高区(槽)　80㎥ 塩谷　173㎥ 蘭島　400㎥ 桃内　139㎥	銭函高区　450㎥ 銭函中区　1,830㎥ 銭函第1低区　1,230㎥ 銭函第2低区　350㎥ 見晴(槽)　108㎥	35か所

※1　銭函浄水場は、週2日（平日昼間）のみ運転しており、現在1,500m³／日で稼働しているが、施設としての能力は6,000㎥／日である。
※2　銭函浄水場に浄水施設（急速ろ過池）は4池あるが、うち2池は休止中である.

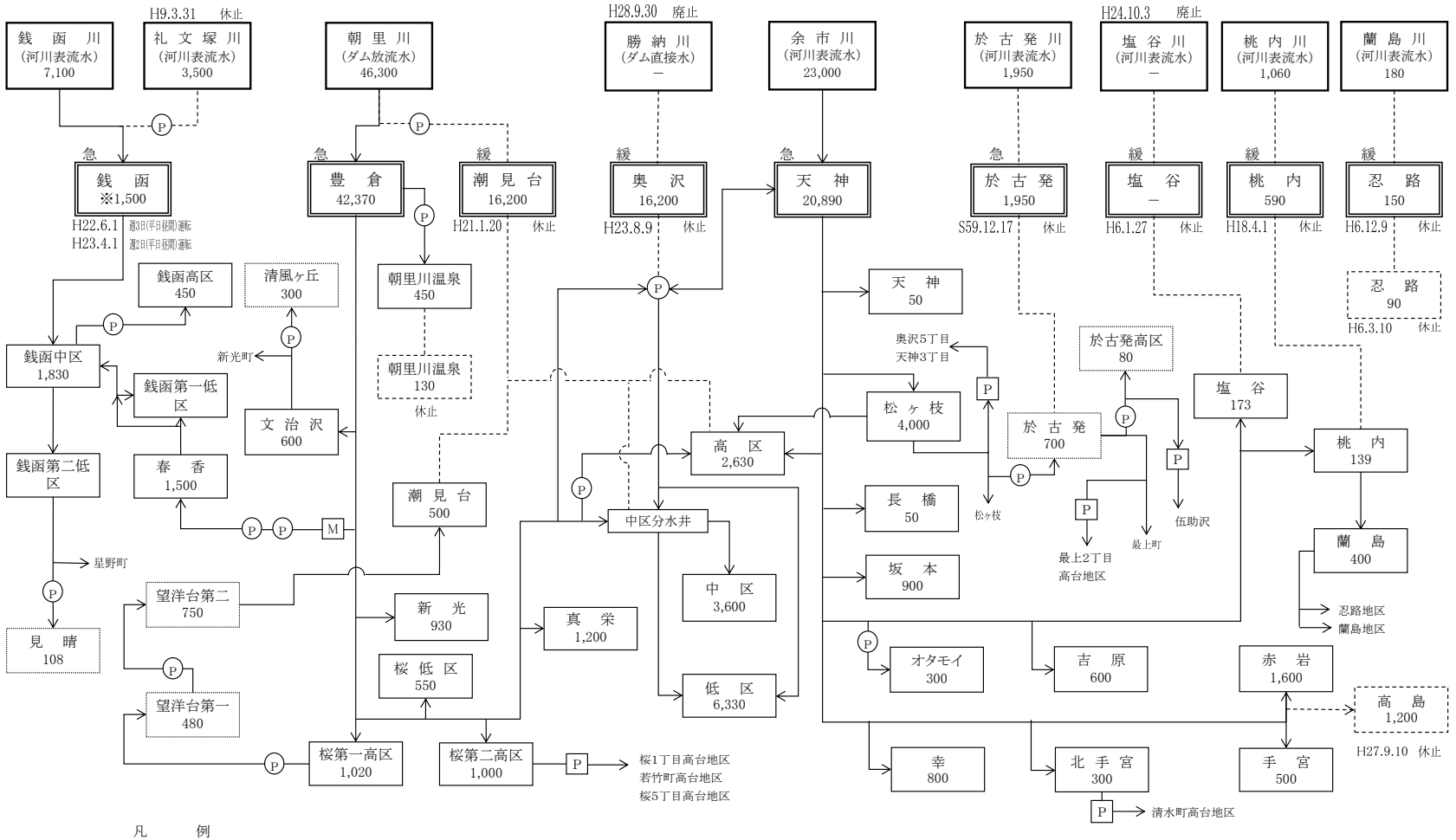
(2)浄水場別送水実績

年度 / 浄水場名	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	送水割合（Ｒ７実績）
天　神　（㎥／年）	4,879,392	4,689,137	4,684,176	4,673,141	4,773,004	33.7 %
豊　倉　（㎥／年）	9,583,643	9,434,051	9,593,474	9,390,645	9,269,042	65.5 %
銭　函　（㎥／年）	99,086	100,353	102,080	105,778	104,967	0.8 %
年間送水量（㎥／年）	14,562,121	14,223,541	14,379,730	14,169,564	14,147,013	100.0 %

(3) 水 道 施 設 位 置 図


N
石 狩 湾
赤岩配水池
赤岩山
北手宮配水池
オタモイ配水池
手宮配水池
桜第２高区配水池
吉原配水池
幸配水池
桜第１高区配水池
春香配水池
銭函第１低区配水池
見晴配水槽
潮見台配水池
桜低区配水池
新光配水池
銭函第２低区配水池
坂本配水池
長橋配水池
低区配水池
石倉山
銭函中区配水池
高区配水池
望洋台第１配水槽
銭函高区配水池
銭函浄水場
中区配水池
於古発配水槽
清風ヶ丘配水槽
於古発高区配水槽
望洋台第２配水槽
銭函水源地
蘭島配水池
真栄配水池
塩谷配水池
松ヶ枝配水池
文治沢配水池
天狗山
毛無山
豊倉水源地
桃内配水池
春香山
丸 山
朝里川温泉配水池
朝里ダム
天神配水池
奥手稲山
天神浄水場
豊倉浄水場
船取山
札 幌 市
於古発山
毛無山
小 樽 市
余 市 町
松倉導水トンネル
常盤導水トンネル
赤 井 川 村
大登山
余市川水源地
常盤ダム
朝里岳
小登山
凡　例
水　源
ダ　ム
浄 水 場
配水池・配水槽
導水管・送水管
給水区域（4, 900ha）

(4) 小 樽 市 水 道 施 設 フ ロ ー シ ー ト



	現 況 能 力
水源 ： 取水量(水利権ベース)	76,382 ㎥/日
現在施設公称能力(送水量ベース)	64,760 ㎥/日
計画1日最大給水量 (160,000 人× 540 ℓ/人・日)	86,400 ㎥/日

※休止施設を除く

※ 銭函浄水場は週２日（平日昼間）のみ運転しており、現在1,500㎥／日で稼働しているが、施設としての能力は6,000㎥／日である。

※ 配水池29池・配水槽6池・合計35池(休止中の配水池・槽3池を除く)

(5) 水 利 権 許 可 状 況

令和8年3月31日

	河川名		許可水量		最初の許可年月日	変更許可年月日	許可期限年月日	同左許可番号	備　　考
			㎥/S	㎥/日					
既得	朝 里 川	2級河川	0.53588	46,300	S57.6.25	R3.6.9	R13.3.31	後小建管第 227 号指令	豊倉水源　（朝里ダム放流）46,300 ㎥/日 { 22,000 ㎥/日（既得分） 24,300 ㎥/日（新規分）
	於古発川	普通河川	0.02257	1,950	S32.10.4	R6.4.1	R9.3.31	建用指令第 2-3 号	於古発水源（自流）
	余 市 川	2級河川	0.26600	22,982	S41.12.6	R3.6.9	R13.3.31	後小建管第 227 号指令	余市水源　（自流）
	銭 函 川	普通河川	0.08218	7,100	S30.3.10	R6.4.1	R9.3.31	建用指令第 2-4 号	銭函水源　（自流）
	礼文塚川	普通河川	0.04051	3,500	S49.3.7	R6.4.1	R9.3.31	建用指令第 2-5 号	礼文塚水源（自流）
	桃 内 川	普通河川	0.01222	1,055	S43.5.18	R6.4.1	R9.3.31	建用指令第 2-7 号	桃内水源　（自流）
	蘭 島 川	普通河川	0.0021	180	S36.6.21	R6.4.1	R9.3.31	建用指令第 2-6 号	忍路土湯沢水源　（自流）
	小 樽 川	2級河川	－	－	S44.5.30	R8.4.1	R18.3.31	後小建管第 854 号指令	常盤ダム　　（水利補償）
得	朝 里 川	2級河川	－	－	H4.10.21	R3.7.1	R13.3.31	建維管防第 590 号指令	朝里ダム管理用水力発電所 { 許可権者が、北海道であるため共同事業者である小樽市が更新手続を行うものである。 }
	勝 納 川	2級河川	－	－	－	－	－	－	平成28年9月30日付け流水占用の廃止
	塩 谷 川	2級河川	－	－	－	－	－	－	平成24年10月3日付け流水占用の廃止
	計			㎥/日 83,067					自　流　36,767 ㎥/日（44.3 %） ダ　ム　46,300 ㎥/日（55.7 %）

※ 朝里ダムからの新規利水量47,800㎥/日（このうち24,300㎥/日は水利権取得済）

3 事 業 の 概 要

(1) 上水道事業認可の経緯

小樽市水道事業

工事名称	許可年月日	施行年次 着工	施行年次 竣工	工事費（千円）	計画給水人口（人）	同左増加数（人）	計画給水量 1人1日最大（ℓ）	計画給水量 1日最大（㎥）	計画給水量 同左増加数（㎥）	説明	備考
創設	明治40.12.26	明治41. 3. 6	大正 3. 9.30	1,213	130,000	—	125	16,200	—	勝納川水系、創設奥沢水源地、低区配水池	
第1次拡張工事	大正11. 3.25	大正11. 7.31	昭和 2.12.12	2,287	150,000	20,000	180	27,000	10,800	朝里川水系、朝里水源地、潮見台浄水場、中区・高区配水池	
（改良工事）	昭和23.	昭和24. 9.	昭和27. 9.	24,832	150,000	—	204	30,600	3,600	朝里川水系、送水管一部改良工事	
第2次拡張工事	昭和26. 4.16	昭和27. 5.20	昭和29.12.25	106,243	156,153	6,153	260	40,600	10,000	朝里川水系、潮見台浄水場拡張	
朝里地区簡易水道工事	昭和28.12. 1	昭和27. 8.17	昭和29. 3.25	14,400	159,353	3,200	150	41,080	480	柾里簡水施工によって朝里地区のみ対象に給水	
銭函地区簡易水道工事	昭和30. 3.10	昭和29. 9.18	昭和30.11.30	25,500	163,953	4,600	150	41,770	690	銭函簡水施工によって銭函地区のみ対象に給水	
第3次拡張工事	昭和32. 2.12	昭和32. 8.10	昭和34. 3.25	36,385	171,453	7,500	260	43,720	1,950	於古発川水系、超高区のみ対象給水	
第4次拡張工事	昭和33. 2. 7	昭和33. 8. 1	昭和39.11.30	728,500	174,087	2,634	330	55,520	11,800	朝里川水系、豊倉浄水場、桜系配水池新設、高区・中区配水池増設	
朝里川温泉簡易水道工事	昭和33. 9. 9	昭和33.10.15	昭和34. 7.31	9,300	175,687	1,600	150	55,760	240	朝里川温泉簡水施工によって朝里川温泉地区のみ対象に給水	
忍路地区簡易水道工事	昭和36. 6.30	昭和36. 7.30	昭和36.12.16	13,996	176,387	700	150	55,910	150	忍路簡水施工によって忍路地区のみ対象に給水	
塩谷地区簡易水道工事	昭和37. 5.11	昭和37. 7.10	昭和38. 8.31	29,991	178,387	2,000	150	56,210	300	塩谷簡水施工によって塩谷地区のみ対象に給水	
銭函地区第1次拡張工事	昭和38.12.28	昭和39. 4. 1	昭和42.11. 1	252,000	186,287	7,900	320	59,520	3,310	簡水を上水道に変更し、隣接の張碓町から大浜町に至る地区を含め銭函浄水場を拡張	
第5次拡張工事	昭和41. 3.22	昭和41. 8. 1	昭和48.10.31	2,769,200	213,200	26,913	380	79,690	20,170 (20,890)	余市川水系よりの取水で朝里簡水分480㎥/日と朝里温泉簡水分240㎥/日を廃止し、3拡分を統合	
忍路地区簡易水道拡張工事	昭和44. 3.31	昭和44. 8.23	昭和45.12.20	96,700	217,100	3,900	370	80,280	590	忍路簡水を桃内・蘭島地区を含めて拡張	
銭函地区第2次拡張工事	昭和49. 3. 7	昭和49.11. 1	昭和53. 2.20	835,951	224,600	7,500	380	85,480	5,200	銭函川から2,500㎥/日礼文塚川から3,500㎥/日の取水増を図り水道施設増強	
（給水人口修正）	—	—	—	—	185,000	▲39,600	462	85,480	—	議会の要請で計画給水人口の実態値見直しを行い修正	S51. 3. 30 条例第2号設置条例第3条第1項 224,000人を185,000人
第6次拡張工事	昭和53. 6. 1	昭和53.11. 2	平成10. 1.14	22,457,998	200,000	15,000	540	108,000	22,520	朝里ダムにより給水区域の市内一円を統合対象として拡張	
同上（変更認可）	昭和60.10.12	—	同上	同上	200,000	—	540	108,000	—	給水区域の変更 伍助沢地区及び新光町の一部を編入	
（給水人口修正）	—	—	—	—	160,000	▲40,000	540	86,400	▲21,600	小樽市総合計画(21世紀プラン)との整合性を図るため修正	H11. 10. 1 条例第26号設置条例第3条第1項 200,000人を160,000人

0

石狩湾新港銭函地区簡易水道事業

名称	認可（届出）年月日	施行年次 着工	施行年次 竣工	工事費（千円）	計画給水人口（人）	同左増加数（人）	計画給水量 1人1日最大（ℓ）	計画給水量 1日最大（㎥）	計画給水量 同左増加数（㎥）	説明	備考
創設	平成元. 7.10	平成元. 8. 1	—	472,002	110	—	1,818	200	—		
変更	平成 2. 6.29	平成 2. 8.11	平成 6. 3.31	534,000	110	—	1,818	200	—	行政界変更による区域変更	
第1次拡張	平成 4. 6. 2	平成 4. 6. 1	平成11. 3.15	1,888,700	120	10	12,833	1,540	1,340	給水区域の変更及び給水量の増	
第2次拡張	平成25. 2.27	平成25. 5.	令和 2.12.	26,400	120	—	24,274	2,750	1,210	給水量の増及び水源の変更	石狩西部広域水道企業団より受水
第3次拡張	平成26. 2.27	平成26. 4.	令和 2.12.	76,400	120	—	24,274	2,750	—	給水区域の拡張	西埠頭地区55ha
第4次拡張	令和 6. 3.25	令和 6. 4.	令和16. 3.	239,774	120	—	47,867	2,750	—	給水区域の拡張	銭函4丁目の一部44.4ha

（2）　導・送水管整備事業

目　的　　導・送水管のうち、昭和45年以前に布設されたダクタイル鋳鉄管及びダクタイル鋳鉄管以外の全ての管種を対象に、管路の更新にあわせて耐震化を図り、大規模地震等の災害時においても安定した水の供給を図るものである。

工事の状況

区分／年度	事業費	工事の概要			
H26	58,607 千円 財源内訳 企業債 48,000 千円 国庫補助金 10,502 千円 その他資金 105 千円	送水施設	豊倉送水管　φ 500m/m　ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管　L＝　101.7 m 奥沢送水管　φ 350m/m　ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管　L＝　104.4 m 豊倉送水管　測量調査委託　1式 実施設計委託　1式 勝納水管橋　実施設計委託　1式		
H27	34,395 千円 財源内訳 企業債 26,700 千円 交付金 6,661 千円 その他資金 1,034 千円	送水施設	豊倉送水管　φ 600m/m　ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管　L＝　116.5 m 勝納水管橋　用地測量調査委託　1式 勝納水管橋　用地取得　30.55㎡　1式		
H28	73,503 千円 財源内訳 企業債 44,200 千円 交付金 10,617 千円 工事負担金 14,406 千円 その他資金 4,280 千円	送水施設	豊倉送水管　φ 600m/m　ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管　L＝　108.1 m φ 500m/m　ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管　L＝　23.5 m 勝納水管橋　更新工事 上部工・下部工・上部工架設　1式 製作工事 上部工製作(ﾄﾗｽ形式添架専用橋)　1式 平成25. 5.　令和 2. 12. 天神送水支管　φ 150m/m　ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管　L＝　286.9 m φ 100m/m　ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管　L＝　236.6 m		
H29	296,557 千円 財源内訳 企業債 285,800 千円 交付金 9,675 千円 工事負担金 0 千円 その他資金 1,082 千円	送水施設 導水施設	豊倉送水管　φ 500m/m　ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管　L＝　76.3 m 奥沢送水管　φ 350m/m　ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管　L＝　79 m 奥沢送水支管　φ 350m/m　ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管　L＝　11.8 m 勝納水管橋　更新工事 上部工・下部工・上部工架設　1式 天神導水管　測量調査委託　1式 実施設計委託　1式		

工事の状況

区分／年度	事業費	工事の概要			
H30	103,165 千円 財源内訳 企業債 86,300 千円 交付金 14,442 千円 その他資金 2,423 千円	導水施設	天神導水管	φ 400m/m ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管	L＝ 700.1 m
		送水施設	豊倉送水管	測量調査委託	1式
				実施設計委託	1式
R元	211,158 千円 財源内訳 企業債 186,100 千円 交付金 23,415 千円 その他資金 1,643 千円	導水施設	天神導水管	φ 400m/m ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管	L＝ 695.5 m
		送水施設	豊倉送水管	φ 600m/m ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管	L＝ 297.6 m
			豊倉送水管	配管改良	1式
				旧勝納水管橋撤去	1式
R2	54,534 千円 財源内訳 企業債 49,300 千円 交付金 千円 その他資金 5,234 千円	送水施設	豊倉送水管	配管改良	1式
R3	103,418 千円 財源内訳 企業債 61,400 千円 交付金 22,960 千円 その他資金 19,058 千円	送水施設	豊倉送水管	φ 600m/m ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管	L＝ 186.7 m
			豊倉送水管	実施設計委託	1式
		導水施設	天神導水管	測量調査委託	1式
				実施設計委託	1式
R4	256,092 千円 財源内訳 企業債 0 千円 交付金 0 千円 その他資金 256,092 千円	送水施設	豊倉送水管	φ 800m/m ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管	L＝ 84.5 m
			（2年債務1年目）		

工事の状況

区分／年度	事業費	工事の概要	
R5	209,044 千円 財源内訳 企業債 16,200 千円 交付金 0 千円 その他資金 192,844 千円	送水施設	豊倉送水管　φ 600m/m　ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管　L＝　68.7 m （２年債務２年目）
R6	19,583 千円 財源内訳 企業債 14,700 千円 交付金 0 千円 その他資金 4,883 千円	送水施設 導水施設	豊倉送水管　基本設計委託　１式 天神導水管　立木調査委託　１式
R7	85,392 千円 財源内訳 企業債 53,800 千円 国庫補助金 24,970 千円 その他資金 6,622 千円	導水施設	天神導水管　φ 400m/m　ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管　L＝　436.8 m

（3） 配水管整備事業

目　的　　創設（大正３年）から３拡（昭和33年）までに布設した無ライニング鋳鉄管、石綿管及び事故多発箇所の塩化ビニール管を主対象に管網の整備、必要に応じた口径の増等を考慮して布設替えを行い、円滑な給水の確保と有効率の向上を図る。

施行経過および計画

	第　1　次	第　2　次	第　3　次	第　4　次
起工年月 竣工年月	昭和46年4月 昭和53年3月　7か年	昭和53年4月 昭和57年3月　4か年	昭和57年4月 昭和61年3月　4か年	昭和61年3月 平成2年3月　4か年
配水管	ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管 φ75～φ600m/m L＝ 44,333 m	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管（φ50m/m）及びﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管（φ75m/m以上） φ50～φ300m/m L＝ 34,786 m	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管（φ50m/m）及びﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管（φ75m/m以上） φ50～φ300m/m L＝ 37,518 m	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管（φ50m/m）及びﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管（φ75m/m以上） φ50～φ450m/m L＝ 40,292 m
工事費	953,483 千円	937,200 千円	1,042,000 千円	1,278,800 千円
	第　5　次	第　6　次	第　7　次	第　8　次
起工年月 竣工年月	平成2年4月 平成6年3月　4か年	平成6年4月 平成10年3月　4か年	平成10年4月 平成14年3月　4か年	平成14年4月 平成18年3月　4か年
配水管	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管（φ50m/m）及びﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管（φ75m/m以上） φ50～φ300m/m L＝ 32,229 m	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管（φ50m/m）及びﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管（φ75m/m以上） φ50～φ400m/m L＝ 31,689 m	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管（φ50m/m）及びﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管（φ75m/m以上） φ50～φ400m/m L＝ 34,991 m	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管（φ50m/m）及びﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管（φ75m/m以上） φ50～φ300m/m L＝ 32,582 m
工事費	1,260,000 千円	1,621,500 千円	1,761,700 千円	1,490,300 千円
	第　9　次	第　10　次	第　11　次	第　12　次
起工年月 竣工年月	平成18年4月 平成22年3月　4か年	平成22年4月 平成26年3月　4か年	平成26年4月 平成30年3月　4か年	平成30年4月 平成31年3月　1か年
配水管	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管（φ50m/m）及びﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管（φ75m/m以上） φ50～φ300m/m L＝ 24,370 m	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管（φ50m/m）及びﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管（φ75m/m以上） φ50～φ450m/m L＝ 24,659 m	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管（φ50m/m）及びﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管（φ75m/m以上） φ50～φ450m/m L＝ 15,873 m	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管（φ50m/m）及びﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管（φ75m/m以上） φ50～φ250m/m L＝ 2,790 m
工事費	1,245,500 千円	1,559,616 千円	1,347,194 千円	261,656 千円
	第　13　次	第　14　次	令和７年度実績	※　施　工　済
起工年月 竣工年月	平成31年4月 令和6年3月　5か年	令和6年4月 令和11年3月　5か年		昭和46年4月 令和8年3月　55か年
配水管	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管（φ50m/m）配水用ポリエチレン管及びﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管（φ75m/m以上） φ50～φ450m/m L＝ 13,189 m	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管（φ50m/m）配水用ポリエチレン管及びﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管（φ75m/m以上） φ50～φ450m/m L＝ 12,801 m	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管（φ50m/m）配水用ポリエチレン管及びﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管（φ75m/m以上） φ50～φ400m/m L＝ 2,067 m	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管（φ50m/m）配水用ポリエチレン管及びﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管（φ75m/m以上） φ50～φ600m/m L＝ 373,744 m
工事費	1,420,353 千円	1,714,688 千円	398,326 千円	16,839,208 千円

※昭和46年4月から令和8年3月まで施工した合計です。

第１０次配水管整備工事（実績）

年 次 別 布 設 延 長

区分＼年次	全　体	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
延　長（m）	24,659	6,378	6,277	6,081	5,923
比　率（%）	100.0	25.9	25.5	24.7	24.0

第１１次配水管整備工事（実績）

年 次 別 布 設 延 長

区分＼年次	全　体	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績
延　長（m）	15,873	5,345	2,639	4,863	3,026
比　率（%）	100.0	33.7	16.6	30.6	19.1

第１２次配水管整備工事（実績）

年 次 別 布 設 延 長

区分＼年次	全　体	平成30年度実績
延　長（m）	2,790	2,790
比　率（%）	100.0	100.0

第１３次配水管整備工事（実績）

年 次 別 布 設 延 長

区分＼年次	全　体	令和元年度実績	令和２年度実績	令和３年度実績	令和４年度実績	令和５年度実績
延　長（m）	13,189	1,642	3,181	3,317	2,737	2,312
比　率（%）	100.0	12.4	24.1	25.1	20.8	17.6

第１４次配水管整備工事（実績）

年 次 別 布 設 延 長

区分＼年次	全　体	令和６年度実績	令和７年度実績	令和８年度実績	令和９年度実績	令和10年度実績
延　長（m）	4,443	2,376	2,067	－	－	－
比　率（%）	100.0	53.5	46.5	－	－	－

工事の状況（第１０次）

H22	391,243 千円 財源内訳 企業債 358,800 国庫補助金 18,600 その他資金 13,843	配水施設	配水管布設	φ 300m/m 鋳鉄管 L＝ φ 250m/m 鋳鉄管 L＝ φ 200m/m 鋳鉄管 L＝ φ 150m/m 鋳鉄管 L＝ φ 100m/m 鋳鉄管 L＝ φ 50m/m ポリエチレン管 L＝ 計	383 m 0 m 678 m 1,132 m 1,622 m 2,563 m 6,378 m
H23	362,892 千円 財源内訳 企業債 342,800 国庫補助金 8,460 その他資金 11,632	配水施設	配水管布設	φ 200m/m 鋳鉄管 L＝ φ 150m/m 鋳鉄管 L＝ φ 100m/m 鋳鉄管 L＝ φ 75m/m 鋳鉄管 L＝ φ 50m/m ポリエチレン管 L＝ 計	478 m 1,389 m 2,303 m 88 m 2,019 m 6,277 m
H24	449,662 千円 財源内訳 企業債 378,800 国庫補助金 58,050 その他資金 12,812	配水施設	配水管布設	φ 300m/m 鋳鉄管 L＝ φ 200m/m 鋳鉄管 L＝ φ 150m/m 鋳鉄管 L＝ φ 100m/m 鋳鉄管 L＝ φ 75m/m 鋳鉄管 L＝ φ 50m/m ポリエチレン管 L＝ 計	1,281 m 0 m 968 m 871 m 0 m 2,961 m 6,081 m
H25	390,904 千円 財源内訳 企業債 344,700 国庫補助金 15,622 その他資金 30,582	配水施設	配水管布設	φ 450m/m 鋳鉄管 L＝ φ 350m/m 鋳鉄管 L＝ φ 300m/m 鋳鉄管 L＝ φ 200m/m 鋳鉄管 L＝ φ 150m/m 鋳鉄管 L＝ φ 100m/m 鋳鉄管 L＝ φ 50m/m ポリエチレン管 L＝ 計	155 m 161 m 112 m 437 m 448 m 958 m 3,652 m 5,923 m

工事の状況（第１１次）

H26	424,972 千円 財源内訳 企業債 323,900 国庫補助金 28,148 その他資金 72,924	配水施設	配水管布設	φ 450m/m 鋳鉄管 L＝	435 m
				φ 350m/m 鋳鉄管 L＝	433 m
				φ 300m/m 鋳鉄管 L＝	352 m
				φ 200m/m 鋳鉄管 L＝	495 m
				φ 150m/m 鋳鉄管 L＝	96 m
				φ 100m/m 鋳鉄管 L＝	1,429 m
				φ 75m/m 鋳鉄管 L＝	344 m
				φ 50m/m ポリエチレン管 L＝	1,761 m
				計	5,345 m
H27	357,582 千円 財源内訳 企業債 286,100 交付金 16,681 その他資金 54,801	配水施設	配水管布設	φ 450m/m 鋳鉄管 L＝	28 m
				φ 350m/m 鋳鉄管 L＝	447 m
				φ 300m/m 鋳鉄管 L＝	54 m
				φ 300m/m ステンレス管 L＝	44 m
				φ 200m/m 鋳鉄管 L＝	326 m
				φ 150m/m 鋳鉄管 L＝	65 m
				φ 100m/m 鋳鉄管 L＝	351 m
				φ 75m/m 鋳鉄管 L＝	156 m
				φ 50m/m ポリエチレン管 L＝	1,168 m
				計	2,639 m
H28	324,160 千円 財源内訳 企業債 249,400 交付金 13,816 その他資金 60,944	配水施設	配水管布設	φ 250m/m 鋳鉄管 L＝	325 m
				φ 200m/m 鋳鉄管 L＝	714 m
				φ 150m/m 鋳鉄管 L＝	160 m
				φ 100m/m 鋳鉄管 L＝	1,524 m
				φ 50m/m ポリエチレン管 L＝	2,140 m
				計	4,863 m
H29	297,068 千円 財源内訳 企業債 256,100 交付金 14,563 その他資金 26,405	配水施設	配水管布設	φ 400m/m 鋳鉄管 L＝	272 m
				φ 350m/m 鋳鉄管 L＝	11 m
				φ 300m/m 鋳鉄管 L＝	41 m
				φ 150m/m 鋳鉄管 L＝	663 m
				φ 100m/m 鋳鉄管 L＝	378 m
				φ 75m/m 鋳鉄管 L＝	113 m
				φ 50m/m ポリエチレン管 L＝	1,548 m
				計	3,026 m

工事の状況（第１２次）

H30	261,657 千円 財源内訳 企業債 222,400 交付金 10,070 その他資金 29,187	配水施設	配水管布設	φ 250m/m 鋳鉄管 L＝	330 m
				φ 200m/m 鋳鉄管 L＝	283 m
				φ 150m/m 鋳鉄管 L＝	431 m
				φ 100m/m 鋳鉄管 L＝	349 m
				φ 50m/m ポリエチレン管 L＝	1,379 m
				φ 50m/m ステンレス管 L＝	18 m
				計	2,790 m

工事の状況（第１３次）

R元	261,896 千円 財 源 内 訳 企 業 債 222,600 交 付 金 16,103 そ の 他 資 金 23,193	配水施設	配水管布設	φ 250m/m 鋳 鉄 管 L＝ φ 100m/m 鋳 鉄 管 L＝ φ 75m/m 鋳 鉄 管 L＝ φ 50m/m ポリエチレン管 L＝ 計	91 m 191 m 2 m 1,358 m 1,642 m
R2	265,712 千円 財 源 内 訳 企 業 債 230,600 交 付 金 16,834 そ の 他 資 金 18,278	配水施設	配水管布設	φ 300m/m 鋳 鉄 管 L＝ φ 250m/m 鋳 鉄 管 L＝ φ 150m/m 鋳 鉄 管 L＝ φ 100m/m 鋳 鉄 管 L＝ φ 75m/m 鋳 鉄 管 L＝ φ 50m/m ポリエチレン管 L＝ 計	340 m 10 m 114 m 367 m 167 m 2,183 m 3,181 m
R3	275,202 千円 財 源 内 訳 企 業 債 257,900 交 付 金 11,988 そ の 他 資 金 5,314	配水施設	配水管布設	φ 300m/m 鋳 鉄 管 L＝ φ 100m/m 鋳 鉄 管 L＝ φ 100m/m ポリエチレン管 L＝ φ 50m/m ポリエチレン管 L＝ 計	247 m 720 m 104 m 2,246 m 3,317 m
R4	309,017 千円 財 源 内 訳 企 業 債 290,100 交 付 金 15,053 そ の 他 資 金 3,864	配水施設	配水管布設	φ 300m/m 鋳 鉄 管 L＝ φ 100m/m 鋳 鉄 管 L＝ φ 100m/m ステンレス管 L＝ φ 100m/m ポリエチレン管 L＝ φ 75m/m ポリエチレン管 L＝ φ 50m/m ポリエチレン管 L＝ 計	217 m 389 m 29 m 14 m 152 m 1,936 m 2,737 m
R5	308,526 千円 財 源 内 訳 企 業 債 294,000 交 付 金 11,675 そ の 他 資 金 2,851	配水施設	配水管布設	φ 450m/m 鋳 鉄 管 L＝ φ 300m/m 鋳 鉄 管 L＝ φ 100m/m 鋳 鉄 管 L＝ φ 100m/m ポリエチレン管 L＝ φ 75m/m ポリエチレン管 L＝ φ 50m/m ポリエチレン管 L＝ 計	265 m 209 m 16 m 665 m 97 m 1,060 m 2,312 m

工事の状況（第１４次）

R6	261,580 千円 財 源 内 訳 企 業 債 244,100 交 付 金 13,988 そ の 他 資 金 3,492	配水施設	配水管布設	φ 450m/m 鋳 鉄 管 L＝	97 m
				φ 400m/m 鋳 鉄 管 L＝	7 m
				φ 300m/m 鋳 鉄 管 L＝	92 m
				φ 200m/m 鋳 鉄 管 L＝	70 m
				φ 150m/m 鋳 鉄 管 L＝	62 m
				φ 100m/m 鋳 鉄 管 L＝	15 m
				φ 50m/m ポリエチレン管 L＝	2,033 m
				計	2,376 m
R7	398,326 千円 財 源 内 訳 企 業 債 394,700 交 付 金 3,286 そ の 他 資 金 340	配水施設	配水管布設	φ 400m/m 鋳 鉄 管 L＝	5 m
				φ 300m/m 鋳 鉄 管 L＝	145 m
				φ 250m/m 鋳 鉄 管 L＝	205 m
				φ 200m/m 鋳 鉄 管 L＝	1 m
				φ 150m/m 鋳 鉄 管 L＝	89 m
				φ 100m/m 鋳 鉄 管 L＝	22 m
				φ 75m/m 鋳 鉄 管 L＝	45 m
				φ 75m/m ポリエチレン管 L＝	338 m
				φ 50m/m ポリエチレン管 L＝	1,217 m
				計	2,067 m

（4） 改 良 事 業

（ア） 消 火 栓 新 設 工 事

区分／年度	事 業 費	工 事 の 概 要	
H30	2,883.6千円 財源内訳 一般会計負担	配水施設	和田式打倒型消火栓　φ100㎜　1基
R元	— 財源内訳 一般会計負担	—	—
R2	— 財源内訳 一般会計負担	—	—
R3	— 財源内訳 一般会計負担	—	—
R4	— 財源内訳 一般会計負担	—	—
R5	— 財源内訳 一般会計負担	—	—
R6	— 財源内訳 一般会計負担	—	—
R7	— 財源内訳 一般会計負担	—	—

（イ） 消 火 栓 整 備 工 事

目 的　本市の消火栓は、地上式のため、狭い路地や山坂が多い地形と、スタッドレス化に伴い、車が滑って消火栓に衝突し折損する事故が多発している。このような状況から平成11年度に消火栓が折損されても水の出ない「打倒型消火栓」を採用し、平成13年度から整備事業を実施している。

区分／年度	事 業 費	工 事 の 概 要	
H17	15,727千円 財 源 内 訳 一 般 会 計 負 担 10,750千円 水 道 会 計 4,977千円	配水施設	和田式打倒型消火栓　φ 100㎜　48基
H18	13,543千円 財 源 内 訳 一 般 会 計 負 担 10,750千円 水 道 会 計 2,793千円	配水施設	和田式打倒型消火栓　φ 100㎜　36基

※平成18年度で終了

（ウ） 老朽施設等更新改良工事

目 的　経年化によって故障の増加傾向にある銭函浄水場及び主要水道施設等の機能低下を改善するため、老朽化した各施設の更新及び改良を行うとともに施設の統廃合を進め、効率的な維持管理と安全で安定した水の供給を確保し、災害に強い施設づくりを推進する。

第１次　工事期間：平成11年度～平成19年度　　９か年

第２次　工事期間：平成20年度～平成29年度　　11か年 （平成30年度含む）

第３次　工事期間：令和元年度～令和10年度　　10か年

区分／年度	事業費	工事の概要	
H11	22,000千円 財源内訳 企業債 22,000千円	浄水施設	銭函浄水場電気計装設備実施設計委託
H12	47,500千円 財源内訳 企業債 47,500千円	浄水施設	銭函浄水場電気棟築造工事（建築・電気）
H13	119,500千円 財源内訳 企業債 119,500千円	浄水施設	銭函浄水場電気設備工事（受変電設備・自家発電設備） 豊倉浄水場電気設備工事（薬品注入・ろ過流量制御設備） 銭函浄水場実施設計委託（高区送水ポンプ室・中区配水池流入弁室） 豊倉浄水場実施設計委託（急速ろ過池）
		配水施設	真栄配水池更新工事（電気・建築・配管）
H14	343,400千円 財源内訳 企業債 343,400千円	浄水施設	豊倉浄水場　ろ過池改修工事（機械・電気・配管） 実施設計委託（春香ポンプ所ポンプ更新） 銭函浄水場　銭函中区配水池配管室改修（建築・機械・配管） 実施設計委託 （監視制御設備更新・第１低区流出入弁室改修）
		送水施設	送水管布設　φ250m/m 鋳鉄管　L＝806m
		導水施設	導水トンネル改修　L＝50m
H15	484,600千円 財源内訳 企業債 484,600千円	浄水施設	銭函浄水場　中央監視制御・動力設備工事 （動力・計装・監視制御設備、ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀｰ） 管理棟改修工事（建築） 水処理棟配管設備工事 （薬品注入設備、ろ過池等弁類更新） 豊倉浄水場　電気設備（直流電源装置）工事（電気）
		送水施設	春香送・配水管改良工事（送・配水管補強　N＝ 29か所）
			春香第２送水ポンプ所 実施設計委託・地質調査・測量委託
		配水施設	銭函第１低区配水池分水施設改良工事（分水施設増築、配管）
			銭函第１、第２低区配水池電気設備工事（計装盤、中継端子盤）
		導水施設	松倉導水トンネル改修　L＝54m
		貯水施設	奥沢水源地放水路護岸改修工事　L＝27m
			常盤ダム電気設備工事(投入式水位計、太陽光発電パネル)

区分／年度	事業費	工事の概要	
H16	545,800千円 財源内訳 企業債 545,800千円	取水施設	余市川水源取水井映像監視設備（取水井カメラ）
		浄水施設	銭函浄水場　管理棟改修工事　（建築、配管） 建築電気設備工事（電気ヒータ制御盤、電気暖房）
		送水施設	春香第２送水ポンプ所 築造工事（土木、建築、機械、配管） 電気計装設備工事（受変電設備、自家発電設備） 春香送水ポンプ所 改良工事（機械、配管） 電気計装設備工事（受変電設備、ｺﾝﾄﾛｰﾙｾﾝﾀｰ）
		配水施設	銭函浄水場場外計装設備工事 （見晴ポンプ場動力盤、テレメーター子局、 銭函浄水場沈砂池計装盤）
H17	427,100千円 財源内訳 企業債 394,400千円 工事負担金 32,660千円 自己資金 40千円	貯水施設	奥沢水源地　放水路護岸改修工事　L＝19m 溢流路実施設計委託・測量調査委託
		取水施設	銭函浄水場　取水施設監視設備工事（取水・沈澱池カメラ）
		浄水施設	銭函浄水場　沈澱池棟改修工事（土木・建設）
			豊倉浄水場　急速ろ過池改修工事(土木･建設･機械･配管) 急速ろ過池電気設備工事 （中央計器板・コントロールセンター増設）
		送水施設	天神送水管　布設工事　φ400㎜　L＝938m 測量調査委託
		配水施設	於古発高区ポンプ室 改良工事(土木・建設・機械) 電気計装設備工事（動力計装盤･無停電電源装置） 電気計装設備その２工事(配水槽水位計)
			蘭島配水池　外２件実施設計委託 外１件地質調査委託
			桜第１高区配水池　改修実施設計委託
H18	496,700千円 財源内訳 企業債 496,700千円 工事負担金 － 自己資金 －	貯水施設	奥沢水源地　溢流路護岸改修工事　L＝124.8m
		浄水施設	豊倉浄水場　フロック形成池屋上防水改修工事 屋上シート防水　A＝665㎡
			銭函浄水場　計装設備工事
		送水施設	天神送水ポンプ所 実施設計委託 地質調査委託
			清風ヶ丘ポンプ所 改良工事（建築・土木・機械設備） 電気計装設備工事（建築電気設備・電気計装設備）
			天神送水管　布設工事 （送水管DIP(NS-1)φ100～350 L＝1,003m 他） 布設その２工事 （送水管DIP(NS-1)φ600　L＝198m 他）
			豊倉送水支管　実施設計（推進）
			豊倉送水支管ほか１件 測量調査委託・地質調査委託
			勝納水管橋　実施設計委託
		配水施設	桜第１高区配水池 改良工事（配水池躯体工・防食工・配管工）
			蘭島配水池　増設工事（土木・建築） 電気計装設備工事（建築電気設備・電気計装設備）

区分／年度	事業費	工事の概要	
H19	446,000千円 財源内訳 企業債 446,000千円 工事負担金 － 自己資金 －	貯水施設	奥沢水源地　溢流路護岸改修工事　L＝107.3m
		浄水施設	豊倉浄水場　薬品沈殿地屋上防水改修工事 屋上シート防水　A＝846㎡
			豊倉浄水場　電気設備更新工事
		送水施設	天神送水ポンプ所 ポンプ所築造工事（躯体工・ポンプ井）
			奥沢送水管等 布設工事 （送水管DIP(NS-1)φ250～350 L＝1,016m 他）
		配水施設	桜第１高区配水池 改良工事（配水池躯体工・屋内配管工） 電気計装設備工事（建築電気設備・電気計装設備）
H20	511,217千円 財源内訳 企業債 500,000千円 工事負担金 3,784千円 自己資金 7,433千円	送水施設	天神送水ポンプ所 築造工事（躯体工・建築上屋・ポンプ設備） 電気計装設備工事（建築電気設備・電気計装設備） 遠方監視制御設備工事 （天神浄水場中央監視装置機能増設） ポンプ所場内配管工事
			奥沢送水管等　布設工事 （送水管DIP(NS-1)φ250～350 L＝341.3m 他） （推進　HPφ1000 L＝55.18m ）
		配水施設	潮見台配水池　流量調整弁改良工事（流入制御弁） 電気計装設備工事（計装盤・流量計）
			見晴配水槽　電気設備工事（信号線）
			清風ヶ丘配水槽　基本設計委託
H21	393,350千円 財源内訳 企業債 386,600千円 工事負担金 － その他資金 6,750千円	取水施設	余市川水源地　地質調査委託・実施設計委託（擁壁）
		浄水施設	天神浄水場　電気設備工事（蓄電設備）
			豊倉浄水場　薬品沈殿地屋上防水改修工事 屋上シート防水　A＝824㎡ 電気計装設備工事（流量計・水位計） 電気計装設備その２工事（現場操作盤機能増設） 機械設備工事（薬品注入設備） 天日乾燥床実施設計委託 天日乾燥床築造工事（２号） 汚泥移送ポンプ設備実施設計委託 機械設備工事（ポンプ設備） 機械設備外実施設計委託（薬品注入設備）
		送水施設	奥沢送水管等　布設工事 （送水管DIP(NS-1)φ300～350 L＝280.8m 他）
			春香送水ポンプ所 自家発電設備外実施設計委託
			天神送水ポンプ所 場内整備工事（アスファルト舗装　A＝85㎡）
		配水施設	新光配水池　配管改良工事（配管・弁類） 電気設備工事（流量計・水位計・計装盤）
			手宮配水池　配管改良工事（配管・弁類） 電気設備工事（流量計・水位計・計装盤）
			低区流入量水器室 配管改良工事（電動操作機）

区分／年度	事業費	工事の概要		
H22	416,973千円 財源内訳 企業債 398,900千円 工事負担金 11,182千円 その他資金 6,891千円	貯水施設	朝里ダム	電気計装設備更新（負担金）
		取水施設	余市川水源地	擁壁改修工事（逆T式擁壁 L＝36m）
		浄水施設	豊倉浄水場	天日乾燥床築造工事（１号） 機械設備工事（薬品注入設備・次亜） 急速ろ過池屋上防水改修工事 屋上シート防水　A＝1,610.9㎡
			銭函浄水場	外柵工事（転落防止柵　L＝82.2m）
		送水施設	春香送水ポンプ所	電気設備工事（自家発電設備） 機械設備工事（ポンプ設備）
		配水施設	中区配水池	測量調査委託・地質調査委託・実施設計委託
			赤岩配水池	測量調査委託・地質調査委託・実施設計委託 用地取得費
			清風ヶ丘配水槽	確定測量調査委託・地質調査委託・実施設計委託 用地取得費
			桜低区配水池	配管改良工事（配管・弁類） 電気設備工事（流量計・水位計）
			桜第２高区配水池	配管改良工事（配管・弁類） 電気設備工事（流量計・水位計）
H23	529,873千円 ※水道施設等整理事業含む 財源内訳 企業債 392,400千円 工事負担金 122,830千円 その他資金 14,643千円	貯水施設	朝里ダム	電気計装設備更新（負担金）
			奥沢ダム	河川切替設計 水路設置工事(根固めブロック工)
		取水施設	奥沢水源地	水路改修工事（φ1,350 L＝108.0m） 法面改修工事（多自然型護岸工）
		浄水施設	豊倉浄水場	機械設備工事（PAC注入設備） 機械設備工事（ﾎﾞｲﾗｰ設備） 電気計装設備工事（中央監視装置機能増設） 電気設備実施設計
			銭函浄水場	屋根改修工事　A＝511㎡
		送水施設	天神送水管	布設工事（送水管DIP(NS-1)φ250 L＝265.0m）
			豊倉・奥沢送水管	布設工事 豊倉（送水管DIP(NS-1)φ500 L＝62.0m） 奥沢（送水管DIP(NS-1)φ350 L＝60.0m）
		配水施設	清風ヶ丘配水槽	造成・杭基礎工事（鋼管杭φ400 65本）
			幸配水池	電気設備工事（流量計・水位計）
			北手宮配水池	配管改良工事（配管・弁類） 電気設備工事（流量計・水位計）
			潮見台配水池	配管改良工事（配管・弁類） 電気設備工事（流量計・水位計）

区分／年度	事業費	工事の概要		
H24	463,058千円 ※水道施設等整理事業含む 財源内訳 企業債 453,900千円 工事負担金 325千円 その他資金 8,833千円	貯水施設	朝里ダム	電気計装設備更新（負担金）
			奥沢ダム	法面植生工事（A＝30,633㎡） 法面整形工事（A＝9,890㎡） 水道施設整理工事（樋門及び取水塔閉塞） 水道施設整理検討業務
		取水施設	奥沢水源地	法面植生工事（A＝1,046㎡）
		浄水施設	豊倉浄水場	中央監視制御設備工事 計装設備工事（原水流量計設置） 電気計装設備・薬品沈澱池設備外設計
			天神浄水場	中央監視制御設備工事 電気室空調設備工事
			銭函浄水場	外柵設置工事（転落防止柵　L＝55.5m） 機械設備実施設計
		配水施設	赤岩配水池	本体築造工事（土木） 用地取得
			低区配水池	外柵設置工事（転落防止柵　L＝170.0m）
			清風ヶ丘配水槽	家屋調査
H25	503,391千円 財源内訳 企業債 473,400千円 工事負担金 12千円 その他資金 29,979千円	貯水施設	朝里ダム	電気計装設備更新（負担金）
		浄水施設	豊倉浄水場	中央監視制御設備工事 機械設備工事（薬品沈澱池流出ゲート更新） 機械設備工事（PAC注入設備増設） 耐震診断業務（管理棟・薬品注入棟）
			銭函浄水場	機械設備工事（ソーダ灰注入設備外） 電気計装設備工事
		送水施設	豊倉・奥沢送水管	布設工事 豊倉（送水管DIP(NS-1)φ500 L＝194.7m） 奥沢（送水管DIP(NS-1)φ350 L＝179.4m）
			オタモイ・見晴ポンプ所	機械設備工事（ポンプ設備） 電気計装設備工事
		配水施設	赤岩配水池	本体築造工事（土木・建築） 電気計装設備工事
H26	392,910千円 財源内訳 企業債 251,900千円 工事負担金 45,754千円 その他資金 95,256千円	貯水施設	朝里ダム	電気計装設備更新（負担金）
		浄水施設	豊倉浄水場	機械設備工事（緩速攪拌機設備）　４台 機械設備工事（薬品沈澱池設備）　流出ゲート 受変電棟築造工事 電気設備実施設計（受変電外１件）
			天神浄水場	監視制御設備工事　webサーバー等更新 屋上防水改修工事　シート防水 水処理棟　A=1,681㎡、管理棟　A=448㎡
			銭函浄水場	機械設備工事（ﾎﾟﾝﾌﾟ設備）　表洗ﾎﾟﾝﾌﾟ　揚水ﾎﾟﾝﾌﾟ 外２配水池電気計装設備工事 外３配水池電気計装設備工事 屋根改修工事　ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板　A=511㎡
		浄水施設	天神送水管	舗装復旧工事　A=870㎡
		配水施設		中区配水池築造工事　（４年債務１年目） 清風ヶ丘配水槽築造工事　（３年債務１年目・NEXCO補償） 銭函第１低区配水池外１外柵設置工事 （銭函第１低区配水池　L=119m、桜第２高区配水池　L=48m）
		その他		低区配水池管路用地擁壁改修工事 水道局本庁舎ガス設備工事

区分 年度	事業費	工事の概要	
H27	547,343 千円 財源内訳 企業債 330,100 千円 工事負担金 113,265 千円 その他資金 103,978 千円	貯水施設	朝里ダム　電気計装設備更新（負担金）
			余市川水源　監視カメラ設備工事
		浄水施設	豊倉浄水場　受変電棟外構工事
			銭函浄水場　屋根改修工事　ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板　A=157㎡ 外２件計装設備工事
			天神浄水場　電気設備工事　高圧気中開閉器等更新
		配水施設	中区配水池築造工事　（４年債務２年目） 中区配水池電気計装設備工事 清風ヶ丘配水槽築造工事　（３年債務２年目・NEXCO補償） 清風ヶ丘配水槽電気計装設備工事 （２年債務２年目・NEXCO補償）
		その他	水道局本庁舎暖房設備工事 水道局本庁舎電気設備工事
H28	366,340 千円 財源内訳 企業債 242,800 千円 工事負担金 42,415 千円 その他資金 81,125 千円	貯水施設	朝里ダム
			余市川水源　管理事務所（給水管・機械設備・内部改修工事）
		浄水施設	豊倉浄水場　電気設備工事(２年債務１年目) 受変電棟建築設備工事 機械設備工事 排水施設改良工事
		配水施設	中区配水池築造工事　（４年債務３年目） 清風ヶ丘配水槽築造工事　（３年債務３年目・NEXCO補償） 蘭島配水池排水管布設工事 塩谷配水池外柵設置工事 蘭島配水池外２件計装設備工事（蘭島、清風ヶ丘ポンプ所、低区） 桜第２高区ポンプ室実施設計委託
		その他	局本庁舎暖房設備工事（蒸気配管改修一式） 局本庁舎通信設備更新工事（電話交換機一式、電話機70台） 局本庁舎煙突改修工事（建築・機械設備一式）
H29	569,270 千円 財源内訳 企業債 514,000 千円 交付金 4,506 千円 その他資金 50,764 千円	貯水施設	朝里ダム　電気計装設備更新工事（負担金）
			長寿命化計画策定（負担金）
		浄水施設	豊倉浄水場　電気設備工事(２年債務２年目)
			屋根改修工事(外６件)
			機械設備工事
			銭函浄水場　屋根改修工事
		配水施設	中区配水池築造工事　（４年債務４年目） 中区配水池配水管布設工事 坂本配水池外１件配管改良工事 桜第２高区ポンプ室築造工事 坂本配水池外２件計装設備
		その他	局本庁舎暖房設備工事
H30	485,015 千円 財源内訳 企業債 431,000 千円 交付金 － 千円 その他資金 54,015 千円	貯水施設	朝里ダム　電気計装設備更新工事（負担金）
		導水施設	導水トンネル　常盤・松倉導水トンネル劣化診断業務委託
		浄水施設	天神浄水場　中央監視制御設備工事(３年債務１年目)
			豊倉浄水場　機械電気設備実施設計委託
		送水施設	於古発送水P所　機械設備工事
			電気計装設備工事
		配水施設	最上ポンプ所築造工事 銭函第１低区外３件計装設備工事 豊倉浄水場外３件屋根改修工事 低区配水池実施設計(基本設計)委託
		その他	水道局本庁舎改修工事

区分／年度	事業費	工事の概要	
R元	376,403 千円 財源内訳 企業債 366,300 千円 工事負担金 550 千円 その他資金 9,553 千円	貯水施設 導水施設 浄水施設 送水施設 配水施設	朝里ダム　電気計装設備更新（負担金） 常盤・松倉導水トンネル実施設計委託 天神浄水場　中央監視制御設備工事（３年債務２年目） 望洋台ポンプ所外１件実施設計委託 真栄配水池外２件建築改修工事 天神配水池外１件計装設備工事 低区配水池地質調査委託 低区配水池測量調査委託
R2	648,877 千円 財源内訳 企業債 613,500 千円 交付金 － 千円 工事負担金 － 千円 その他資金 35,377 千円	貯水施設 導水施設 浄水施設 送水施設 配水施設 その他	朝里ダム　電気計装設備更新（負担金） 豊倉トンネル劣化診断業務委託 天神浄水場中央監視制御設備工事（３年債務３年目） 天神浄水場外１箇所外柵設置工事 天神浄水場外２箇所電気計装設備工事 豊倉浄水場電気計装設備工事 豊倉浄水場浄水池機械設備工事 豊倉浄水場外２件機械電気設備実施設計委託 水道局本庁舎外６箇所計装設備工事 望洋台ポンプ所外１箇所機械設備工事 望洋台ポンプ所外４箇所外柵設置工事 幸配水池屋根改修工事 長橋配水池屋根改修工事 銭函第２低区配水池屋根改修工事 低区配水池実施設計（詳細設計）業務委託 局本庁舎電気設備工事 局本庁舎電気設備その２工事
R3	392,822 千円 財源内訳 企業債 369,300 千円 交付金 － 千円 工事負担金 1,941 千円 その他資金 21,581 千円	貯水施設 浄水施設 配水施設	朝里ダム　電気計装設備更新（負担金） 豊倉浄水場電気計装設備工事（２年債務１年目） 天神浄水場電気棟外４箇所建築改修工事 天神浄水場機械設備工事（２年債務１年目） 天神浄水場電気計装設備工事 低区配水池造成工事（２年債務１年目） 真栄配水池外５箇所電気計装設備工事 伍助沢配水ポンプ所外１件電気機械設備実施設計委託
R4	560,520 千円 財源内訳 企業債 537,100 千円 交付金 － 千円 工事負担金 － 千円 その他資金 23,420 千円	貯水施設 浄水施設 配水施設	朝里ダム　電気計装設備更新（負担金） 豊倉浄水場電気計装設備工事（２年債務２年目） 天神浄水場機械設備工事（２年債務２年目） 天神浄水場映像監視設備工事 低区配水池造成工事（２年債務２年目） 低区配水池築造工事（４年債務１年目） 真栄配水池外４箇所機械設備工事

区分／年度	事業費	工事の概要	
R5	520,889 千円 財源内訳 企業債 488,100 千円 交付金 － 千円 工事負担金 － 千円 その他資金 32,789 千円	貯水施設 導水施設 浄水施設 配水施設	朝里ダム　電気計装設備更新（負担金） 余市川水源外１件実施設計委託 松倉導水トンネル改修工事 豊倉浄水場電気計装設備工事 銭函浄水場受変電設備工事 銭函浄水場外５箇所電気設備工事（２年債務１年目） 豊倉浄水場天日乾燥汚泥ストックヤード増設工事 天神浄水場外１件機械・電気設備実施設計委託 低区配水池築造工事（４年債務２年目）
R6	1,184,142 千円 財源内訳 企業債 1,174,400 千円 交付金 － 千円 工事負担金 － 千円 その他資金 9,742 千円	貯水施設 浄水施設 送水施設 配水施設 	朝里ダム　電気計装設備更新（負担金） 常盤ダムゲート等改修工事 豊倉浄水場浄水池建築改修工事 豊倉浄水場浄水池建築電気設備工事 豊倉浄水場薬品注入設備実施設計委託 天神浄水場機械設備工事 銭函浄水場外５箇所電気設備工事（２年債務２年目） 銭函浄水場屋根改修工事 銭函浄水場映像監視設備工事 春香送水ポンプ所外１箇所受変電設備工事 低区配水池築造工事（４年債務３年目） 低区配水池築造その２工事（３年債務１年目） 低区配水池配管改良工事 桜第２高区配水池建築改修工事 幸配水池機械設備工事 吉原配水池外柵設置工事
R7	750,000 千円 財源内訳 企業債 727,900 千円 国庫補助金 9,930 千円 工事負担金 － 千円 その他資金 12,170 千円	貯水施設 浄水施設 送水施設 配水施設 その他	朝里ダム　電気計装設備・給水設備更新（負担金） 天神浄水場外１箇所機械設備工事 豊倉浄水場機械設備（薬品注入設備）工事 豊倉浄水場建築改修（耐震補強）工事（２年債務２年目） 余市川水源ゲート等改修工事 天神浄水場外１か所電気計装設備工事 豊倉浄水場外１か所映像監視設備工事 天神浄水場ロードヒーティング実施設計委託 春香送水ポンプ所外１箇所受変電設備工事 低区配水池築造工事（４年債務４年目） 低区配水池築造その２工事（３年債務２年目） 低区配水池排泥管布設工事（ゼロ市債） 蘭島配水池外３箇所電気設備工事 坂本配水池外柵設置工事 望洋台第一配水槽外２箇所建築改修工事 伍助沢ポンプ所機械設備工事 局本庁舎建築電気設備工事

（５） 石狩湾新港銭函地区簡易水道事業（平成元年～）

目的　石狩湾新港地域に進出する企業に対して、安全で安定した水供給が必要になることから、平成25年４月１日より当別ダムを恒久水源として「石狩西部広域水道企業団」が用水を供給し、小樽市が簡易水道事業により、末端給水を行っている。

なお、ダム建設が長期（平成４年～平成24年）にわたったことから、平成２年１月１日から平成25年３月31日までは暫定的に地下水を水源とし、施設能力を200㎥/日とする簡易水道事業の許可を得て、給水を行っていた。

年度別事業費

（単位：千円）

年　　度	事　　業　　費
平成元年度	２３３，２３２
平成２年度	９８，１６６
平成３年度	２３０，５００
平成４年度	２９９，２５０
平成５年度	１３４，３００
平成６年度	１４９，１００
平成７年度	５７２，０００
平成８年度	１２１，９００
平成９～23年度	０
平成24年度	１１，５５０
平成25年度	８，１２７
平成26年度	６，０３７
平成27年度	１，２９６
平成28年度	１０，４００
平成29年度	０
平成30年度	７，２００
令和元年度	１１，０００
令和２年度	１０４，２９５
令和３年度	３５，７００
令和４年度	０
令和５年度	０
令和６年度	３，２００
令和７年度	０
計	２，０３７，２５３

許 可 内 容

	認可（届出）年月日	目標年次	認可水量	認可変更理由
創　　設	平成元年７月10日	平成５年	200㎥/日	―
変　　更	平成２年６月29日	平成５年	200㎥/日	給水区域の一部変更
第１次拡張	平成４年６月２日	平成10年	1,540㎥/日	給水量の増加
第２次拡張	平成25年２月27日	令和４年	2,750㎥/日	給水量の増加、水源の変更
第３次拡張	平成26年２月27日	令和４年	2,750㎥/日	給水区域の拡張
第４次拡張	令和６年３月25日	令和15年	2,750㎥/日	給水区域の拡張

(6)　配水管延長

（単位 ： m）

年度＼管種	石綿セメント管	鋳　鉄　管	ダクタイル鋳鉄管	塩化ビニル管	鋼　　管	水道配水用ポリエチレン管	ポリエチレン管	ステンレス管	計
昭和　45　年度	40,367	171,673	5,859	25,208	10,671	－	－	－	253,778
平成　6　年度	6,583	77,360	284,156	42,561	－		69,975	626	481,261
平成　22　年度	－	15,236	365,498	37,608	2,241		118,343	1,089	540,015
平成　23　年度	－	13,993	369,708	33,275	2,059		120,274	1,108	540,417
平成　24　年度	－	11,154	372,892	30,271	2,059		123,278	1,108	540,762
平成　25　年度	－	9,429	374,767	27,465	2,059		126,846	1,108	541,674
平成　26　年度	－	9,109	377,068	25,028	2,059		128,377	1,108	542,749
平成　27　年度	－	8,160	377,969	22,873	2,059		129,455	1,152	541,668
平成　28　年度	－	7,604	379,776	19,721	2,059		131,342	1,152	541,654
平成　29　年度	－	5,799	380,260	16,960	2,059		133,087	1,152	539,317
平成　30　年度	－	5,125	380,959	16,208	1,994		134,451	1,170	539,907
令和　元　年度	－	4,958	381,249	15,821	1,976		136,471	1,170	541,645
令和　2　年度	－	4,905	382,134	16,119	1,976		139,353	1,162	545,649
令和　3　年度	－	4,845	384,081	14,519	1,877	104	142,777	1,162	549,365
令和　4　年度	－	4,845	384,650	12,651	1,866	270	144,646	1,202	550,130
令和　5　年度	－	4,845	385,060	12,019	1,866	1,032	145,662	1,202	551,686
令和　6　年度	－	4,776	385,212	10,380	1,866	1,032	147,534	1,202	552,002
令和　7　年度	－	3,422	384,204	9,503	1,788	1,370	148,313	1,202	549,802

4　浄　水　状　況

(1)　浄水量、薬品使用量、塩素注入量

年度	浄　水　場	急　速　ろ　過　池		
		天神浄水場	豊倉浄水場	銭函浄水場
平成30年度	浄　水　量　（㎥）	5,563,024	10,111,839	124,447
	ＰＡＣ　（kg）	176,969	283,353	4,007
	消石灰またはソーダ灰　（kg）	12,724	32,327	559
	次亜塩素酸ナトリウム　（ℓ）	32,916	77,171	1,239
令和元年度	浄　水　量　（㎥）	5,330,444	9,889,093	128,129
	ＰＡＣ　（kg）	156,896	272,212	4,088
	消石灰またはソーダ灰　（kg）	9,654	31,453	704
	次亜塩素酸ナトリウム　（ℓ）	35,837	79,343	1,225
令和2年度	浄　水　量　（㎥）	5,008,388	9,773,319	123,962
	ＰＡＣ　（kg）	133,493	247,717	3,939
	消石灰またはソーダ灰　（kg）	7,350	27,625	611
	次亜塩素酸ナトリウム　（ℓ）	31,625	71,256	1,185
令和3年度	浄　水　量　（㎥）	5,071,440	10,006,174	120,748
	ＰＡＣ　（kg）	132,978	288,954	3,568
	消石灰またはソーダ灰　（kg）	7,728	40,411	552
	次亜塩素酸ナトリウム　（ℓ）	28,107	72,672	1,161
令和4年度	浄　水　量　（㎥）	4,829,888	9,799,514	123,095
	ＰＡＣ　（kg）	124,618	316,694	4,574
	消石灰またはソーダ灰　（kg）	10,325	41,724	844
	次亜塩素酸ナトリウム　（ℓ）	36,371	72,447	1,084
令和5年度	浄　水　量　（㎥）	4,828,927	9,950,969	124,060
	ＰＡＣ　（kg）	169,513	332,350	3,940
	消石灰またはソーダ灰　（kg）	19,016	43,130	571
	次亜塩素酸ナトリウム　（ℓ）	41,329	75,601	1,009
令和6年度	浄　水　量　（㎥）	4,804,107	9,736,683	123,899
	ＰＡＣ　（kg）	136,255	324,374	3,669
	消石灰またはソーダ灰　（kg）	15,114	42,048	514
	次亜塩素酸ナトリウム　（ℓ）	41,643	74,018	976
令和7年度	浄　水　量　（㎥）	4,913,867	9,635,414	124,558
	ＰＡＣ　（kg）	136,412	366,911	4,017
	消石灰またはソーダ灰　（kg）	13,468	46,733	634
	次亜塩素酸ナトリウム　（ℓ）	42,407	72,041	1,047

（２）水質試験実施状況

（ア） 法定及び管理試験

区　　分	試験種目	４年度	５年度	６年度	７年度
		件　数	件　数	件　数	件　数
毎日試験	原　　水	1,911	1,922	1,930	1,954
	沈　殿　水	1,669	1,679	1,688	1,706
	ろ　過　水	1,668	1,672	1,668	1,670
	浄　　水	2,014	2,017	2,009	2,011
	給水栓水	4,015	4,002	3,923	3,846
	計	11,277	11,292	11,218	11,187
精密試験（4回/年）	原　　水	12	12	12	12
	浄　　水	－	－	－	－
	給水栓水	32	32	32	32
	計	44	44	44	44
毎月試験（8回/年）	原　　水	36	36	36	36
	浄　　水	－	－	－	－
	給水栓水	64	64	64	64
	計	100	100	100	100
浄水過程の試験	原　　水	48	48	48	48
	沈　殿　水	36	36	36	36
	ろ　過　水	36	36	36	36
	配水池水	60	60	60	60
	給水栓水	96	96	96	96
	計	276	276	276	276
臨時水質試験	原　　水	－	－	－	－
	浄　　水	1	1	2	－
	給水栓水	47	37	49	46
	そ　の　他	15	75	84	85
	計	63	113	135	131
受託試験	用水に関するもの	687	767	744	751
	そ　の　他	225	210	195	202
	計	912	977	939	953

（イ） その他の試験・調査・研究事項

令 和 5 年 度		
1	浄水汚泥処理排水の水質検査	14 件
2	浄水場汚泥含水率検査	4 件
3	浄水場汚泥溶出試験	1 件
4	ダム湖水質調査	36 件
5	浄水場使用薬品の品質試験	5 件
6	浄水場使用薬品の評価項目試験	5 件
7	水質管理目標設定項目検査	45 件
8	各浄水場原水のクリプトスポリジウム等の検査	6 件
9	各種検査方法の検討等	21 件

令 和 6 年 度		
1	浄水汚泥処理排水の水質検査	14 件
2	浄水場汚泥含水率検査	4 件
3	浄水場汚泥溶出試験	1 件
4	ダム湖水質調査	36 件
5	浄水場使用薬品の品質試験	5 件
6	浄水場使用薬品の評価項目試験	5 件
7	水質管理目標設定項目検査	12 件
8	各浄水場原水のクリプトスポリジウム等の検査	6 件
9	各種検査方法の検討等	19 件

令 和 7 年 度		
1	浄水汚泥処理排水の水質検査	14 件
2	浄水場汚泥含水率検査	4 件
3	浄水場汚泥溶出試験	1 件
4	ダム湖水質調査	36 件
5	浄水場使用薬品の品質試験	5 件
6	浄水場使用薬品の評価項目試験	5 件
7	水質管理目標設定項目検査	12 件
8	各浄水場原水のクリプトスポリジウム等の検査	6 件
9	各種検査方法の検討等	28 件

(3)水質試験成績表

(ア) 令和6年度・年平均値　　(原水)

試験項目 ＼ 採水場所		余市川 天神浄水場 原水検水栓	朝里川 豊倉浄水場 原水検水栓	銭函川 銭函浄水場 原水検水栓	樽川配水池流入 検水栓
気温	℃	11.0	11.9	14.7	12.3
水温	℃	8.0	9.3	9.5	9.4
一般細菌	個/mL	21	30	75	0
大腸菌	MPN	11	3.3	38	不検出
カドミウム及びその化合物	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	-
水銀及びその化合物	mg/L	<0.00005	<0.00005	<0.00005	-
セレン及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	-
鉛及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	-
ヒ素及びその化合物	mg/L	<0.001	0.007	<0.001	-
六価クロム化合物	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
亜硝酸態窒素	mg/L	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
シアン化物イオン及び塩化シアン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	-
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/L	0.27	0.17	0.20	0.26
フッ素及びその化合物	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
ホウ素及びその化合物	mg/L	<0.01	0.06	<0.01	0.01
四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	-
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	-
シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	-
ジクロロメタン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	-
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0001	<0.0001	<0.0001	-
トリクロロエチレン	mg/L	<0.0001	<0.0001	<0.0001	-
ベンゼン	mg/L	<0.0001	<0.0001	<0.0001	-
塩素酸	mg/L	-	-	-	-
クロロ酢酸	mg/L	-	-	-	-
クロロホルム	mg/L	-	-	-	-
ジクロロ酢酸	mg/L	-	-	-	-
ジブロモクロロメタン	mg/L	-	-	-	-
臭素酸	mg/L	-	-	-	-
総トリハロメタン	mg/L	-	-	-	-
トリクロロ酢酸	mg/L	-	-	-	-
ブロモジクロロメタン	mg/L	-	-	-	-
ブロモホルム	mg/L	-	-	-	-
ホルムアルデヒド	mg/L	-	-	-	-
亜鉛及びその化合物	mg/L	0.01	<0.01	<0.01	<0.01
アルミニウム及びその化合物	mg/L	0.18	0.09	0.13	<0.01
鉄及びその化合物	mg/L	0.077	0.099	0.14	<0.003
銅及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
ナトリウム及びその化合物	mg/L	5.0	6.1	6.8	9.4
マンガン及びその化合物	mg/L	0.005	0.031	0.021	<0.001
塩化物イオン	mg/L	5.4	7.8	7.1	10.6
カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/L	17	19	29	23
蒸発残留物	mg/L	54	56	73	-
陰イオン界面活性剤	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	-
ジェオスミン	mg/L	<0.000001	0.000003	<0.000001	-
2-メチルイソボルネオール	mg/L	<0.000001	<0.000001	<0.000001	-
非イオン界面活性剤	mg/L	<0.004	<0.004	<0.004	-
フェノール類	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	-
有機物(全有機炭素(ＴＯＣ)の量)	mg/L	0.53	0.85	0.70	0.47
pH	値	7.06	6.93	7.25	7.10
味		-	-	-	異常なし
臭気		弱藻臭	弱藻臭	藻臭	異常なし
色度	度	2.5	3.5	3.4	<0.5
濁度	度	0.7	1.3	1.9	<0.1
アンチモン及びその化合物	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	-
ニッケル及びその化合物	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	-
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	<0.0004	<0.0004	-
トルエン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	-
シス-1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0001	<0.0001	<0.0001	-
トランス-1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0001	<0.0001	<0.0001	-
残留塩素	mg/L	-	-	-	0.62
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	-
メチル-t-ブチルエーテル	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	-
腐食性(ランゲリア指数)		-2.62	-2.92	-2.32	-
従属栄養細菌	個/mL	-	-	-	0
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	-
ＰＦＯＳ及びＰＦＯＡ	mg/L	<0.000005	<0.000005	<0.000005	<0.000005
アンモニア態窒素	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	-
塩素要求量	mg/L	-	-	-	-
アルカリ度	mg/L	16.9	8.7	17.6	22.9
総窒素	mg/L	0.51	0.36	0.51	-
総リン	mg/L	0.006	0.005	0.010	-
電気伝導率	μS/cm	71	85	98	93
生物化学的酸素要求量	mg/L	0.8	1.2	1.2	-
ＵＶ－２６０	abs	0.106	0.159	0.141	-
ＵＶ－２６０(0.45μｍろ過)	abs	0.069	0.108	0.091	-
硫酸イオン	mg/L	4.8	14.6	17.1	6.5
カルシウム	mg/L	4.8	5.5	8.7	6.6
マグネシウム	mg/L	1.3	1.5	1.9	1.7
大腸菌群	MPN	560	470	1100	不検出
嫌気性芽胞菌	個/100mL	1	0	0	-
溶性ケイ酸	mg/L	17.8	11.8	18.0	9.8

（浄水）

試験項目＼採水場所		天神系給水栓（祝津地区）	天神系給水栓（蘭島地区）	豊倉系給水栓	豊倉・銭函系給水栓	高区系給水栓	中区系給水栓	低区系給水栓	樽川系給水栓
気温	℃	13.5	12.3	14.0	15.8	15.0	14.0	13.5	11.6
水温	℃	11.0	14.0	13.6	12.8	13.9	10.5	12.5	12.7
一般細菌	個/mL	0	0	0	0	0	0	0	0
大腸菌		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
カドミウム及びその化合物	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
水銀及びその化合物	mg/L	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005
セレン及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
鉛及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ヒ素及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
六価クロム化合物	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
亜硝酸態窒素	mg/L	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
シアン化物イオン及び塩化シアン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/L	0.25	0.24	0.17	0.17	0.24	0.17	0.17	0.26
フッ素及びその化合物	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
ホウ素及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	0.06	0.07	<0.01	0.06	0.06	0.01
四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
ｼｽ-1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ及びﾄﾗﾝｽ-1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ジクロロメタン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001
トリクロロエチレン	mg/L	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001
ベンゼン	mg/L	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001
塩素酸	mg/L	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06
クロロ酢酸	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
クロロホルム	mg/L	0.002	0.003	0.004	0.004	0.003	0.003	0.004	0.002
ジクロロ酢酸	mg/L	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
ジブロモクロロメタン	mg/L	0.001	0.002	0.003	0.003	0.001	0.002	0.003	0.004
臭素酸	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
総トリハロメタン	mg/L	0.005	0.008	0.011	0.011	0.006	0.009	0.011	0.010
トリクロロ酢酸	mg/L	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
ブロモジクロロメタン	mg/L	0.002	0.003	0.004	0.004	0.002	0.004	0.004	0.004
ブロモホルム	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ホルムアルデヒド	mg/L	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008
亜鉛及びその化合物	mg/L	0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
アルミニウム及びその化合物	mg/L	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	<0.01
鉄及びその化合物	mg/L	0.010	0.007	0.013	0.005	0.003	0.023	0.023	<0.003
銅及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
ナトリウム及びその化合物	mg/L	5.5	5.6	6.9	7.0	5.6	7.0	7.0	9.3
マンガン及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
塩化物イオン	mg/L	7.8	8.2	10.8	10.8	8.2	10.9	10.9	10.8
カルシウム、マグネシウム等（硬度）	mg/L	20	21	25	25	21	25	25	25
蒸発残留物	mg/L	56	56	63	59	57	61	59	61
陰イオン界面活性剤	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
ジェオスミン	mg/L	<0.000001	<0.000001	0.000003	0.000003	<0.000001	0.000003	0.000003	<0.000001
2-メチルイソボルネオール	mg/L	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
非イオン界面活性剤	mg/L	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
フェノール類	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
有機物（全有機炭素（ＴＯＣ）の量）	mg/L	<0.30	<0.30	0.49	0.48	<0.30	0.45	0.45	0.52
pH値		7.16	7.25	7.19	7.18	7.22	7.14	7.17	7.31
味		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
臭気		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
色度	度	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
濁度	度	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
アンチモン及びその化合物	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
ニッケル及びその化合物	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	-
トルエン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	-
シス-1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	-
トランス-1,3-ジクロロプロペン	mg/L	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	-
残留塩素	mg/L	0.46	0.38	0.32	0.34	0.44	0.37	0.31	0.51
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	-
メチル-t-ブチルエーテル	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	-
腐食性（ランゲリア指数）		-2.62	-2.42	-2.53	-2.53	-2.46	-2.62	-2.53	-
従属栄養細菌	個/mL	0	0	0	0	0	0	0	0
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	-
ＰＦＯＳ及びＰＦＯＡ	mg/L	<0.000005	<0.000005	<0.000005	<0.000005	<0.000005	<0.000005	<0.000005	<0.00000
アンモニア態窒素	mg/L	-	-	-	-	-	-	-	-
塩素要求量	mg/L	-	-	-	-	-	-	-	-
アルカリ度	mg/L	16.9	17.1	10.3	9.9	16.2	9.5	9.8	23.3
総窒素	mg/L	-	-	-	-	-	-	-	-
総リン	mg/L	-	-	-	-	-	-	-	-
電気伝導率	μS/cm	70	72	93	91	70	91	92	100
生物化学的酸素要求量	mg/L	-	-	-	-	-	-	-	-
ＵＶ－２６０	abs	-	-	-	-	-	-	-	-
ＵＶ－２６０（0.45μｍろ過）	abs	-	-	-	-	-	-	-	-
硫酸イオン	mg/L	5.2	5.2	15.2	15.3	5.8	15.2	15.3	6.5
カルシウム	mg/L	6.2	6.5	7.7	7.7	6.5	7.6	7.7	7.5
マグネシウム	mg/L	1.3	1.3	1.5	1.5	1.3	1.5	1.5	1.6
大腸菌群		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
嫌気性芽胞菌	個/100mL	-	-	-	-	-	-	-	-
溶性ケイ酸	mg/L	-	-	-	-	-	-	-	-

※総ﾄﾘﾊﾛﾒﾀﾝの年平均値はｸﾛﾛﾎﾙﾑ、ｼﾞﾌﾞﾛﾓｸﾛﾛﾒﾀﾝ、ﾌﾞﾛﾓｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ、ﾌﾞﾛﾓﾎﾙﾑの年平均値の和とした。

（イ）令和7年度・年平均値　　（原水）

試験項目 ＼ 採水場所		余市川 天神浄水場 原水	朝里川 豊倉浄水場 原水	銭函川 銭函浄水場 原水	樽川配水池流入 検水栓
気温	℃	12.1	9.9	10.8	9.3
水温	℃	8.3	8.8	9.4	8.8
一般細菌	個/mL	33	37	100	0
大腸菌	MPN	30	4.8	73	不検出
カドミウム及びその化合物	mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	-
水銀及びその化合物	mg/L	<0.00005	<0.00005	<0.00005	-
セレン及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	-
鉛及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	-
ヒ素及びその化合物	mg/L	<0.001	0.007	<0.001	-
六価クロム化合物	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
亜硝酸態窒素	mg/L	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
シアン化物イオン及び塩化シアン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	-
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/L	0.29	0.18	0.20	0.34
フッ素及びその化合物	mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
ホウ素及びその化合物	mg/L	<0.01	0.06	<0.01	0.01
四塩化炭素	mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	-
1,4-ジオキサン	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	-
シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	-
ジクロロメタン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	-
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.0001	<0.0001	<0.0001	-
トリクロロエチレン	mg/L	<0.0001	<0.0001	<0.0001	-
ベンゼン	mg/L	<0.0001	<0.0001	<0.0001	-
塩素酸	mg/L	-	-	-	-
クロロ酢酸	mg/L	-	-	-	-
クロロホルム	mg/L	-	-	-	-
ジクロロ酢酸	mg/L	-	-	-	-
ジブロモクロロメタン	mg/L	-	-	-	-
臭素酸	mg/L	-	-	-	-
総トリハロメタン	mg/L	-	-	-	-
トリクロロ酢酸	mg/L	-	-	-	-
ブロモジクロロメタン	mg/L	-	-	-	-
ブロモホルム	mg/L	-	-	-	-
ホルムアルデヒド	mg/L	-	-	-	-
亜鉛及びその化合物	mg/L	0.01	<0.01	<0.01	<0.01
アルミニウム及びその化合物	mg/L	0.17	0.10	0.08	<0.01
鉄及びその化合物	mg/L	0.077	0.11	0.17	<0.003
銅及びその化合物	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
ナトリウム及びその化合物	mg/L	5.0	6.0	6.8	9.3
マンガン及びその化合物	mg/L	0.005	0.036	0.033	<0.001
塩化物イオン	mg/L	5.4	7.9	7.1	10.9
カルシウム、マグネシウム等（硬度）	mg/L	17	19	29	21
蒸発残留物	mg/L	52	55	72	-
陰イオン界面活性剤	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	-
ジェオスミン	mg/L	<0.000001	0.000003	<0.000001	-
2-メチルイソボルネオール	mg/L	<0.000001	<0.000001	<0.000001	-
非イオン界面活性剤	mg/L	<0.004	<0.004	<0.004	-
フェノール類	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	-
有機物（全有機炭素（ＴＯＣ）の量）	mg/L	0.53	0.85	0.66	0.49
pH	値	7.03	6.90	7.26	7.13
味		-	-	-	異常なし
臭気		藻臭	弱藻臭	藻臭	異常なし
色度	度	2.5	3.7	3.8	<0.5
濁度	度	0.8	2.5	1.3	<0.1
アンチモン及びその化合物	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	-
ニッケル及びその化合物	mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	-
1,2-ジクロロエタン	mg/L	<0.0004	<0.0004	<0.0004	-
トルエン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	-
フタル酸(2-エチルヘキシル)	mg/L	<0.008	<0.008	<0.008	-
ジクロロアセトニトリル	mg/L	-	-	-	<0.001
抱水クロラール	mg/L	-	-	-	<0.002
農薬類		0.00	0.00	0.00	-
残留塩素	mg/L	-	-	-	0.63
遊離炭酸	mg/L	2.9	2.8	2.1	-
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	-
メチル-t-ブチルエーテル	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	-
有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	mg/L	3.16	4.87	4.71	-
臭気強度	(TON)	5	5	5	-
腐食性（ランゲリア指数）		-2.65	-3.16	-2.28	-
従属栄養細菌	個/mL	-	-	-	0
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	-
ＰＦＯＳ及びＰＦＯＡ	mg/L	<0.000005	<0.000005	<0.000005	<0.000005
ペルフルオロヘキサンスルホン酸	mg/L	<0.000005	<0.000005	<0.000005	<0.000005
アンモニア態窒素	mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	-
塩素要求量	mg/L	-	-	-	-
アルカリ度	mg/L	16.7	7.7	16.5	19.2
総窒素	mg/L	0.44	0.37	0.40	-
総リン	mg/L	0.005	0.005	0.007	-
電気伝導率	μS/cm	75	89	95	90
生物化学的酸素要求量	mg/L	1.4	1.1	1.6	-
ＵＶ－２６０	abs	0.107	0.183	0.141	-
ＵＶ－２６０（0.45μｍろ過）	abs	0.071	0.095	0.098	-
硫酸イオン	mg/L	4.7	14.3	17.4	6.3
カルシウム	mg/L	4.8	5.4	8.6	5.9
マグネシウム	mg/L	1.3	1.4	1.9	1.7
大腸菌群	MPN	610	700	1000	不検出
嫌気性芽胞菌	個/100mL	0	0	0	-
溶性ケイ酸	mg/L	18.1	11.7	18.3	9.5

（浄水）

試験項目 ＼ 採水場所	天神系給水栓（祝津地区）	天神系給水栓（蘭島地区）	豊倉系給水栓	豊倉・銭函系給水栓	高区系給水栓	中区系給水栓	低区系給水栓	樽川系給水栓
気温 ℃	14.5	13.0	11.1	11.8	15.5	11.0	10.7	9.0
水温 ℃	11.4	14.4	13.7	12.5	13.5	10.5	13.0	12.5
一般細菌 個/mL	0	0	0	0	0	0	0	0
大腸菌	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
カドミウム及びその化合物 mg/L	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
水銀及びその化合物 mg/L	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005	<0.00005
セレン及びその化合物 mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
鉛及びその化合物 mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ヒ素及びその化合物 mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
六価クロム化合物 mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
亜硝酸態窒素 mg/L	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
シアン化物イオン及び塩化シアン mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素 mg/L	0.27	0.26	0.18	0.18	0.27	0.18	0.18	0.34
フッ素及びその化合物 mg/L	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
ホウ素及びその化合物 mg/L	<0.01	<0.01	0.06	0.06	<0.01	0.06	0.06	0.01
四塩化炭素 mg/L	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,4-ジオキサン mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ジクロロメタン mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
テトラクロロエチレン mg/L	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001
トリクロロエチレン mg/L	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001
ベンゼン mg/L	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001
塩素酸 mg/L	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06
クロロ酢酸 mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
クロロホルム mg/L	0.003	0.005	0.003	0.003	0.003	0.003	0.004	0.003
ジクロロ酢酸 mg/L	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
ジブロモクロロメタン mg/L	0.001	0.001	0.003	0.003	0.001	0.002	0.003	0.003
臭素酸 mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
総トリハロメタン mg/L	0.006	0.009	0.010	0.010	0.006	0.008	0.011	0.010
トリクロロ酢酸 mg/L	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
ブロモジクロロメタン mg/L	0.002	0.003	0.004	0.004	0.002	0.003	0.004	0.004
ブロモホルム mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
ホルムアルデヒド mg/L	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008
亜鉛及びその化合物 mg/L	0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
アルミニウム及びその化合物 mg/L	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	<0.01
鉄及びその化合物 mg/L	0.005	0.015	0.011	0.004	0.003	0.019	0.027	<0.003
銅及びその化合物 mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
ナトリウム及びその化合物 mg/L	5.6	5.6	6.9	6.9	5.6	6.9	6.9	9.5
マンガン及びその化合物 mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
塩化物イオン mg/L	8.0	8.5	11.5	11.6	8.0	11.6	11.6	11.1
カルシウム、マグネシウム等（硬度） mg/L	20	21	25	25	20	25	25	23
蒸発残留物 mg/L	53	52	62	62	55	61	62	57
陰イオン界面活性剤 mg/L	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
ジェオスミン mg/L	0.000001	<0.000001	0.000003	0.000003	<0.000001	0.000004	0.000003	<0.000001
2-メチルイソボルネオール mg/L	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001	<0.000001
非イオン界面活性剤 mg/L	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
フェノール類 mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
有機物（全有機炭素（ＴＯＣ）の量） mg/L	<0.30	<0.30	0.45	0.47	<0.30	0.46	0.47	0.50
pH値	7.18	7.23	7.19	7.20	7.21	7.15	7.17	7.33
味	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
臭気	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
色度 度	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
濁度 度	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
アンチモン及びその化合物 mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	－
ニッケル及びその化合物 mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	－
1,2-ジクロロエタン mg/L	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	－
トルエン mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	－
フタル酸(2-エチルヘキシル) mg/L	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	－
ジクロロアセトニトリル mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
抱水クロラール mg/L	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
農薬類	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	－
残留塩素 mg/L	0.45	0.35	0.33	0.35	0.46	0.36	0.27	0.50
遊離炭酸 mg/L	2.6	2.1	1.7	1.7	1.9	2.0	2.0	－
1,1,1-トリクロロエタン mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	－
メチル-t-ブチルエーテル mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	－
有機物等(過マンガン酸カリウム消費量) mg/L	1.48	1.36	2.73	2.14	1.45	1.83	1.98	－
臭気強度（TON）	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	－
腐食性（ランゲリア指数）	-2.46	-2.37	-2.56	-2.55	-2.39	-2.66	-2.58	－
従属栄養細菌 個/mL	0	0	0	0	0	0	0	0
1,1-ジクロロエチレン mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	－
ＰＦＯＳ及びＰＦＯＡ mg/L	<0.000005	<0.000005	<0.000005	<0.000005	<0.000005	<0.000005	<0.000005	<0.00000
ペルフルオロヘキサンスルホン酸 mg/L	<0.000005	<0.000005	<0.000005	<0.000005	<0.000005	<0.000005	<0.000005	<0.000005
アンモニア態窒素 mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－
塩素要求量 mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－
アルカリ度 mg/L	16.4	16.6	9.1	8.9	16.5	8.6	8.8	21.1
総窒素 mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－
総リン mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－
電気伝導率 μS/cm	70	73	91	92	71	91	91	92
生物化学的酸素要求量 mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－
ＵＶ－２６０ abs	－	－	－	－	－	－	－	－
ＵＶ－２６０（0.45μmろ過） abs	－	－	－	－	－	－	－	－
硫酸イオン mg/L	5.2	5.2	14.8	14.9	5.2	14.8	14.8	6.4
カルシウム mg/L	6.2	6.5	7.9	7.8	6.2	7.7	7.8	6.9
マグネシウム mg/L	1.3	1.3	1.5	1.5	1.3	1.5	1.5	1.6
大腸菌群	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
嫌気性芽胞菌 個/100mL	－	－	－	－	－	－	－	－
溶性ケイ酸 mg/L	－	－	－	－	－	－	－	－

※総ﾄﾘﾊﾛﾒﾀﾝの年平均値はｸﾛﾛﾎﾙﾑ、ｼﾞﾌﾞﾛﾓｸﾛﾛﾒﾀﾝ、ﾌﾞﾛﾓｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ、ﾌﾞﾛﾓﾎﾙﾑの年平均値の和とした。

5 給・配水状況

区分 ＼ 年度					H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
給水普及状況	行政区域内	人口	(人)		132,243	130,653	128,405	126,420	124,122	122,088	120,037	117,924	115,621	113,728	111,634	109,712	107,908	105,661	103,698	101,671
		世帯数	(世帯)		67,435	67,253	66,598	66,095	65,561	65,090	64,653	64,165	63,415	62,991	62,365	61,764	61,250	60,588	60,053	59,467
	計画給水区域内人口	人口	(人)		132,160	130,574	128,312	126,330	124,035	122,000	119,950	117,845	115,540	113,650	111,544	109,626	107,829	105,585	103,622	101,598
	現在給水	人口	(人)		132,079	130,502	128,233	126,255	123,960	121,928	119,884	117,794	115,493	113,616	111,511	109,594	107,798	105,556	103,595	101,576
		世帯数	(世帯)		67,347	67,171	66,511	66,011	65,480	65,012	64,577	64,094	63,347	62,927	62,298	61,699	61,186	60,527	59,992	59,441
	普及率	人口	(人)		99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9
		世帯数	(世帯)		99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	100.0
	メーター設置個数		(個)		62,116	61,607	61,148	60,896	60,627	60,173	59,737	59,428	59,397	59,390	59,166	59,051	59,139	58,880	58,624	58,213
配水状況	年間配水量		(m^3)		17,571,990	17,310,112	17,161,545	16,390,984	15,986,903	15,681,895	15,508,088	15,421,453	15,126,673	14,717,955	14,266,779	14,489,642	14,151,194	14,307,228	14,096,965	14,074,671
	配水量内訳	有効水量	(m^3)		15,399,477	15,212,734	15,109,765	14,434,839	14,064,597	13,830,703	13,721,126	13,667,263	13,396,998	13,211,810	12,716,872	12,561,028	12,409,106	12,357,086	12,294,971	12,286,175
		(有効率%)			(87.6)	(87.9)	(88.0)	(88.1)	(88.0)	(88.2)	(88.5)	(88.6)	(88.6)	(89.8)	(89.1)	(86.7)	(87.7)	(86.4)	(87.2)	(87.3)
		同上内訳 有収水量	(m^3)		13,689,397	13,504,177	13,393,984	12,780,811	12,437,673	12,204,654	12,078,022	12,008,243	11,762,695	11,604,312	11,140,940	10,999,247	10,872,133	10,798,207	10,762,851	10,671,145
		(有収率%)			(77.9)	(78.0)	(78.0)	(78.0)	(77.8)	(77.8)	(77.9)	(77.9)	(77.8)	(78.8)	(78.1)	(75.9)	(76.8)	(75.5)	(76.3)	(75.8)
		用途別有収水量(参考) 生活用	1人1日平均使用水量(l/人㎥日)		195	195	197	190	187	186	187	188	187	188	196	196	193	193	194	195
			一日平均使用水量(㎥/日)		25,800	25,430	25,249	23,963	23,229	22,670	22,428	22,168	21,632	21,412	21,948	21,510	20,774	20,384	20,106	19,770
		業務・営業用	一日平均使用水量(㎥/日)		11,564	11,349	11,307	10,903	10,636	10,518	10,549	10,628	10,496	10,201	8,465	8,528	8,898	9,019	9,271	9,376
		浴場用	一日平均使用水量(㎥/日)		53	44	58	35	53	54	33	31	31	28	24	22	23	23	24	22
		臨時用	一日平均使用水量(㎥/日)		32	22	35	70	58	56	34	29	25	18	47	30	55	42	38	26
		その他	一日平均使用水量(㎥/日)		56	51	46	44	100	48	46	44	43	47	39	45	37	35	49	41
		計	一日平均使用水量(㎥/日)		37,505	36,896	36,695	35,015	34,076	33,346	33,090	32,900	32,227	31,706	30,523	30,135	29,787	29,503	29,488	29,235
		無収水量	(m^3)		1,710,080	1,708,557	1,715,781	1,654,028	1,626,924	1,626,049	1,643,104	1,659,020	1,634,303	1,607,498	1,575,932	1,561,781	1,536,973	1,558,879	1,532,120	1,615,030
		(無収率%)			(9.7)	(9.9)	(10.0)	(10.1)	(10.2)	(10.4)	(10.6)	(10.8)	(10.8)	(10.9)	(11.0)	(10.8)	(10.9)	(10.9)	(10.9)	(11.5)
		一日当たり無収水量	(m^3)		4,685	4,668	4,701	4,532	4,457	4,443	4,502	4,545	4,477	4,392	4,318	4,279	4,211	4,259	4,198	4,425
	無効水量		(m^3)		2,172,513	2,097,378	2,051,780	1,956,145	1,922,306	1,851,192	1,786,962	1,754,190	1,729,675	1,506,145	1,549,907	1,928,614	1,742,088	1,950,142	1,801,994	1,788,496
		(無効率%)			(12.4)	(12.1)	(12.0)	(11.9)	(12.0)	(11.8)	(11.5)	(11.4)	(11.4)	(10.2)	(10.8)	(13.2)	(12.3)	(13.6)	(12.8)	(12.7)
	無効水量内訳	一日当たり無効水量	(m^3)		5,952	5,731	5,621	5,359	5,267	5,058	4,896	4,806	4,739	4,115	4,246	5,284	4,772	5,328	4,937	4,900
		同上内訳 漏水量	(m^3)		1,624,886	1,527,452	1,481,268	1,373,997	1,355,082	1,316,498	1,208,751	1,204,547	1,175,888	925,732	988,547	1,367,961	1,181,417	1,392,137	1,249,313	1,213,294
		(漏水率%)			(9.3)	(8.8)	(8.7)	(8.4)	(8.5)	(8.4)	(7.8)	(7.8)	(7.8)	(6.3)	(6.9)	(9.4)	(8.3)	(9.7)	(8.9)	(8.6)
		その他の水量	(m^3)		547,627	569,926	570,512	582,148	567,224	534,694	578,211	549,643	553,787	580,413	561,360	560,653	560,671	558,005	552,681	575,202
		(その他率%)			(3.1)	(3.3)	(3.3)	(3.5)	(3.5)	(3.4)	(3.7)	(3.6)	(3.6)	(3.9)	(3.9)	(3.8)	(4.0)	(3.9)	(3.9)	(4.1)
	1日最大給水量		(m^3/日)		60,218	57,477	59,242	57,601	56,796	56,247	54,714	53,703	53,869	51,781	49,983	52,575	49,000	50,083	47,939	48,809
	1日平均給水量		(m^3/日)		48,142	47,295	47,017	44,906	43,800	42,847	42,488	42,251	41,443	40,213	39,087	39,698	38,770	39,090	38,622	38,561
	1人1日最大給水量		(ℓ/人/日)		456	440	462	456	458	461	456	456	466	456	448	480	455	474	463	481
	1人1日平均給水量		(ℓ/人/日)		364	362	367	356	353	351	354	359	359	354	351	362	360	370	373	380
	配水管総延長		(m)		540,015	540,417	540,762	541,674	542,749	541,668	541,654	539,317	539,907	541,645	545,649	549,365	550,130	551,686	552,002	549,802

6 給・配水工事状況

(1) 給水装置工事

区分 / 施工件数 / 年度	新設	改造			撤去	修繕		
		一般改造	水洗化に伴うもの	計		一般修繕	凍結	計
	件数	件数	件数		件数	件数	件数	
R元	381	51	196	247	13	567	47	614
R2	242	39	162	201	41	525	130	655
R3	500	51	156	207	13	419	32	451
R4	303	63	147	210	22	621	56	677
R5	321	40	125	165	22	460	5	465
R6	159	47	144	191	17	463	4	467
R7	147	24	129	153	27	404	30	434

(2) 配水管工事

(ア) 配水管修繕

区分 / 施工件数 / 年度	配水管破裂	仕切弁および弁筺	配水管折損	計
	件数	件数	件数	
R元	14	19	−	33
R2	9	18	−	27
R3	20	9	4	33
R4	7	14	−	21
R5	11	24	1	36
R6	5	25	1	31
R7	2	13	−	15

(イ) 消火栓

区分 / 施工件数 / 年度	立替	移設	仕切弁および弁筺	折損	その他	計
	件数	件数	件数	件数	件数	
R元	4	11	3	5	59	82
R2	4	4	3	3	93	107
R3	4	1	3	10	61	79
R4	−	3	18	11	80	112
R5	3	3	7	6	88	107
R6	1	4	13	9	94	121
R7	1	1	7	10	114	133

7 漏水防止対策

(1) 漏水防止対策の変遷

区分／年度	漏水防止対策	実施内容	備考
昭和22	計画的漏水調査に着手	・漏水防止班を編成し、漏水の早期発見・修理に努める。	・夜間制限給水
26	重点的漏水調査と給水装置の改善	・漏水多発地区の重点的調査 ・不凍式給水栓の下部漏水の防止	・昼・夜間制限給水 ・佐野式給水栓を光式給水栓に取替
36	３年で全市を１巡する計画的漏水調査	・調査区域内の配水管延長を2,000～3,000mに仕切り、漏水量の測定を実施	・厚生省より漏水防止の強化について通達
46	配水管整備事業の実施（現在も継続中）	・予防対策の一環として老朽給水管の取替を実施	・創設、一拡時に布設された配水管を対象
51	老朽給水管の取替を実施	・15年以上経過した老朽給水管の布設替一部局負担で実施	・51年９月厚生省より漏水防止の強化と有効率の目標を90%とするように通達
52	漏水調査の委託化	・業者の技術を導入し、漏水防止の効率化を図る	・委託業者２社（現在３社）
53	区画量水器室の設置	・配水区域の小ブロック化を図り、夜間最低流量を測定し、不明漏水の積極的発見に努める。	・通年(冬期間を含む)の漏水調査を目指す
57	漏水測定車の導入	・漏水調査の効率化を図る	
60	流量測定施設の設置と相関式漏水発見器の採用	・多目的仕切弁を設置し、漏水調査作業の軽減と漏水測定車の有効利用を図る ・直営による漏水調査に相関式漏水発見器を採用（リース）し、地下漏水の発見率を高める	・特に冬期間の漏水調査に有効

(2) 漏水防止実施状況

区分＼年度	R3	R4	R5	R6	R7
配水管調査延長	123.9ｋｍ	125.1ｋｍ	115.3ｋｍ	169.6ｋｍ	149.7ｋｍ
漏水発見数	223件	464件	353件	365件	369件
漏水防止水量	4,308㎥/日	6,931㎥/日	8,962㎥/日	9,169㎥/日	6,017㎥/日

8 メーター設置状況

（単位：個）

区分／年度	13 m/m	20 m/m	25 m/m	40 m/m	50 m/m	75 m/m	100 m/m	150 m/m	計
H30	53,106	4,544	977	490	217	46	13	4	59,397
R元	53,104	4,547	966	490	220	46	13	4	59,390
R2	52,914	4,513	971	487	219	45	13	4	59,166
R3	52,809	4,512	969	482	219	44	12	4	59,051
R4	52,903	4,511	968	478	219	44	12	4	59,139
R5	52,697	4,456	966	483	221	41	12	4	58,880
R6	52,437	4,460	963	483	223	42	12	4	58,624
R7	52,117	4,377	956	483	222	42	12	4	58,213

9 料金等業務状況

(1) 料金改定変遷表

分類	種別	区分	昭.24.4.1		昭.26.8.1		昭.27.4.1		昭.28.4.1		昭.29.4.1		昭.31.8.1		昭.36.4.1		昭.37.4.1		昭.39.8.1		昭.43.4.1		昭48.4.10			昭.51.4.1		昭56.6.1		平成4.4.1		平成8.4.1	
			水量	金額	水量	金額	水量	金額	水量	金額	水量	金額	水量	金額	水量	金額	水量	金額	水量	金額	水量	金額	区分		水量	金額	水量	金額	水量	金額	水量	金額	水量	金額
			㎥	円	㎥	円	㎥	円	㎥	円	㎥	円	㎥	円	㎥	円	㎥	円	㎥	円	㎥	円			㎥	円	㎥	円	㎥	円	㎥	円	㎥	円
専用せん	家事用	基本	10	70	10	97	10	97	10	120	10	130	10	145	10	185	10	185	10	260	10	350			10	500	10	850	10	950	10	1,200	10	1,270
		超過	1	8	1	11.5	1	11.5	1	14	1	17	1	21	1	26	1	26	1	37	1	50			1	65	1	125	1	11～ 20＝135 21～ ＝140	1	11～ 20＝174 21～ ＝179	1	11～ 20＝185 21～ ＝190
	業務用	基本	10	70	10	97	10	97	10	120	10	130	10	160	10	210	10	210	10	260	10	360			10	500	10	850	10	口径別 (下の表による)	10	口径別 (下の表による)	10	口径別 (下の表による)
		超過	1	8	1	11.5	1	11.5	1	14	1	17	1	21	1	26	1	26	1	39	1	54	月1,000㎥未満		1	75	1	155	1	11～ 20＝175 21～ 50＝180 51～100＝185 101～ ＝190	1	11～ 20＝238 21～ 50＝243 51～100＝247 101～ ＝250	1	11～ 20＝255 21～ 50＝260 51～100＝265 101～ ＝270
																							月1,000㎥以上		1	65							
	浴場用	基本	50	150	50	200	50	200	50	250	50	300	50	360	100	1,300	100	1,300	100	1,800	100	2,490			10	500	10	850	10	950	10	1,200	10	1,270
		超過	1	5	1	7	1	7	1	9	1	11	1	13	1	16	1	16	1	22	1	30			1	35	1	50	1	55	1	70	1	70
	工事用	基本	50	200	50	280	50	250	50	350	50	420	50	500	100	1,300	100	1,300	1,000	26,000	1,000	36,000												
		超過	1	5	1	7	1	7	1	10	1	12	1	15	1	19	1	19	1	28	1	39												
	臨時用		1	25	1	35	1	35	1	45	1	55	1	69	1	89	1	80	1	80	1	80	消火せん使用による消防演習		1	35	1	300	1	360	1	470	1	510
																							その他の場合		1	120								
共用せん	1世帯5人まで	基本	7	40	7	56	7	56	7	70	7	80	7	85	7	85	7	85	7	120		1世帯	1 世 帯		10	200	—	—						
		超過	1	5	1	7	1	7	1	9	1	11	1	13	1	13	1	13	1	18														
	1世帯6人以上	基本	10	55	10	77	10	77	10	100	10	115	10	120	10	120	10	120	10	170	10	160												
		超過	1	5	1	7	1	7	1	9	1	11	1	13	1	13	1	13	1	18	1	24												
消火せん	演習用	1せん1回10分ごと				42		42		52		65		81		104		104		150		210												
	その他用					63		63		78		98		113		146		146																
メーター使用料	口径13m/m			13		13		23		30		30		30		30		30		30		30							口径	業務用基本 金額	口径	業務用基本 金額	口径	業務用基本 金額
																													m/m	円	m/m	円	m/m	円
	16			13		13		23		40		40		40		40		40		40		50							13	950	13	1,200	13	1,270
	20			20		20		30		40		40		40		40		40		40		70							20	1,300	20	1,700	20	1,850
	25			25		25		35		50		50		50		50		50		50		90							25	1,600	25	2,100	25	2,250
	40			100		100		100		125		125		125		125		125		125		160							40	3,100	40	4,100	40	4,400
	50			125		125		125		155		155		155		155		155		155		350							50	5,700	50	7,600	50	8,100
	75			180		180		180		220		220		220		220		220		220		500							75	10,800	75	14,500	75	15,500
	100			250		250		250		300		300		300		300		300		300		700							100	16,500	100	22,200	100	23,700
	150			500		500		500		600		600		600		600		600		600		1,300							150	35,000	150	47,000	150	50,200
平均改定率																			41.6%		37.1%		38.9%					17.2%		28.0%		6.7%	

(2)　検針業務状況

区分 / 年度	正検		協定				閉栓		合計		
	件数（件）	構成比(%)	障害物等(件)	不在(件)	計（件）	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)	対前年比(%)
H30	280,156	74.7	46,478	2,637	49,115	13.1	45,860	12.2	375,131	100.0	99.9
R元	285,918	76.0	38,911	2,555	41,466	11.0	48,877	13.0	376,261	100.0	100.3
R2	275,072	73.2	47,070	2,277	49,347	13.1	51,359	13.7	375,778	100.0	99.9
R3	269,699	72.0	50,061	1,884	51,945	13.9	52,889	14.1	374,533	100.0	99.7
R4	272,162	72.6	46,784	1,653	48,437	12.9	54,396	14.5	374,995	100.0	100.1
R5	270,538	72.4	46,801	1,644	48,445	13.0	54,781	14.6	373,764	100.0	99.7
R6	265,848	71.4	49,846	1,643	51,489	13.8	55,083	14.8	372,420	100.0	99.6
R7	269,305	72.8	44,847	1,649	46,496	12.6	54,223	14.6	370,024	100.0	99.4

(3)　料金調定状況

年度	区分 / 用途		家事用	業務用	浴場用	臨時用	消火栓等	合計	対前年度伸率(%)
R2	件数	(件)	299,876	27,797	39	296	−	328,008	▲ 1.1
	水量	(㎥)	8,010,890	3,089,632	8,868	17,146	14,404	11,140,940	▲ 4.0
	金額	(円)	1,423,404,745	927,409,755	770,718	9,536,428	−	2,361,121,646	▲ 4.7
	うち消費税	(円)	129,356,312	84,308,379	70,063	866,938		214,601,692	8.7
R3	件数	(件)	297,327	27,323	35	369	−	325,054	▲ 0.9
	水量	(㎥)	7,851,309	3,112,866	8,083	10,988	16,001	10,999,247	▲ 1.3
	金額	(円)	1,398,196,922	935,134,193	713,475	6,162,585	−	2,340,207,175	▲ 0.9
	うち消費税	(円)	127,065,634	85,010,653	64,860	560,235		212,701,382	▲ 0.9
R4	件数	(件)	296,102	27,626	30	401	−	324,159	▲ 0.3
	水量	(㎥)	7,582,658	3,247,605	8,261	20,191	13,418	10,872,133	▲ 1.2
	金額	(円)	1,356,981,160	973,388,337	728,728	11,328,273	−	2,342,426,498	0.1
	うち消費税	(円)	123,319,508	88,488,291	66,248	1,029,843		212,903,890	0.1
R5	件数	(件)	293,997	28,002	30	365	−	322,394	▲ 0.5
	水量	(㎥)	7,460,420	3,300,952	8,602	15,236	12,997	10,798,207	▲ 0.7
	金額	(円)	1,337,181,663	985,523,104	766,853	8,547,957	−	2,332,019,577	▲ 0.4
	うち消費税	(円)	121,520,189	89,591,470	69,713	777,087		211,958,459	▲ 0.4
R6	件数	(件)	291,707	28,637	30	311	−	320,685	▲ 0.5
	水量	(㎥)	7,338,548	3,383,893	8,588	13,831	17,991	10,762,851	▲ 0.3
	金額	(円)	1,320,832,663	1,010,131,059	765,225	7,759,191	−	2,339,488,138	0.3
	うち消費税	(円)	120,034,707	91,828,434	69,565	705,381	−	212,638,087	0.3
R7	件数	(件)	289,312	29,299	30	257	−	318,898	▲ 0.6
	水量	(㎥)	7,216,211	3,422,202	8,009	9,628	15,095	10,671,145	▲ 0.9
	金額	(円)	1,303,772,965	1,019,981,089	710,710	5,401,869	−	2,329,866,633	▲ 0.4
	うち消費税	(円)	118,484,661	92,723,849	64,610	491,079	−	211,764,199	▲ 0.4

(4) 加 入 金

メーターの口径	金　　額
13　m/m	38,000　円
20　m/m	109,000　円
25　m/m	192,000　円
40　m/m	586,000　円
50　m/m	1,090,000　円
75　m/m	3,010,000　円
100　m/m	6,200,000　円
150　m/m	17,000,000　円
250　m/m 以上	管理者が別に定める

(5) 加入金収入状況

区分	口径(m/m)	令和2年度 件数(件)	令和2年度 金額(円)	令和3年度 件数(件)	令和3年度 金額(円)	令和4年度 件数(件)	令和4年度 金額(円)	令和5年度 件数(件)	令和5年度 金額(円)	令和6年度 件数(件)	令和6年度 金額(円)	令和7年度 件数(件)	令和7年度 金額(円)
新設工事口径別内訳	13	210	7,980,000	418	15,884,000	209	7,942,000	241	9,158,000	135	5,130,000	86	3,268,000
	20	2	218,000	8	872,000	10	1,090,000	10	1,090,000	7	763,000	2	218,000
	25	6	1,152,000	4	768,000	3	576,000	1	192,000	2	384,000	1	192,000
	40	2	1,172,000		－	1	586,000	4	2,344,000	2	1,172,000	1	586,000
	50		－		－	1	1,090,000	1	1,090,000	1	1,090,000		－
	75	1	3,010,000		－		－		－		－		－
	100		－		－		－		－		－		－
	150		－		－		－		－		－		－
	計	221	13,532,000	430	17,524,000	224	11,284,000	257	13,874,000	147	8,539,000	90	4,264,000
増口径分		9	1,090,000	21	1,846,000	12	1,947,000	9	727,000	20	2,724,000	7	758,000
消費税			1,462,200		1,937,000		1,323,100		1,460,100		1,126,300		502,200
合　計		230	16,084,200	451	21,307,000	236	14,554,100	266	16,061,100	167	12,389,300	97	5,524,200

10 財 務 状 況

(1) 比較損益計算書

（単位：円）

科目＼年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
営業収益	2,329,760,190	2,354,467,009	2,345,757,087
給水収益	2,120,061,118	2,126,850,051	2,118,102,434
他会計負担金	185,316,372	209,070,358	216,269,203
加入金	14,601,000	11,263,000	5,022,000
その他営業収益	9,781,700	7,283,600	6,363,450
営業費用	2,162,600,028	2,241,703,860	2,314,233,793
原水及び浄水費	487,524,401	525,079,396	541,953,858
配水費	74,441,889	72,334,147	84,117,894
給水費	106,906,102	133,975,239	132,459,802
業務費	232,845,185	245,509,452	249,383,937
総係費	175,808,938	170,106,500	211,370,673
減価償却費	1,082,924,763	1,069,939,118	1,079,157,646
資産減耗費	2,148,750	24,760,008	15,789,983
営業利益（▲は営業損失）	167,160,162	112,763,149	31,523,294
営業外収益	243,349,422	253,205,277	253,533,619
受取利息及び配当金	－	5,216	180,262
他会計補助金	34,544,000	34,119,000	34,470,000
長期前受金戻入	169,821,409	177,266,252	175,201,480
雑収益	38,984,013	41,814,809	43,681,877
営業外費用	161,295,793	135,473,771	149,036,324
支払利息及び企業債取扱諸費	139,188,124	134,745,256	148,425,439
雑支出	22,107,669	728,515	610,885
経常利益（▲は経常損失）	249,213,791	230,494,655	136,020,589
特別利益	672,237	1,701,818	1,084,127
固定資産売却益	－	226,554	241,021
その他特別利益	672,237	1,475,264	843,106
特別損失	433,127	85,372	183,286
過年度損益修正損	433,127	85,372	183,286
当年度純利益（▲は純損失）	249,452,901	232,111,101	136,921,430
前年度繰越利益剰余金（▲は繰越欠損金）	－	－	－
その他未処分利益剰余金変動額	269,544,290	249,452,901	232,111,101
当年度未処分利益剰余金（▲は未処理欠損金）	518,997,191	481,564,002	369,032,531

(2) 比較貸借対照表

（資産の部）　　（単位：円）

科目＼年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
固定資産	28,460,398,934	28,756,160,511	28,848,573,242
有形固定資産	28,456,864,297	28,752,625,874	28,845,038,605
土地	332,557,278	332,548,246	332,799,217
建物	714,822,586	662,445,483	614,143,094
構築物	23,203,934,383	22,857,881,549	22,592,020,235
機械及び装置	2,412,567,109	2,501,158,210	2,399,603,834
車両運搬具	14,547,236	10,618,355	10,442,940
工具、器具及び備品	56,243,151	54,643,513	80,415,244
その他有形固定資産	38,016,563	38,016,563	38,016,563
建設仮勘定	1,684,175,991	2,295,313,955	2,777,597,478
無形固定資産	1,134,637	1,134,637	1,134,637
電話加入権	1,134,637	1,134,637	1,134,637
投資	2,400,000	2,400,000	2,400,000
出資金	2,400,000	2,400,000	2,400,000
流動資産	1,705,478,380	2,270,256,773	2,225,717,508
現金及び預金	1,244,019,574	1,745,657,916	1,158,197,886
未収金	441,150,383	508,033,429	449,860,894
未収金（貸倒引当金除く）	452,184,782	516,798,508	457,277,115
貸倒引当金	▲11,034,399	▲8,765,079	▲7,416,221
貯蔵品	20,308,423	16,565,428	17,658,728
短期貸付金	－	－	600,000,000
資産合計	30,165,877,314	31,026,417,284	31,074,290,750

（負債・資本の部）　　（単位：円）

科目＼年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
固定負債	10,628,373,321	11,051,572,475	11,201,248,237
企業債	10,349,187,540	10,749,684,190	10,830,029,170
引当金	279,185,781	301,888,285	371,219,067
退職給付引当金	279,185,781	301,888,285	371,219,067
流動負債	1,240,864,992	1,608,857,959	1,502,303,713
未払金	136,734,425	530,859,609	371,615,562
預り金	12,598,734	12,660,297	1,694,525
企業債	1,062,240,765	1,032,703,350	1,096,055,020
引当金	29,291,068	32,634,703	32,938,606
賞与引当金	29,291,068	32,634,703	32,938,606
繰延収益	6,088,317,151	5,925,553,899	5,788,884,419
長期前受金	11,392,710,124	11,401,588,496	11,435,956,921
長期前受金収益化累計額	▲5,304,392,973	▲5,476,034,597	▲5,647,072,502
資本金	11,169,123,094	11,438,667,384	11,692,620,285
自己資本金	11,169,123,094	11,438,667,384	11,692,620,285
剰余金	1,039,198,756	1,001,765,567	889,234,096
資本剰余金	520,201,565	520,201,565	520,201,565
受贈財産評価額	77,672,019	77,672,019	77,672,019
国庫補助金	2,423,877	2,423,877	2,423,877
他会計負担金及び補助金	12,210,724	12,210,724	12,210,724
工事負担金	421,693,108	421,693,108	421,693,108
補償金	3,785,037	3,785,037	3,785,037
寄附金	2,416,800	2,416,800	2,416,800
利益剰余金（▲は欠損金）	518,997,191	481,564,002	369,032,531
当年度未処分利益剰余金（▲は未処理欠損金）	518,997,191	481,564,002	369,032,531
負債・資本合計	30,165,877,314	31,026,417,284	31,074,290,750

(3) 経 営 指 標

項　　目	算　　式	令和５年度	令和６年度	令和７年度
固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産＋流動資産＋繰延資産}} \times 100$ (%)	94.3	92.7	92.8
固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債資本合計}} \times 100$ (%)	35.2	35.6	36.0
自己資本構成比率	$\frac{\text{資本金＋剰余金＋評価差額等＋繰延収益}}{\text{負債資本合計}} \times 100$ (%)	60.7	59.2	59.1
固定資産対長期資本比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金＋剰余金＋評価差額等＋固定負債＋繰延収益}} \times 100$ (%)	98.4	97.8	97.6
固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金＋剰余金＋評価差額等＋繰延収益}} \times 100$ (%)	155.5	156.6	157.0
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$ (%)	137.4	141.1	148.2
自己資本回転率	$\frac{\text{営業収益－受託工事収益}}{\text{(期首自己資本＋期末自己資本) /2}}$ (回)	0.1	0.1	0.1
固定資産回転率	$\frac{\text{営業収益－受託工事収益}}{\text{(期首固定資産＋期末固定資産) /2}}$ (回)	0.1	0.1	0.1
流動資産回転率	$\frac{\text{営業収益－受託工事収益}}{\text{(期首流動資産＋期末流動資産) /2}}$ (回)	1.4	1.2	1.0
施設利用率	$\frac{\text{一日平均給水量}(m^3)}{\text{一日給水能力}(m^3)} \times 100$ (%)	60.4	59.6	59.5
負荷率	$\frac{\text{一日平均給水量}(m^3)}{\text{一日最大給水量}(m^3)} \times 100$ (%)	78.1	80.6	79.0
最大稼動率	$\frac{\text{一日最大給水量}(m^3)}{\text{一日給水能力}(m^3)} \times 100$ (%)	77.3	74.0	75.4
有収率	$\frac{\text{有収水量}(m^3)}{\text{給水量}(m^3)} \times 100$ (%)	75.5	76.3	75.8
供給単価	$\frac{\text{給水収益(円)}}{\text{有収水量}(m^3)}$ (円)	196.3	197.6	198.5
給水原価	$\frac{\text{経常費用－（受託工事費＋材料及び不用品売却原価＋付帯事業費）－長期前受金戻入}}{\text{有収水量}(m^3)}$ (%)	199.5	204.4	214.4

※ 自己資本 ＝ 資本金 ＋ 剰余金 ＋ 評価差額等 ＋ 繰延収益

下 水 道 事 業

1　沿　革

年号	年	月	日	内　　容
大正	11	8	1	市制施行
				都市計画臨時調査委員規則制定
				排水溝の整備が行われる
昭和	8			下水道調査に着手
	29			下水道事業計画認可申請
	30	6	21	水道部内に調査室を設置
		9	21	下水道事業認可
	31	4	1	下水道使用料制定
		5	10	建設部に下水道建設事務所を設置
				下水道事業起工式を挙行
		6	1	下水道条例制定
	32	3	25	下水道使用料徴収開始
				下水道事業に地方公営企業法を適用する条例制定
		4	1	建設部下水道建設事務所を水道部に移管
	33	4	24	下水道法が公布され、旧下水道法廃止
	35	3	31	第１回下水道事業計画変更認可
		7	28	下水道課となる（１課３係）
		8	1	船浜下水処理場建設に着手
	39	12	1	船浜下水処理場一部完成に伴い、し尿の処理開始
	42	5	18	第２回下水道事業計画変更認可
	43	7	5	第３回下水道事業計画変更認可
	45	3	30	水洗便所改造資金貸付条例制定
		4	1	下水道使用料改定
		10	1	勝納汚水中継ポンプ場供用開始
				船浜下水終末処理場供用開始
				水洗便所改造工事開始
	46	7	23	下水道事業受益者負担に関する条例制定
	47	7	16	受益者負担金徴収開始
	48	10	1	水道局となる
	49	4	1	下水道建設事業所設置（１所２課６係）
		12	1	入船汚水中継ポンプ場供用開始
	50	8	19	第４回下水道事業計画変更認可
		11		中央下水終末処理場建設に着手
	51	4	1	下水道使用料改定（平均68.0%）
		9	29	第５回下水道事業計画変更認可
	54	11	15	若竹ポンプ所供用開始
	55	3	13	第６回下水道事業計画変更認可
	56	4	1	下水道使用料改定（平均100.2%）
	57	1	28	第７回下水道事業計画変更認可
	58	8	11	第８回下水道事業計画変更認可
	59	4	1	下水道使用料改定（平均115.8%）
				中央下水終末処理場供用開始
			19	下水道事業変更認可（軽微変更）
	59	6	10	勝納ポンプ所供用開始
	61	6	19	第９回下水道事業計画変更認可
		8	1	朝里第１汚水中継ポンプ場供用開始

年号	年	月	日	内　　容
昭和	62	4	1	高島汚水中継ポンプ場供用開始
		8	26	第10回下水道事業計画変更認可
		11	29	銭函下水終末処理場建設に着手
	63	3	2	朝里第２汚水中継ポンプ場供用開始
			17	第11回下水道事業計画変更認可
		8	31	第12回下水道事業計画変更認可
平成	元	4	1	下水道使用料改定（平均28.2%）
				消費税相当額転嫁（３%）
	2	10	1	銭函下水終末処理場供用開始
	3	4	1	下水道使用料消費税凍結
				船浜汚水中継ポンプ場供用開始
		4	8	第13回下水道事業計画変更認可（船浜処理区廃止）
	4	10	1	祝津汚水中継ポンプ場供用開始
		12	25	第14回下水道事業計画変更認可
	5	4	1	下水道建設事業所より下水道事業所に名称変更
		5	15	蘭島下水終末処理場建設に着手
	7	11	1	蘭島下水終末処理場供用開始
			9	第15回下水道事業計画変更認可
	8	4	1	消費税相当額転嫁（３%）
		10	23	第16回下水道事業計画変更認可
	9	4	1	下水道使用料改定（平均11.0%）
				消費税及び地方消費税相当額改定（５%）
	10	8	10	第17回下水道事業計画変更認可
	11	3	29	第18回下水道事業計画変更認可
	12	4	1	張碓第１汚水中継ポンプ場供用開始
				塩谷第３汚水中継ポンプ場供用開始
		9	1	下水道事業変更認可（軽微変更）
	13	3	23	第19回下水道事業計画変更認可
	14	3	20	第20回下水道事業計画変更認可
	15	4	1	塩谷第２汚水中継ポンプ場供用開始
		9	25	第21回下水道事業計画変更認可
	16	4	1	塩谷第１汚水中継ポンプ場供用開始
				張碓第２汚水中継ポンプ場供用開始
		5	11	下水道事業変更認可（軽微変更）
		10	5	第22回下水道事業計画変更認可
	17	3	7	下水道事業変更認可（軽微変更）
			31	機構改革により下水道事業所廃止
		7	21	下水道事業変更認可（軽微変更）
	18	4	27	下水道事業変更認可（軽微変更）
	21	8	25	下水道事業変更認可（軽微変更）
	22	2	28	上下水道ビジョン策定
	23	2	24	第23回下水道事業計画変更認可
		3	23～	東日本大震災（3/11）による下水道施設調査支援派遣
				第１陣（派遣期間：3/23～3/31、派遣先：岩手県久慈市）
				局職員　２名
				第２陣（派遣期間：3/30～4/7、派遣先：宮城県岩沼市）
				局職員　２名

年号	年	月	日	内　　容
平成	24	3	13	第24回下水道事業計画変更認可
	26	4	1	消費税及び地方消費税相当額改定（８％）
		5	15	第25回下水道事業計画変更
	27	4	1	ＭＩＣＳ処理施設供用開始
		11	17	第26回下水道事業計画変更
	30	3	23	災害時における下水道管路施設の復旧支援協力に関する協定締結（北海道ほか）
		10	24	第27回下水道事業計画変更
令和	元	10	1	消費税及び地方消費税相当額改定（10％）
		12	26	第２次小樽市上下水道ビジョン策定
	2	4	16～	北海道が新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の区域に指定
				指定期間：4/16～5/25　（同感染症の影響により有収水量は大きく減少）
	3	3	18	第28回下水道事業計画変更
		11	29	小樽市上下水道ＢＣＰ策定
	7	1	31	小樽市上下水道耐震化計画策定（上下水道）
	8	3	23	第29回下水道事業計画変更認可

2 施設の概要

(1) 下水終末処理場

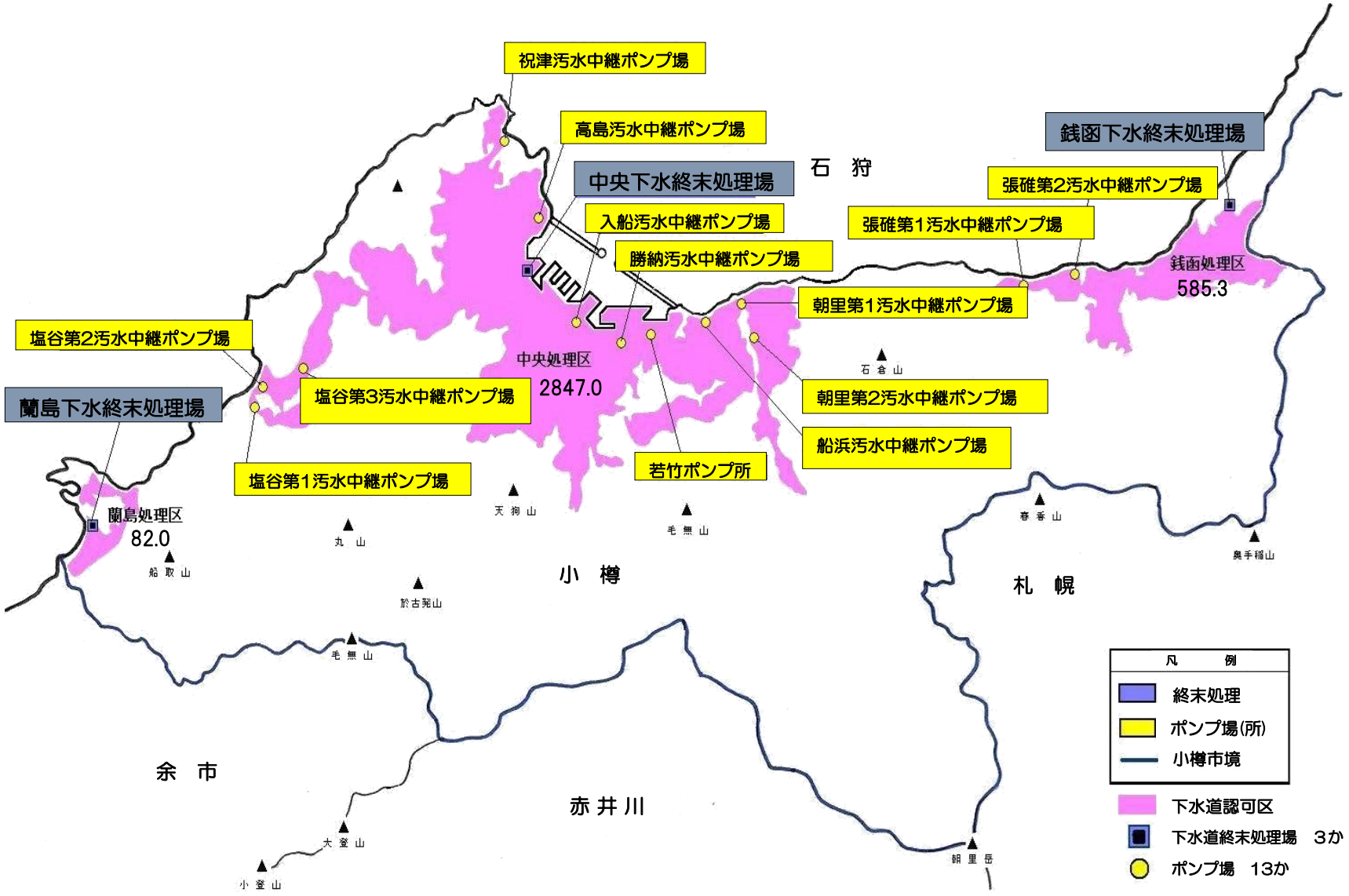
処理場名				中央下水終末処理場	銭函下水終末処理場	蘭島下水終末処理場
所在地				色内3丁目12番3号	銭函3丁目165番地	蘭島1丁目3番1号
敷地面積				64,850 ㎡	33,080 ㎡	7,700 ㎡
排除方式				分流式	分流式	分流式
処理方法				(水)標準活性汚泥法	(水)標準活性汚泥法	(水)オキシデーションディッチ法
				(汚)濃縮・脱水・焼却方式	(汚)濃縮・脱水方式	(汚)濃縮・脱水方式
処理面積			認可	2,847.0 ha	585.4 ha	82.0 ha
			実績	2,197.5 ha	494.1 ha	74.0 ha
処理人口			認可	78,780 人	9,510 人	540 人
			実績	89,324 人	10,844 人	670 人
処理能力			認可	3系 65,000 ㎥	3系 7,600 ㎥	2系 1,000 ㎥
			実績	4系 104,000 ㎥	4系 12,880 ㎥	2系 1,000 ㎥
一日最大汚水量			認可	53,370 ㎥	7,600 ㎥	300 ㎥
			実績	104,000 ㎥	12,880 ㎥	1,000 ㎥
一日平均汚水量			認可	42,340 ㎥	6,560 ㎥	230 ㎥
			実績	45,867 ㎥	6,231 ㎥	360 ㎥
供用開始				昭和59年４月１日	平成２年10月１日	平成７年11月１日
主要施設	管理本館・沈砂池施設	自家発電設備		１ 式	１ 式	１ 式
		沈砂池施設		２系列	１系列	１系列
		主ポンプ施設		４ 基	４ 基	３ 基
	水処理施設	最初沈殿池設備		４系列	４系列	—
		ｴｱﾚｰｼｮﾝﾀﾝｸ設備		４系列	４系列	—
		ｵｷｼﾃﾞｰｼｮﾝﾃﾞｨｯﾁ		—	—	２系列
		最終沈殿池設備		４系列	４系列	２系列
		送風機設備		２系列	３系列	—
	汚泥処理施設	重力濃縮設備		２系列	１系列	１系列
		機械濃縮設備		２系列	１系列	—
		脱水設備		２系列	２系列	１系列
		脱臭設備		１ 式	１ 式	１ 式
		焼却設備		１系列	—	—
	沈砂し渣洗浄施設	沈砂し渣洗浄設備		１ 式	—	—
	放流ポンプ施設	放流ポンプ設備		４ 基	—	３ 基
実績	令和７年度末	行政人口		89,885 人	11,003 人	783 人
	令和７年度末	水洗化人口		87,837 人	10,643 人	596 人
	令和７年度末	人口普及率		99.4 %	98.6 %	85.6 %
	令和７年度末	水洗化率		98.3 %	98.1 %	89.0 %
	令和７年度末	汚水管渠延長		489.4 km	77.6 km	12.6 km
	令和７年度末	雨水管渠延長		39.6 km	7.4 km	0.0 km

(2)　中継ポンプ場

ポンプ場名		中央処理区						
		朝里第１汚水中継ポンプ場	朝里第２汚水中継ポンプ場	船浜汚水中継ポンプ場	勝納汚水中継ポンプ場	入船汚水中継ポンプ場	高島汚水中継ポンプ場	祝津汚水中継ポンプ場
敷地面積		1,070 ㎡	700 ㎡	2,500 ㎡	2,510 ㎡	810 ㎡	1,200 ㎡	70 ㎡
計画処理面積		422.5 ha	138.3 ha	594.2 ha	1,157.8 ha	240.6 ha	196.5 ha	52.3 ha
計画処理人口		12,300人	4,030 人	20,630 人	32,900 人	9,390 人	3,330 人	890 人
計画日最大汚水量		7,470 ㎥	2,450 ㎥	12,380 ㎥	21,660 ㎥	6,040 ㎥	2,990 ㎥	790 ㎥
計画時間最大流入量		8.31 ㎥/分	2.72 ㎥/分	13.61 ㎥/分	25.70 ㎥/分	7.05 ㎥/分	4.25 ㎥/分	1.13 ㎥/分
供用開始		昭和61年8月1日	昭和63年3月2日	平成３年4月1日	昭和45年10月1日	昭和49年12月1日	昭和62年4月1日	平成４年10月1日
主要施設	沈砂池設備	１系列	―	１系列	２系列	１系列	１系列	―
	主ポンプ設備	３　基	３　基	３　基	３　基	２　基	３　基	２　基
	自家発電設備	１　式	１　式	１　式	１　式	―	１　式	１　式
	受変電設備	１　式	１　式	１　式	１　式	１　式	１　式	―

ポンプ場名		中央処理区				銭函処理区		
		塩谷第１汚水中継ポンプ場	塩谷第２汚水中継ポンプ場	塩谷第３汚水中継ポンプ場	若竹ポンプ所	張碓第１汚水中継ポンプ場	張碓第２汚水中継ポンプ場	
敷地面積		400 ㎡	1,440 ㎡	1,100 ㎡	170 ㎡	510 ㎡	800 ㎡	
計画処理面積		48.2 ha	107.7 ha	180.1 ha	89.7 ha	29.4 ha	81.8 ha	
計画処理人口		590 人	1,310 人	2,190 人	2,230 人	270 人	1,070 人	
計画日最大汚水量		430 ㎥	960 ㎥	1,600 ㎥	1,420 ㎥	140 ㎥	770 ㎥	
計画時間最大流入量		0.55 ㎥/分	1.22 ㎥/分	2.03 ㎥/分	1.64 ㎥/分	0.14 ㎥/分	0.99 ㎥/分	
供用開始		平成16年4月1日	平成15年4月1日	平成12年4月1日	昭和54年11月15日	平成12年4月1日	平成16年4月1日	
主要施設	沈砂池設備	―	―	―	―	―	―	
	主ポンプ設備	２　基	２　基	４　基	２　基	２　基	２　基	
	自家発電設備	―	１　式	１　式	１　式	―	１　式	
	受変電設備	―	１　式	１　式	―	―	１　式	

(3) 下水道施設位置図


祝津汚水中継ポンプ場
高島汚水中継ポンプ場
中央下水終末処理場
入船汚水中継ポンプ場
勝納汚水中継ポンプ場
銭函下水終末処理場
張碓第2汚水中継ポンプ場
張碓第1汚水中継ポンプ場
銭函処理区
585.3
朝里第1汚水中継ポンプ場
朝里第2汚水中継ポンプ場
船浜汚水中継ポンプ場
若竹ポンプ所
塩谷第2汚水中継ポンプ場
塩谷第3汚水中継ポンプ場
塩谷第1汚水中継ポンプ場
中央処理区
2847.0
蘭島下水終末処理場
蘭島処理区
82.0
石狩
小樽
札幌
余市
赤井川
石倉山
天狗山
毛無山
丸山
船取山
於古発山
春香山
奥手稲山
大登山
小登山
朝里岳
凡例
終末処理
ポンプ場(所)
小樽市境
下水道認可区
下水道終末処理場 3か
ポンプ場 13か

3 事業の概要

(1) 下水道事業認可の経緯

名　称	申請年月日	認可年月日 ※第25回変更から「策定（変更）年月日」	公書番号	事業施行期間		工事費	認可面積		計画処理人口		計画汚水量（不明水含む） 1人1日原単位					変　更　概　要	備　考
				着手	完成予定	千円	ha	増加数 ha	人	増加数 人	日平均 ℓ	日最大 ℓ	時間最大 ℓ	日最大 ㎥	増加数 ㎥		
当　初	昭和29年12月1日	昭和30年9月21日	厚生省北衛 第530号	S31. 4. 1	S40. 3. 31	1, 104, 063	626. 09		152, 064		240	420	600	63, 867		手宮川(140. 66ha)・色内川(142. 50ha)・於古発(105. 43ha)・入船川(91. 53ha)・勝納川排水区(145. 97ha)。	
第１回変更	昭和35年3月19日	昭和35年3月31日	厚生省北衛 第291号	S31. 4. 1	S52. 3. 31	1, 335, 700	680. 04	53. 95	158, 166	6, 102	200	300	450	47, 450	▲ 16, 417	熊碓川排水区(53. 95ha)追加。処理場を船浜町に変更。	
第２回変更	昭和42年4月10日	昭和42年5月18日	厚生省環 第508号	S31. 4. 1	S52. 3. 31	1, 361, 200	680. 04		158, 166		200	300	450	47, 450		処理場吐口位置の変更。	
第３回変更	昭和43年3月15日	昭和43年7月5日	建設省北都下発 第10号-2	S31. 4. 1	S52. 3. 31	2, 070, 000	680. 04		158, 166		200	300	450	47, 450		雨水幹線の追加。ポンプ場位置の変更。	
第４回変更	昭和50年6月19日	昭和50年8月19日	建設省北都下公発 第18号-2	S31. 4. 1	S60. 3. 31	41, 673, 654	1, 730. 0	1, 049. 96	144, 000	▲ 14, 166	475	575	825	113, 750	66, 300	高島・朝里地区の追加及び、既認可地区の区域拡大、中央下水終末処理場の追加、小樽市終末処理場を船浜下水終末処理場に改名。朝里第１及び高島汚水中継ポンプ場の追加。	
第５回変更	昭和51年9月14日	昭和51年9月29日	建設省北都下公発 第38号	S31. 4. 1	S60. 3. 31	41, 873, 654	1, 730. 0		144, 000		475	575	825	114, 710	960	船浜下水終末処理場の施設の拡大。	
第６回変更	昭和55年2月22日	昭和55年3月13日	建設省北都下公発 第２号	S31. 4. 1	S64. 3. 31	54, 189, 850	1, 930. 0	200. 0	126, 300	▲ 17, 700	475	575	825	92, 760	▲ 21, 950	東南地区の追加。朝里第２汚水中継ポンプ場の追加。	
第７回変更	昭和57年1月19日	昭和57年1月28日	建設省北都下公発 第２号	S31. 4. 1	S64. 3. 31	58, 465, 100	1, 930. 0		126, 300		475	575	825	92, 760		東南地区の道路計画の変更に伴う管渠施設の見直し。	
第８回変更	昭和58年8月4日	昭和58年8月11日	建設省北都下公発 第24号	S31. 4. 1	S64. 3. 31	68, 601, 787	1, 980. 0	50. 0	127, 500	1, 200	475	575	825	70, 520	▲ 22, 240	色内・勝納地区の区域の拡大。	
軽 微 変 更	昭和59年3月7日	昭和59年4月19日		S31. 4. 1	S64. 3. 31	68, 601, 787	1, 980. 0		127, 500		475	575	825	70, 520		中央１の１号幹線のルート及び延長の変更。	
第９回変更	昭和61年3月22日	昭和61年6月19日	建設省北都下公発 第３号	S31. 4. 1	S68. 3. 31	79, 747, 647	2, 270. 0	290. 0	132, 640	5, 140	395	475	675	77, 360	6, 840	銭函処理区の追加。銭函下水終末処理場の追加。	
第10回変更	昭和62年8月24日	昭和62年8月26日	建設省北都下公発 第42号	S31. 4. 1	S70. 3. 31	92, 659, 457	2, 790. 0	520. 0	160, 440	27, 800	395	475	675	92, 050	14, 690	中央処理区の拡大。祝津汚水中継ポンプ場の追加。	
第11回変更	昭和63年3月14日	昭和63年3月17日	建設省北都下公発 第８号	S31. 4. 1	S70. 3. 31	92, 659, 457	2, 790. 0		160, 440		395	475	675	92, 050		手宮仲川雨水渠沈砂池の追加。	
第12回変更	昭和63年6月21日	昭和63年8月31日	建設省北都下公発 第29号	S31. 4. 1	S70. 3. 31	94, 899, 000	2, 872. 0	82. 0	163, 830	3, 390	395	475	675	94, 810	2, 760	銭函処理区の拡大。	
第13回変更	平成3年1月23日	平成3年4月8日	建設省北都下公発 第１号	S31. 4. 1	H11. 3. 31	128, 523, 000	3, 122. 0	250. 0	169, 490	5, 660	395	475	675	91, 830	▲ 2, 980	船浜処理区の廃止。塩谷地区の追加。中央下水終末処理場の施設の拡大。塩谷第１～３汚水中継ポンプ場の追加。	
第14回変更	平成4年11月12日	平成4年12月25日	建設省北都下公発 第48号	S31. 4. 1	H13. 3. 31	83, 308, 701	3, 396. 0	274. 0	166, 830	▲ 2, 660	425	515	735	93, 740	1, 910	蘭島処理区の追加。船浜下水終末処理場の廃止。銭函下水終末処理場の施設の拡大。蘭島下水終末処理場の追加。張碓第１～２汚水中継ポンプ場の追加。	
第15回変更	平成7年11月7日	平成7年11月9日	公下 第77-30号	S31. 4. 1	H13. 3. 31	91, 204, 701	3, 396. 0		166, 830		425	515	735	93, 740		勝納地区の区域の分区。勝納排水区の見直し。	
第16回変更	平成8年10月1日	平成8年10月23日	建設省北都下公発 第32号	S31. 4. 1	H13. 3. 31	91, 342, 701	3, 411. 1	15. 1	167, 570	740	425	515	735	94, 110	370	色内・熊碓・朝里地区の区域の拡大。道路計画変更に伴う中央11の2・中央8の10号幹線、及び真栄１号幹線（雨水渠）のルート変更。	
第17回変更	平成10年3月12日	平成10年8月10日	建設省北都下公発 第９号	S31. 4. 1	H20. 3. 31	97, 200, 100	3, 428. 2	17. 1	168, 320	750	425	515	735	94, 500	390	塩谷地区・銭函地区の区域拡大。	
第18回変更	平成11年3月18日	平成11年3月29日	建設省北都下公発 第10号	S31. 4. 1	H20. 3. 31	95, 316, 100	3, 477. 7	49. 5	152, 640	▲ 15, 680	450	560	790	93, 220	▲ 1, 280	計画人口の見直し。朝里・色内・高島・銭函地区の区域の拡大。	
軽 微 変 更	平成12年9月1日	平成12年9月1日		S31. 4. 1	H20. 3. 31	95, 316, 100	3, 477. 7		152, 640		450	560	790	93, 220		銭函雨水排水区界の見直し。	
第19回変更	平成13年3月15日	平成13年3月23日	公下 第15-85号	S31. 4. 1	H20. 3. 31	95, 316, 100	3, 477. 7		152, 640		450	560	790	93, 220		主要管渠の見直し。	
第20回変更	平成14年3月11日	平成14年3月20日	公下 第15-45号	S31. 4. 1	H20. 3. 31	93, 654, 000	3, 481. 4	3. 7	148, 900	▲ 3, 740	450	560	790	91, 120	▲ 2, 100	塩谷地区・銭函地区の区域の拡大。計画人口の見直し。銭函地区の雨水排水区域の変更。	
第21回変更	平成15年9月18日	平成15年9月25日	公下 第50-22号	S31. 4. 1	H20. 3. 31	93, 654, 000	3, 481. 4		148, 900		450	560	790	91, 120		主要な管渠(塩谷１号幹線)の見直し及びポンプ施設(塩谷第１汚水中継ポンプ場)の流入区域の変更に伴う施設能力(揚水量等)の変更。	
軽 微 変 更	平成16年5月11日	平成16年5月11日		S31. 4. 1	H20. 3. 31	93, 654, 000	3, 481. 4		148, 900		450	560	790	91, 120		塩谷地区の排水ルートの変更。	
第22回変更	平成16年9月29日	平成16年10月5日	公下 第515号	S31. 4. 1	H23. 3. 31	107, 348, 000	3, 509. 1	27. 7	135, 640	▲ 13, 260	425	560	840	80, 680	▲ 10, 440	勝納地区の区域の拡大。計画人口、原単位の見直し。	
軽 微 変 更	平成17年3月7日	平成17年3月7日		S31. 4. 1	H23. 3. 31	107, 348, 000	3, 509. 1		135, 640		425	560	840	80, 680		塩谷１号幹線の管径の変更。	
軽 微 変 更	平成17年7月21日	平成17年7月21日		S31. 4. 1	H23. 3. 31	107, 348, 000	3, 509. 1		135, 640		425	560	840	80, 680		銭函川第５排水区の排水ルート、管径及び吐口の変更。	
軽 微 変 更	平成18年4月27日	平成18年4月27日		S31. 4. 1	H23. 3. 31	107, 348, 000	3, 509. 1		135, 640		425	560	840	80, 680		勝納地区の管種の変更。	
軽 微 変 更	平成21年8月25日	平成21年8月25日		S31. 4. 1	H23. 3. 31	107, 348, 000	3, 509. 1		135, 640		425	560	840	80, 680		銭函地区の局所的な縦断及び管径の変更。種類（管種）の変更。	
第23回変更	平成23年2月18日	平成23年2月24日	都環 第1564号	S31. 4. 1	H28. 3. 31	102, 777, 000	3, 510. 1	1. 0	123, 800	▲ 11, 840	410	550	830	74, 500	▲ 6, 180	銭函地区の区域の拡大。計画人口、原単位の見直し。	
第24回変更	平成24年3月9日	平成24年3月13日	都環 第1581号	S31. 4. 1	H28. 3. 31	103, 292, 000	3, 510. 1		123, 800		410	550	830	74, 500		ＭＩＣＳ事業の位置付け。	
第25回変更		平成26年5月15日		S31. 4. 1	H28. 3. 31	104, 054, 000	3, 510. 1		123, 800		410	550	830	74, 500		中央１の１号幹線のルート、管径及び延長の変更	
第26回変更		平成27年11月17日		S31. 4. 1	H31. 3. 31	105, 802, 000	3, 510. 1		119, 000	▲ 4, 800	410	550	830	71, 760	▲ 2, 740	事業計画目標年次の延伸に伴う計画人口、計画汚水量等の変更、主要な管渠（中央５の１号幹線）の管径の見直し	
第27回変更	平成30年10月19日	平成30年10月24日	都環 第1457号	S31. 4. 1	R3. 3. 31	108, 322, 000	3, 510. 1		114, 890	▲ 4, 110	410	540	840	69, 450	▲ 2, 310	平成27年度下水道法改正に伴う点検調査箇所の追記。事業計画目標年次の延伸と、それに伴う計画人口、計画汚水量の見直し。	
第28回変更	令和3年3月15日	令和3年3月18日	都環 第1731号	S31. 4. 1	R8. 3. 31	115, 879, 413	3, 514. 3	4. 2	99, 460	▲ 15, 430	425	565	845	67, 810	▲ 1, 640	於古発地区の区域の拡大。計画人口及び原単位の見直し	
第29回変更	令和8年3月5日	令和8年3月23日	都環 第1352号	S31. 4. 1	R13. 3. 31	125, 229, 415	3, 514. 4	0. 1	88, 830	▲ 10, 630	425	565	845	61, 270	▲ 6, 540	張碓仲川第１排水区の区域の拡大、計画人口の見直し及び中央下水終末処理場、銭函下水終末処理場の水路数変更	

(2) 認 可 計 画

区　　分	内　　容
(1) 事業施行期間	
着手年月日	令和　8年3月31日
完成予定年月日	令和13年3月31日
(2) 計画処理区域	3,514.4　ha
(3) 計画排水区域	3,514.4　ha
(4) 計画処理人口	88,830　人
(5) 事業費	
(イ) 管渠	50,988　百万円
(ロ) ポンプ場	9,142　百万円
(ハ) 処理場	65,100　百万円
計	125,230　百万円
(6) 終末処理場	
(イ) 中央下水終末処理場	計画汚水量（日最大）　65,000　㎥/日 標準活性汚泥法
(ロ) 銭函下水終末処理場	計画汚水量（日最大）　7,600　㎥/日 標準活性汚泥法
(ハ) 蘭島下水終末処理場	計画汚水量（日最大）　1,000　㎥/日 オキシデーションディッチ法
(7) ポンプ場	
(イ) 朝里第1汚水中継ポンプ場	汚水中継ポンプ場
(ロ) 朝里第2汚水中継ポンプ場	〃
(ハ) 船浜汚水中継ポンプ場	〃
(ニ) 勝納汚水中継ポンプ場	〃
(ホ) 入船汚水中継ポンプ場	〃
(ヘ) 高島汚水中継ポンプ場	〃
(ト) 祝津汚水中継ポンプ場	〃
(チ) 塩谷第1汚水中継ポンプ場	〃
(リ) 塩谷第2汚水中継ポンプ場	〃
(ヌ) 塩谷第3汚水中継ポンプ場	〃
(ル) 張碓第1汚水中継ポンプ場	〃
(ヲ) 張碓第2汚水中継ポンプ場	〃
(ワ) 若竹ポンプ所	〃
(8) 管渠	
(イ) 汚水管	584,232　m
(ロ) 雨水管	47,584　m
計	631,816　m

(3) 事　業　費

(ア) 計画別事業費

○事業費内訳（計画期間:平成26年度～平成30年度・５か年）　（単位：百万円）

年　度	事　業　費	管渠汚水	管渠雨水	ポンプ場	処　理　場
H26 ～ 30	(3,849.3)	(1,381.3)	(117.2)	(223.8)	(2,127.0)
	4,451.1	1,632.8	117.7	302.4	2,398.2

○事業費内訳（計画期間:令和元年度～令和５年度・５か年）　（単位：百万円）

年　度	事　業　費	管渠汚水	管渠雨水	ポンプ場	処　理　場
R 元 ～ 5	(4,801.6)	(910.6)	(35.0)	(592.6)	(3,263.4)
	5,898.1	1,293.5	41.2	601.4	3,962.0

○事業費内訳（計画期間:令和６年度～令和１０年度・５か年）　（単位：百万円）

年　度	事　業　費	管渠汚水	管渠雨水	ポンプ場	処　理　場
R6 ～ 10	(1,584.2)	(249.4)	(58.3)	(51.2)	(1,225.3)
	3,512.1	489.9	73.5	139.1	2,809.6

注：(内数) 補助事業　純単事業除く

(イ) 処理区別事業費

（単位：百万円）

処理区	年度	全　体	管渠・ポンプ場					処理場
			計	管渠			ポンプ場	
				計	汚水	雨水		
中央	H26	1,316.0	540.8	389.3	375.3	14.0	151.5	775.2
	H27	583.5	408.4	397.6	374.5	23.1	10.8	175.1
	H28	741.1	399.7	395.3	333.2	62.1	4.4	341.4
	H29	683.2	275.9	240.6	222.1	18.5	35.3	407.3
	H30	706.2	328.9	258.3	258.3	0.0	70.6	377.3
	R元	754.3	185.7	60.3	60.3	0.0	125.4	568.6
	R2	1,560.0	592.0	543.2	543.2	0.0	48.8	968.0
	R3	871.8	202.8	179.0	179.0	0.0	23.8	669.0
	R4	1,385.1	312.1	258.9	252.7	6.2	53.2	1,073.0
	R5	937.4	617.9	286.3	251.3	35.0	331.6	319.5
	R6	1,596.4	401.9	353.9	292.7	61.2	48.0	1,194.5
	R7	1,519.7	288.9	209.5	197.2	12.3	79.4	1,230.8
銭函	H26	84.2	9.2	9.2	9.2	0.0	0.0	75.0
	H27	175.5	13.8	13.8	13.8	0.0	0.0	161.7
	H28	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	H29	16.8	11.5	11.5	11.5	0.0	0.0	5.3
	H30	29.8	29.8	0.0	0.0	0.0	29.8	0.0
	R元	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0
	R2	15.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.9
	R3	173.3	13.6	0.0	0.0	0.0	13.6	159.7
	R4	31.5	5.0	0.0	0.0	0.0	5.0	26.5
	R5	152.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	152.9
	R6	209.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	209.0
	R7	164.0	11.7	0.0	0.0	0.0	11.7	152.3
蘭島	H26	7.6	5.3	5.3	5.3	0.0	0.0	2.3
	H27	62.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	62.4
	H28	17.0	17.0	17.0	17.0	0.0	0.0	0.0
	H29	27.8	12.6	12.6	12.6	0.0	0.0	15.2
	H30	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R元	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R4	9.9	7.0	7.0	7.0	0.0	0.0	2.9
	R5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	R7	23.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.0
3処理区総括	H26	1,407.8	555.3	403.8	389.8	14.0	151.5	852.5
	H27	821.4	422.2	411.4	388.3	23.1	10.8	399.2
	H28	758.1	416.7	412.3	350.2	62.1	4.4	341.4
	H29	727.8	300.0	264.7	246.2	18.5	35.3	427.8
	H30	736.0	358.7	258.3	258.3	0.0	100.4	377.3
	R元	760.3	185.7	60.3	60.3	0.0	125.4	574.6
	R2	1,575.9	592.0	543.2	543.2	0.0	48.8	983.9
	R3	1,045.1	216.4	179.0	179.0	0.0	37.4	828.7
	R4	1,426.5	324.1	265.9	259.7	6.2	58.2	1,102.4
	R5	1,090.3	617.9	286.3	251.3	35.0	331.6	472.4
	R6	1,805.4	401.9	353.9	292.7	61.2	48.0	1,403.5
	R7	1,706.7	300.6	209.5	197.2	12.3	91.1	1,406.1

(4) 普 及 状 況

区分 / 年度	計画区域面積 ha	処理可能区域面積 ha	計画に対する割合 %	処理可能区域人口 人	管渠整備延長	m	整備延長累計 m	計画に対する割合 %	計画管渠延長 m
R元	3,510.10	2,752.30	78.4	112,666	汚水管	433	581,639	100	584,232
					雨水管	0	47,014	99	47,584
					計	433	628,653	99	631,816
R2	3,514.30	2,752.57	78.3	110,721	汚水管	1,056	579,633	99	584,232
					雨水管	0	47,043	99	47,584
					計	1,056	626,676	99	631,816
R3	3,514.30	2,756.91	78.4	108,760	汚水管	53	579,628	99	584,232
					雨水管	0	47,043	99	47,584
					計	53	626,671	99	631,816
R4	3,514.30	2,761.61	78.6	106,961	汚水管	220	579,756	99	584,232
					雨水管	0	47,043	99	47,584
					計	220	626,799	99	631,816
R5	3,514.30	2,762.80	78.6	104,764	汚水管	141	579,826	99	584,232
					雨水管	0	47,043	99	47,584
					計	141	626,869	99	631,816
R6	3,514.30	2,765.68	78.7	102,847	汚水管	628	579,815	99	584,232
					雨水管	0	47,043	99	47,584
					計	628	626,858	99	631,816
R7	3,514.40	2,766.37	78.7	100,838	汚水管	38	579,603	99	584,232
					雨水管	0	47,043	99	47,584
					計	38	626,646	99	631,816

(5)　整　備　状　況

(ア) 管　　渠

区分／年度	処理可能面積	整備延長		整備地区名
		汚水管渠	雨水管渠	
	ha	m	m	
H26～R7	20.75	2,671	116	【汚水】 手宮・高島・於古発・入船・朝里・勝納・色内・塩谷 銭函・張碓・蘭島　各地区 【雨水】 熊碓地区

(イ) 処　　理　　場

年度	工事概要	
H26	中央下水終末処理場	
	本館沈砂池棟・放流ﾎﾟﾝﾌﾟ棟	ポンプ設備　機械設備工事
	本館沈砂池棟・放流ﾎﾟﾝﾌﾟ棟	負荷・監視制御設備　電気設備工事
	本館沈砂池棟	空調・換気設備　建築機械設備工事
	本館沈砂池棟ほか３棟	実施設計委託
	銭函下水終末処理場	
	本館沈砂池棟・水処理棟・汚泥処理棟	監視制御設備　電気設備工事
	汚泥処理棟	計測設備　電気設備工事
	本館沈砂池棟	実施設計委託
	蘭島下水終末処理場	
	本館沈砂池棟・水処理棟	実施設計委託
	中央下水終末処理場外	長寿命化計画策定業務委託
	下水終末処理場	汚泥処理施設共同整備　機械・電気・土木工事
H27	中央下水終末処理場	
	水処理施設	沈殿池設備　機械設備工事
	本館沈砂池棟ほか３棟	実施設計委託
	銭函下水終末処理場	
	本館沈砂池棟・水処理棟	沈砂池・沈殿池設備　機械設備工事
	本館沈砂池棟	負荷・監視制御設備　電気設備工事
	蘭島下水終末処理場	
	本館沈砂池棟・水処理棟	沈砂池・反応ﾀﾝｸ設備　機械設備工事
	中央下水終末処理場外	
	事業計画変更設計委託	
H28	中央下水終末処理場	
	本館棟・水処理施設・放流棟・汚泥棟	監視制御設備　電気設備工事
	本館沈砂池棟	沈砂池設備　機械設備工事
	本館沈砂池棟	負荷・監視制御設備　電気設備工事
	本館沈砂池棟・汚泥処理棟	防水・金属物　建築工事
	水処理施設	沈殿池・反応タンク設備　機械設備工事
H29	中央下水終末処理場	
	本館棟・水処理施設・放流棟・汚泥棟	監視制御設備　電気設備工事
	本館沈砂池棟	汚水ポンプ設備　機械・電気設備工事
	汚泥処理棟	躯体・防水・金属物　建築工事
	水処理施設	沈殿池・反応タンク設備　機械設備工事
	本館沈砂池棟・水処理施設	電気設備　電気設備工事
	本館沈砂池棟	ボイラー・空調設備　建築機械設備
	汚泥処理棟	焼却設備　機械設備工事
	場内施設	付帯設備　土木工事
	銭函下水終末処理場	
	本館沈砂池棟	汚水ポンプ設備　機械設備工事
	蘭島下水終末処理場	
	管理本館棟	実施設計（耐震診断）
	中央下水終末処理場外	
	ｽﾄｯｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ計画策定業務委託	

年　度	工　事　概　要		
H30	中央下水終末処理場		
	本館沈砂池棟・放流ポンプ棟	負荷・監視制御設備	電気設備工事
	本館沈砂池棟	ゲート設備	機械設備工事
	水処理施設	ゲート設備・ポンプ類	機械設備工事
	水処理施設	反応タンク設備	機械設備工事
	水処理施設	実施設計（耐震診断）	
	放流ポンプ棟	放流ポンプ設備	機械設備工事
	場内施設（護岸）	地質調査・実施設計委託	
	中央下水終末処理場外		
	事業計画変更設計委託		
	ｽﾄｯｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ計画策定業務委託		
R元	中央下水終末処理場		
	水処理施設	最初沈殿池設備	機械設備工事
	水処理施設	換気設備	建築機械設備
	水処理施設	実施設計（耐震診断）	
	放流ポンプ棟	放流ポンプ設備	機械設備工事
	放流ポンプ棟	監視制御設備	電気設備工事
	汚泥処理棟・放流ポンプ棟	躯体・防水・金属物	建築工事
	本館沈砂池棟・汚泥処理棟	照明設備・火災報知設備	建築電気設備工事
	場内施設（護岸）	土木工事	
	銭函下水終末処理場		
	水処理施設	計測設備	電気設備工事
	中央下水終末処理場外		
	ｽﾄｯｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ計画策定業務委託		
R2	中央下水終末処理場		
	水処理施設	最初沈殿池設備	機械設備工事
	水処理施設	最終沈殿池設備	機械設備工事
	本館沈砂池棟	ゲート設備	機械設備工事
	本館沈砂池棟	消火災害防止設備	建築電気設備工事
	本館沈砂池棟	汚水ポンプ設備	機械設備工事
	本館沈砂池棟ほか２棟	実施設計委託	
	場内施設（護岸）	土木工事	
	銭函下水終末処理場		
	本館沈砂池棟ほか１棟	実施設計委託	
	中央下水終末処理場外		
	局本庁舎電気設備工事	受変電設備・照明設備	電気設備工事
	事業計画 変更設計委託		
	事業計画 基本計画変更業務委託		
R3	中央下水終末処理場		
	場内施設（護岸）	土木工事	
	本館沈砂池棟	制御用電源設備	電気設備工事
	汚泥処理棟	実施設計委託	
	銭函下水終末処理場		
	水処理棟・汚泥沈砂池棟	消火災害防止設備	建築電気設備工事
	水処理施設	計測設備	電気設備工事
	本館沈砂池棟ほか２棟	監視制御設備	電気設備工事
	本館沈砂池棟ほか２棟	実施設計委託	
	水処理施設	実施設計（耐震診断）	
	中央下水終末処理場外		
	耐水化計画策定業務委託		
R4	中央下水終末処理場		
	場内施設（護岸）	土木工事	
	本館沈砂池棟	建築電気設備工事	電気設備工事
		機械設備工事	建築工事
	放流棟	建築電気設備工事	電気設備工事
	水処理棟	実施設計委託	
	銭函下水終末処理場		
	水処理棟	実施設計委託	
	蘭島下水終末処理場		
		電気設備工事	

年　度	工　事　概　要
R5	中央下水終末処理場
	場内施設（護岸）　土木工事
	汚泥処理棟　重力濃縮設備　機械設備工事
	放流ポンプ棟　実施設計委託
	水処理施設　実施設計（耐震診断）
	銭函下水終末処理場
	本館沈砂池棟　電気設備　電気設備工事
	水処理施設　実施設計委託
	中央下水終末処理場外
	ｽﾄｯｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ計画策定業務委託
R6	中央下水終末処理場
	場内施設（護岸）　土木工事
	場内施設　土木工事
	水処理施設　機械設備工事　電気設備工事
	汚泥処理棟　防食工事
	銭函下水終末処理場
	汚泥処理棟・水処理棟　機械設備工事
R7	中央下水終末処理場
	水処理施設　機械設備工事　電気設備工事
	汚泥処理棟　機械設備工事
	本館沈砂池棟・汚泥処理棟　実施設計委託
	場内施設（護岸）　土木工事
	蘭島下水終末処理場
	場内施設　場内整備工事

（ウ）ポンプ場

年　度	概　要
H26	高島汚水中継ポンプ場 機械・電気設備工事 入船汚水中継ポンプ場 実施設計委託 船浜汚水中継ポンプ場 機械設備・電気設備・建築・土木工事
H27	高島汚水中継ポンプ場 機械設備工事 朝里第１汚水中継ポンプ場 実施設計委託 朝里第２汚水中継ポンプ場 実施設計委託 船浜汚水中継ポンプ場 実施設計委託
H28	塩谷第３汚水中継ポンプ場 電気設備工事 勝納汚水中継ポンプ場 実施設計委託
H29	高島汚水中継ポンプ場 電気設備工事 朝里第１汚水中継ポンプ場 建築工事
H30	朝里第１汚水中継ポンプ場 電気設備工事 塩谷第３汚水中継ポンプ場 機械設備工事 高島汚水中継ポンプ場 機械設備工事 張碓第２汚水中継ポンプ場 機械設備工事
R元	塩谷第３汚水中継ポンプ場 機械設備工事 朝里第２汚水中継ポンプ場 電気設備工事 船浜汚水中継ポンプ場 電気設備工事 勝納汚水中継ポンプ場 実施設計委託

年　　度	概　　要
R2	朝里第２汚水中継ポンプ場 電 気 設 備 工 事 船 浜 汚 水 中 継 ポ ン プ 場 実 施 設 計 委 託
R3	高島汚水中継ポンプ場 電 気 設 備 工 事 高島汚水中継ポンプ場 実 施 設 計 委 託 張碓第１汚水中継ポンプ場 機 械 設 備 工 事 勝納汚水中継ポンプ場 実 施 設 計 委 託
R4	朝里第１汚水中継ポンプ場 電 気 設 備 工 事　　実 施 設 計 委 託 塩谷第２汚水中継ポンプ場 電 気 設 備 工 事 勝納汚水中継ポンプ場 電 気 設 備 工 事　　実 施 設 計 委 託 高島汚水中継ポンプ場 実 施 設 計 委 託
R5	船浜汚水中継ポンプ場 電 気 設 備 工 事 勝納汚水中継ポンプ場 機 械 電 気 設 備 工 事 朝里第２汚水中継ポンプ場 実 施 設 計 委 託 塩谷第３汚水中継ポンプ場 実 施 設 計 委 託
R6	塩谷第２汚水中継ポンプ場 耐 水 化 計 画 策 定 高島汚水中継ポンプ場 耐　震　補　強 各ポンプ場 電 気 設 備 工 事
R7	勝納汚水中継ポンプ場 電 気 設 備 工 事 船浜汚水中継ポンプ場 電 気 設 備 工 事 入船汚水中継ポンプ場 機 械 設 備 工 事 朝里第１汚水中継ポンプ場 場 内 整 備 工 事

4　処 理 状 況

（1）処　理　量

（単位：㎥）

	施　設　名	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
処理水量	中央処理場	16,033,850	17,359,390	16,282,040	16,243,400	16,741,300
	銭函処理場	2,172,582	2,323,966	2,095,753	2,178,967	2,274,195
	蘭島処理場	113,534	116,413	107,032	113,956	131,452
有収水量	中央処理場	9,535,869	9,409,028	9,433,437	9,371,132	9,303,496
	銭函処理場	1,655,368	1,618,466	1,645,322	1,652,486	1,683,465
	蘭島処理場	57,084	54,250	53,963	52,928	50,890
発生汚泥量	中央処理場	744,720	695,479	728,951	648,142	656,731
	銭函処理場	43,866	69,407	55,942	56,108	55,206
	蘭島処理場	2,227	1,935	1,820	1,706	1,377
搬出量（ｔ）	焼却灰	489.26	461.46	468.84	452.40	497.18
	洗浄沈砂	202.74	119.55	109.65	87.92	66.73

（2）水質試験実施状況

(ア) 平 常 試 験

中央下水終末処理場　　（単位：件）

種　　別		令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
生　　下　　水		365	366	365	365
最初沈殿流出水	各系合流	365	366	365	365
最終沈殿流出水	各系合流	365	366	365	365
放　　流　　水		365	366	365	730
活　性　汚　泥	１系	365	366	365	365
	２系	365	366	365	359
	３系	365	355	365	365
	４系	365	366	365	360

銭函下水終末処理場　　（単位：件）

種　　別		令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
生　　下　　水		365	366	365	365
最初沈殿流出水	各系合流	365	366	365	365
最終沈殿流出水	各系合流	365	366	365	365
放　　流　　水		365	366	365	365
活　性　汚　泥	１系	365	366	365	730
	２系	365	366	339	0
	３系	365	366	365	730
	４系	0	0	26	730

蘭島下水終末処理場　　（単位：件）

種　　別		令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
生　　下　　水		296	304	298	275
最終沈殿流出水	各系合流	296	304	298	275
放　　流　　水		296	304	298	275
活　性　汚　泥	１系	296	304	298	275
	２系	0	0	0	0

（イ）　定期（精密）試験

中央下水終末処理場　　（単位：件）

種別		令和５年度	令和６年度	令和７年度
生下水		52	51	51
最初沈殿池流出水	各系合流	52	51	51
最終沈殿池流出水	１系	52	51	24
	２系	52	51	23
	３系	50	51	24
	４系	52	51	23
	各系合流	52	51	24
放流水		52	51	51
活性汚泥	１系	52	51	51
	２系	52	51	50
	３系	50	51	51
	４系	52	51	50
生汚泥	１系	50	51	51
	２系	50	51	51
	３系	49	51	51
	４系	50	51	50
濃縮汚泥		40	42	42
混合汚泥		40	42	42
脱水汚泥		40	42	42

銭函下水終末処理場　　（単位：件）

種別		令和５年度	令和６年度	令和７年度
生下水		52	51	51
最初沈殿池流出水	各系合流	52	51	51
最終沈殿池流出水	各系合流	52	51	51
放流水		52	51	51
活性汚泥	１系	52	51	51
	２系	52	47	0
	３系	52	51	45
	４系	0	4	51
生汚泥		51	51	52
濃縮汚泥		51	51	52
脱水汚泥		51	51	52

蘭島下水終末処理場　　（単位：件）

種別		令和５年度	令和６年度	令和７年度
生下水		52	51	51
分配槽流出水		52	51	51
最終沈殿池流出水	各系合流	52	51	51
放流水		52	51	51
活性汚泥	１系	52	51	51
	２系	0	0	0

（ウ）その他の試験・調査事項

令和2年度	（1）24時間水質調査 中央下水終末処理場 58 件 銭函下水終末処理場 30 件 蘭島下水終末処理場 12 件 （2）放流水の有害項目検査 中央下水終末処理場 2 件 銭函下水終末処理場 2 件 蘭島下水終末処理場 2 件 （3）中央下水終末処理場放流水の港内影響調査 12 件 （4）銭函下水終末処理場放流水の河川影響調査 4 件 （5）蘭島下水終末処理場放流水の河川影響調査 4 件 （6）中央下水終末処理場ばいじん溶出試験 1 件 （7）中央下水終末処理場脱水汚泥溶出試験 1 件 （8）銭函下水終末処理場脱水汚泥溶出試験 1 件 （9）中央下水終末処理場洗浄沈砂溶出試験 1 件
令和3年度	（1）24時間水質調査 中央下水終末処理場 58 件 銭函下水終末処理場 30 件 蘭島下水終末処理場 12 件 （2）放流水の有害項目検査 中央下水終末処理場 2 件 銭函下水終末処理場 2 件 蘭島下水終末処理場 2 件 （3）中央下水終末処理場放流水の港内影響調査 12 件 （4）銭函下水終末処理場放流水の河川影響調査 4 件 （5）蘭島下水終末処理場放流水の河川影響調査 4 件 （6）中央下水終末処理場ばいじん溶出試験 1 件 （7）中央下水終末処理場脱水汚泥溶出試験 1 件 （8）銭函下水終末処理場脱水汚泥溶出試験 1 件 （9）中央下水終末処理場洗浄沈砂溶出試験 1 件
令和4年度	（1）24時間水質調査 中央下水終末処理場 58 件 銭函下水終末処理場 30 件 蘭島下水終末処理場 12 件 （2）放流水の有害項目検査 中央下水終末処理場 2 件 銭函下水終末処理場 2 件 蘭島下水終末処理場 2 件 （3）中央下水終末処理場放流水の港内影響調査 12 件 （4）銭函下水終末処理場放流水の河川影響調査 4 件 （5）蘭島下水終末処理場放流水の河川影響調査 4 件 （6）中央下水終末処理場ばいじん溶出試験 1 件 （7）中央下水終末処理場脱水汚泥溶出試験 1 件 （8）銭函下水終末処理場脱水汚泥溶出試験 1 件 （9）中央下水終末処理場洗浄沈砂溶出試験 1 件

令和5年度	（1）24時間水質調査 中央下水終末処理場 58 件 銭函下水終末処理場 30 件 蘭島下水終末処理場 12 件 （2）放流水の有害項目検査 中央下水終末処理場 2 件 銭函下水終末処理場 2 件 蘭島下水終末処理場 2 件 （3）中央下水終末処理場放流水の港内影響調査 12 件 （4）銭函下水終末処理場放流水の河川影響調査 4 件 （5）蘭島下水終末処理場放流水の河川影響調査 4 件 （6）中央下水終末処理場ばいじん溶出試験 1 件 （7）中央下水終末処理場脱水汚泥溶出試験 1 件 （8）銭函下水終末処理場脱水汚泥溶出試験 1 件 （9）中央下水終末処理場洗浄沈砂溶出試験 1 件 (10) 中央下水終末処理場燃え殻溶出試験 1 件
令和6年度	（1）24時間水質調査 中央下水終末処理場 58 件 銭函下水終末処理場 30 件 蘭島下水終末処理場 12 件 （2）放流水の有害項目検査 中央下水終末処理場 2 件 銭函下水終末処理場 2 件 蘭島下水終末処理場 2 件 （3）中央下水終末処理場放流水の港内影響調査 12 件 （4）銭函下水終末処理場放流水の河川影響調査 4 件 （5）蘭島下水終末処理場放流水の河川影響調査 4 件 （6）中央下水終末処理場ばいじん溶出試験 1 件 （7）中央下水終末処理場脱水汚泥溶出試験 1 件 （8）銭函下水終末処理場脱水汚泥溶出試験 1 件 （9）中央下水終末処理場洗浄沈砂溶出試験 1 件 (10) 中央下水終末処理場燃え殻溶出試験 1 件
令和7年度	（1）24時間水質調査 中央下水終末処理場 58 件 銭函下水終末処理場 30 件 蘭島下水終末処理場 12 件 （2）放流水の有害項目検査 中央下水終末処理場 2 件 銭函下水終末処理場 2 件 蘭島下水終末処理場 2 件 （3）中央下水終末処理場放流水の港内影響調査 12 件 （4）銭函下水終末処理場放流水の河川影響調査 4 件 （5）蘭島下水終末処理場放流水の河川影響調査 4 件 （6）中央下水終末処理場ばいじん溶出試験 1 件 （7）中央下水終末処理場脱水汚泥溶出試験 1 件 （8）銭函下水終末処理場脱水汚泥溶出試験 1 件 （9）中央下水終末処理場洗浄沈砂溶出試験 1 件 (10) 中央下水終末処理場燃え殻溶出試験 1 件

（エ）中央・銭函・藺島下水終末処理場の定期水質試験結果（年平均）

試験項目	生下水						放流水							
年度	令和６年度			令和７年度			令和６年度			令和７年度			水質基準（許容限度）	上乗基準（許容限度）中央処理場
処理場名	中央	銭函	藺島	中央	銭函	藺島	中央	銭函	藺島	中央	銭函	藺島		
気温 ℃	11.6	13.4	12.5	9.8	12.1	11.4	11.6	13.4	12.5	11.6	13.5	12.2		
水温 ℃	15.7	17.1	13.5	15.5	17.5	13.3	16.5	17.9	13.9	17.1	18.7	13.7		
透視度 度	5.0	4.9	6.3	4.7	4.6	6.2	50	47	49	>50	38	47		
水素イオン濃度	7.2	6.8	7.2	7.2	6.9	7.1	6.9	6.9	6.9	6.9	6.9	6.9	5.8以上8.6以下	
大腸菌数 CFU/mL				31,000	27,000	52,000				0	2	17	800	
大腸菌群数 個/cm^3	55,000	71,000	63,000				0	0	0				3000	
浮遊物質量 mg/L	150	120	99	130	130	88	2	6	3	2	8	3	40	
生物化学的酸素要求量 mg/L	140	330	120	120	290	110	2.7	3.5	1.1	2.5	4.8	1.7	15	
化学的酸素要求量 mg/L	99	230	96	88	210	86	11	15	8.2	9.9	16	7.6		60
カドミウム及びその化合物 mg/L							<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.03	0.01
シアン化合物 mg/L							<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1	検出されないこと
有機燐化合物 mg/L							<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1	検出されないこと
鉛及びその化合物 mg/L							0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.1	
六価クロム化合物 mg/L							<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.5	0.05
砒素及びその化合物 mg/L							0.003	0.001	0.001	0.003	0.001	0.001	0.1	0.05
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物 mg/L							<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005	0.0005
アルキル水銀化合物 mg/L							不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと	
ポリ塩化ビフェニル mg/L							<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.003	
トリクロロエチレン mg/L							<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.1	
テトラクロロエチレン mg/L							<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.1	
ジクロロメタン mg/L							<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.2	
四塩化炭素 mg/L							<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.02	
１，２－ジクロロエタン mg/L							<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.04	
１，１－ジクロロエチレン mg/L							<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	1	
シス－１，２－ジクロロエチレン mg/L							<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.4	
１，１，１－トリクロロエタン mg/L							<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	3	
１，１，２－トリクロロエタン mg/L							<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.06	
１，３－ジクロロプロペン mg/L							<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.02	
チウラム mg/L							<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.06	
シマジン mg/L							<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.03	
チオベンカルブ mg/L							<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.2	
ベンゼン mg/L							<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.1	
セレン及びその化合物 mg/L							<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.1	
ほう素及びその化合物 mg/L							0.1	0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	※1	
ふっ素及びその化合物 mg/L							<0.08	0.09	<0.08	<0.08	<0.08	<0.08	※2	
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 mg/L							8.7	4.5	4.8	8.3	4.7	2.6	※3	
１，４－ジオキサン mg/L							<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.5	
ノルマルヘキサン抽出物質含有量（鉱油類含有量及び動植物油脂類含有量） mg/L							0.6	<0.5	<0.5	1.4	1.4	0.8	※4	
フェノール類含有量 mg/L							<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	5	
銅含有量 mg/L							<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	3	
亜鉛含有量 mg/L							0.03	0.05	0.05	0.02	0.03	0.04	2	
溶解性鉄含有量 mg/L							0.05	0.07	<0.05	0.06	0.12	0.12	10	
溶解性マンガン含有量 mg/L							0.05	<0.05	<0.05	0.05	<0.05	0.06	10	
クロム含有量 mg/L							<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	2	
ダイオキシン類 pg-TEQ/L							0.000081			0.000093			10	

備考

・水素イオン濃度、大腸菌数、大腸菌群数、浮遊物質、生物化学的酸素要求量、化学的酸素要求量、ノルマルヘキサン抽出物質含有量の数値については水処理センターの分析による。その他の数値については濃度計量証明事業所の分析による。

・水質基準：下水道法施行令第６条　　・上乗基準：北海道の条例。中央処理場のみ適用される。

※１　中央：230mg/L、銭函及び藺島：10mg/L　　※２　中央：15mg/L、銭函及び藺島：８mg/L

※３　１Lにつきアンモニア性窒素に0.4を乗じたもの、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素の合計量100mg

※４　鉱油類含有量：５mg/L、動植物油脂類含有量：30mg/L

5 特定事業場と水質指導

(1) 下水道法に基づく届出状況

年度 / 届出内容	令和５年度	令和６年度	令和７年度
特定施設設置届（件数）	2	3	1
その他除害施設設置届（件数）	5	3	3
特定事業場数	162	162	160
その他事業場（除害施設）数	235	238	240

(2) 監視状況

(ｱ) 監視・指導

年度	特定事業場数	その他事業場数	計
R5	222	87	309
R6	157	43	200
R7	137	70	207

(ｲ) 水質立入り検査

年度	処理区	水質検査事業場数	基準超過事業場数
R5	中央	19	1
	銭函	22	2
R6	中央	16	1
	銭函	21	1
R7	中央	11	5
	銭函	21	6

6 排水設備工事状況

区分 / 年度	新設工事				改造工事			
	排水	水洗･排水	水洗	計	排水	水洗･排水	水洗	計
	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数
R元	2	425	－	427	1	153	－	154
R2	－	274	－	274	－	135	－	135
R3	8	516	－	524	6	142	－	148
R4	7	320	1	328	7	130	2	139
R5	9	338	2	349	4	113	1	118
R6	4	158	2	164	－	109	2	111
R7	3	143	－	146	－	110	－	110

7 管渠（きょ）維持状況

区分 / 年度	清掃				補修			
	本管(m)	枝管(m)	マンホール及び公共桝(か所)	その他(か所)	本管(m)	枝管(m)	マンホール及び公共桝(か所)	その他(か所)
R元	3,251	109	38	－	13	13	115	212
R2	4,329	97	47	－	79	10	156	189
R3	3,670	168	192	－	9	11	90	224
R4	5,544	228	251	－	14	5	102	575
R5	4,012	149	215	－	3	14	185	300
R6	4,673	117	221	－	45	3	242	322
R7	2,966	133	203	－	66	6	227	269

8 建設改良工事状況

区分／年度	事業費	工事の概要					
H27	事業費 878,389 千円 財源内訳 国庫補助金 362,798 千円 企業債 447,800 千円 その他の資金 67,791 千円	処理場施設	◎中央下水終末処理場 水処理施設				機械設備（沈殿池設備）
			◎銭函下水終末処理場 本館沈砂池棟・水処理棟				機械設備（沈砂池・沈殿池設備）
			本館沈砂池棟				電気設備（負荷・監視制御設備）
			◎蘭島下水終末処理場 本館沈砂池棟・水処理棟				機械設備（沈砂池・反応ﾀﾝｸ設備）
		ポンプ場施設	◎高島汚水中継ポンプ場				機械設備（ポンプ設備）
		管渠施設	汚水管渠				
			色内地区	φ	600	m/m	L＝ 221.6 m
			於古発地区	φ	200～300	m/m	L＝ 420.7 m
							（内 管更生269.8m）
			勝納地区	φ	250	m/m	L＝ 696.1 m
							（内 管更生680.3m）
			塩谷地区	φ	150～200	m/m	L＝ 139.6 m
			※撤去管				L＝ -199.6 m
			計				L＝ 328.3 m
			雨水管渠				
			熊碓地区（熊碓第２排水区）	φ	1,200	m/m	L＝ 43.2 m
			計				L＝ 43.2 m
H28	事業費 797,081 千円 財源内訳 国庫補助金 312,826 千円 企業債 440,300 千円 その他の資金 43,955 千円	処理場施設	◎中央下水終末処理場 本館棟・水処理施設・放流棟・汚泥棟				電気設備（中央監視制御設備）
			本館沈砂池棟				機械設備（沈砂池設備）
			本館沈砂池棟				電気設備（負荷・監視制御設備）
			本館沈砂池棟・汚泥処理棟				建築工事
			水処理施設				機械設備（沈殿池・反応タンク設備）
		ポンプ場施設	◎塩谷第３汚水中継ポンプ				電気設備（計装設備）
		管渠施設	汚水管渠				
			色内地区	φ	350	m/m	L＝ 142.9 m
							（内 管更生141.2m）
			於古発地区	φ	150～350	m/m	L＝ 245.3 m
							（内 管更生155.2m）
			入船地区	φ	250～450	m/m	L＝ 667.7 m
							（内 管更生667.7m）
			勝納地区	φ	600	m/m	L＝ 632.7 m
			朝里地区	φ	200	m/m	L＝ 69.6 m
			蘭島地区	φ	100～200	m/m	L＝ 10.6 m
			※撤去管				L＝ -90.1 m
			計				L＝ 714.6 m
			雨水管渠				
			熊碓地区（熊碓第２排水区）	φ	1,200	m/m	L＝ 29.1 m
			計				L＝ 29.1 m

区分／年度	事業費	工事の概要					
H29	事業費 833,363 千円 財源内訳 国庫補助金 294,938 千円 企業債 406,500 千円 その他の資金 131,925 千円	処理場施設	◎中央下水終末処理場				
			本館棟・水処理施設・放流棟・汚泥棟	電気設備（中央監視制御設備）			
			本館沈砂池棟	機械・電気設備（汚水ポンプ設備）			
			本館沈砂池棟	建築機械設備（ボイラー・空調設備）			
			本館沈砂池棟・水処理施設	建築電気設備（電気設備）			
			水処理施設	機械設備（沈殿池・反応タンク設備）			
			汚泥処理棟	建築工事（躯体・防水・金属物）			
			汚泥処理棟	機械設備（焼却設備）			
			場内施設	土木工事（埋設管（返流水管））			
			◎銭函下水終末処理場				
			本館沈砂池棟	機械設備（汚水ポンプ設備）			
		ポンプ場施設	◎高島汚水中継ポンプ場	電気設備（受変電設備）			
			◎朝里第１汚水中継ポンプ	建築工事			
		管渠施設	汚水管渠				
			勝納地区	φ 600 m/m	L＝	558.6 m	
			於古発地区	φ 150～250 m/m	L＝	66.9 m	
			張碓地区	φ 200 m/m	L＝	135.4 m	
			蘭島地区	φ 100～150 m/m	L＝	120.1 m	
			※撤去管		L＝	-205.0 m	
			計		L＝	676.0 m	
			雨水管渠				
			熊碓地区（熊碓第３排水区）	φ 1,200 m/m	L＝	43.7 m	
			計		L＝	43.7 m	
H30	事業費 780,216 千円 財源内訳 国庫補助金 297,404 千円 企業債 402,900 千円 その他の資金 79,912 千円	処理場施設	◎中央下水終末処理場				
			本館沈砂池棟・放流ポンプ棟	電気設備（負荷・監視制御設備）			
			本館沈砂池棟	機械設備（ゲート設備）			
			水処理施設	機械設備（ゲート設備・ポンプ類）			
			水処理施設	機械設備（反応タンク設備）			
			放流ポンプ棟	機械設備（放流ポンプ設備）			
		ポンプ場施設	◎朝里第１汚水中継ポンプ	電気設備（受変電設備）			
			◎塩谷第３汚水中継ポンプ	機械設備（沈砂池設備）			
			◎高島汚水中継ポンプ場	機械設備（汚水ポンプ設備）			
			◎張碓第２汚水中継ポンプ	機械設備（沈砂池・汚水ポンプ設備）			
		管渠施設	汚水管渠				
			勝納地区	φ 600 m/m	L＝	528.7 m	
			朝里地区	φ 300 m/m	L＝	51.1 m	
			手宮地区	φ 200 m/m	L＝	16.5 m	
			※撤去管		L＝	0.0 m	
			計		L＝	596.3 m	
R元	事業費 852,992 千円 財源内訳 国庫補助金 291,359 千円 企業債 434,300 千円 その他の資金 127,333 千円	処理場施設	◎中央下水終末処理場				
			水処理施設	機械設備（最初沈殿池設備）			
			水処理施設	建築機械設（換気設備）			
			放流ポンプ棟	機械設備（放流ポンプ設備）			
			放流ポンプ棟	電気設備（監視制御設備）			
			汚泥処理棟・放流ポンプ棟	建築工事（躯体・防水・金属物）			
			本館沈砂池棟・汚泥処理棟	建築電気設（照明設備・火災報知設備）			
			場内施設（護岸）	土木工事			
			◎銭函下水終末処理場				
			水処理施設	電気設備（計測設備）			
		ポンプ場施設	◎塩谷第３汚水中継ポンプ	機械設備（汚水ポンプ設備）			
			◎朝里第２汚水中継ポンプ	電気設備（負荷・監視制御設備）			
			◎船浜汚水中継ポンプ場	電気設備（負荷・監視制御設備）			

区分／年度	事業費	工事の概要					
R2	事業費 1,597,349 千円 財源内訳 国庫補助金 511,725 千円 企業債 874,700 千円 その他の資金 210,924 千円	処理場施設	◎中央下水終末処理場				
			水処理施設	機械設備	（最初沈殿池設備）		
			水処理施設	機械設備	（最終沈殿池設備）		
			本館沈砂池棟	機械設備	（ゲート設備）		
			本館沈砂池棟	建築電気設	（消火災害防止設備）		
			本館沈砂池棟	機械設備	（汚水ポンプ設備）		
			場内施設（護岸）	土木工事			
		ポンプ場施設	◎朝里第２汚水中継ポンプ	電気設備	（受変電設備）		
		管渠施設	汚水管渠				
			勝納地区	φ 200～700	m/m	L＝ 876.0 m	（内 管更生536.2m）
			入船地区	φ 250	m/m	L＝ 32.5 m	（内 管更生32.5m）
			手宮地区	φ 200	m/m	L＝ 269.9 m	
			於古発地区	φ 200	m/m	L＝ 112.8 m	
			塩谷地区	φ 200	m/m	L＝ 60.5 m	
			色内地区	φ 150	m/m	L＝ 17.9 m	
			※撤去管			L＝-3,776.5 m	
			計			L＝-2,975.6 m	
R3	事業費 1,087,133 千円 財源内訳 国庫補助金 382,065 千円 企業債 523,500 千円 その他の資金 181,568 千円	処理場施設	◎中央下水終末処理場				
			場内施設（護岸）	土木工事			
			本館沈砂池棟	電気設備	（制御用電源設備）		
			◎銭函下水終末処理場				
			水処理棟・汚泥沈砂池棟	建築電気設	（消火災害防止設備）		
			水処理施設	電気設備	（計測設備）		
			本館沈砂池棟・水処理施設 汚泥陳達棟	電気設備	（監視制御設備）		
		ポンプ場施設	◎高島汚水中継ポンプ場	電気設備	（計測設備）		
			◎張碓第１汚水中継ポンプ	機械設備	（汚水ポンプ設備）		
		管渠施設	汚水管渠				
			勝納地区	φ 250～300	m/m	L＝ 174.2 m	（内 管更生174.2m）
			於古発地区	φ 200～250	m/m	L＝ 176.1 m	（内 管更生149.9m）
			入船地区	φ 250	m/m	L＝ 68.4 m	（内 管更生68.4m）
			朝里地区	φ 150～200	m/m	L＝ 26.6 m	
			※撤去管			L＝ -54.7 m	
			計			L＝ -1.9 m	

区分／年度	事業費	工事の概要					
R4	事業費 1,463,192 千円 財源内訳 国庫補助金 470,609 千円 企業債 722,500 千円 その他の資金 270,083 千円	処理場施設	◎中央下水終末処理場				
			場内施設（護岸）	土木工事			
			本館沈砂池棟	電気設備	（計測設備）		
			本館沈砂池棟	建築電気設	（火災報知設備）		
			本館沈砂池棟	機械設備	（ゲート設備）		
			本館沈砂池棟	建築工事	（外壁）		
			放流棟	電気設備	（計測設備）		
			放流棟	建築電気設	（火災報知設備）		
			◎蘭島下水終末処理場	電気設備工	（計測設備）		
		ポンプ場施設	◎勝納汚水中継ポンプ場	電気設備工	（計測設備）		
			◎高島汚水中継ポンプ場	電気設備	（計測設備）		
			◎朝里第１汚水中継ポンプ場	電気設備	（計測設備）		
			◎塩谷第２汚水中継ポンプ場	電気設備	（計測設備）		
		管渠施設	汚水管渠				
			勝納地区	φ 250	m/m	L＝ 77.3 m （内 管更生77.3m）	
			於古発地区	φ 200～250	m/m	L＝ 372.6 m （内 管更生152.2m）	
			入船地区	φ 250	m/m	L＝ 773.6 m （内 管更生773.6m）	
			※撤去管			L＝ -91.9 m	
			計			L＝ 128.5 m	
R5	事業費 1,148,791 千円 財源内訳 国庫補助金 479,407 千円 企業債 576,800 千円 その他の資金 92,584 千円	処理場施設	◎中央下水終末処理場				
			場内施設（護岸）	土木工事			
			汚泥処理棟	機械設備	（重力濃縮設備）		
			◎銭函下水終末処理場				
			本館沈砂池棟	電気設備	（受変電設備）		
		ポンプ場施設	◎船浜汚水中継ポンプ場	電気設備	（受変電設備）		
			◎勝納汚水中継ポンプ場	機械設備	（汚水ポンプ設備）		
		管渠施設	汚水管渠				
			勝納地区	φ 400	m/m	L＝ 8.7 m	
			於古発地区	φ 250～350	m/m	L＝ 1,012.0 m （内 管更生1,005.56m）	
			色内地区	φ 200	m/m	L＝ 74.1 m	
			入船地区	φ 250	m/m	L＝ 217.2 m （内 管更生217.2m）	
			朝里地区	φ 200	m/m	L＝ 43.8 m	
			銭函地区	φ 250	m/m	L＝ 8.0 m	
			※撤去管			L＝ -71.5 m	
			計			L＝ 69.5 m	

区分／年度	事業費	工事の概要				
R6	事業費 1,849,695 千円 財源内訳 国庫補助金 601,611 千円 企業債 972,900 千円 その他の資金 275,184 千円	処理場施設	◎中央下水終末処理場 場内施設（護岸） 水処理施設 水処理施設		土木工事 機械設備（脱臭設備） 電気設備（負荷・監視制御設備）	
		ポンプ場施設	◎塩谷第２汚水中継ポンプ ◎高島汚水中継ポンプ場 ◎各ポンプ場		耐水化計画 耐震補強 電気設備工	
		管渠施設	汚水管渠			
			於古発地区	φ 150～250 m/m	L＝ 926.9 m （内 管更生648.7m）	
			手宮地区	φ 200 m/m	L＝ 27.1 m	
			入船地区	φ 150～250 m/m	L＝ 100.5 m （内 管更生43.14m）	
			朝里地区	φ 200 m/m	L＝ 265.3 m	
			銭函地区	φ 250 m/m	L＝ 95.9 m （内 管更生95.93m）	
			※撤去管		L＝ -638.2 m	
			計		L＝ -10.3 m	
R7	事業費 2,027,958 千円 財源内訳 国庫補助金 761,526 千円 企業債 992,200 千円 その他の資金 274,232 千円	処理場施設	◎中央下水終末処理場 水処理施設 水処理施設 水処理施設 汚泥処理棟 場内施設（護岸）		機械設備工（脱臭設備） 機械設備工（土壌脱臭装置） 電気設備工（負荷・監視制御設備） 機械設備工事 土木工事	
		ポンプ場施設	◎勝納汚水中継ポンプ場 ◎船浜汚水中継ポンプ場 ◎入船汚水中継ポンプ場		電気設備工（受変電設備） 電気設備工（計測設備） 機械設備工（ゲート設備）	
		管渠施設	汚水管渠			
			於古発地区	φ 200～450 m/m	L＝ 107.4 m （内 管更生45.6m）	
			手宮地区	φ 450 m/m	L＝ 57.3 m （内 管更生57.3m）	
			入船地区	φ 300 m/m	L＝ 30.5 m （内 管更生30.5m）	
			朝里地区	φ 150 m/m	L＝ 13.0 m	
			※撤去管		L＝ -286.3 m	
			計		L＝ -211.5 m	

9 水洗化普及状況

区分／年度	行政区域内人口（人）A	処理（可能）人口（人）B	普及率（%）B／A	水洗化人口（人）C	水洗化率（%）C／B	水洗設置戸数（戸）	水洗設置戸数累計（戸）D	貸付戸数（戸）	貸付戸数累計（戸）E	貸付金額（千円）	貸付率（%）E／D
H29	117,924	116,693	99.0	113,357	97.1	204 ▲ 284	58,863	3	23,644	1,500	40.2
H30	115,621	114,487	99.0	111,421	97.3	148 ▲ 33	58,978	1	23,645	470	40.1
R元	113,728	112,666	99.1	109,713	97.4	267 ▲ 295	58,950	1	23,646	500	40.1
R2	111,634	110,721	99.2	108,316	97.8	124 ▲ 180	58,894	2	23,648	1,000	40.2
R3	109,712	108,760	99.1	106,451	97.9	74 ▲ 29	58,939	1	23,649	500	40.1
R4	107,908	106,961	99.1	104,853	98.0	345 ▲ 144	59,140	0	23,649	0	40.0
R5	105,661	104,764	99.2	102,730	98.1	131 ▲ 233	59,038	1	23,650	500	40.1
R6	103,698	102,847	99.2	100,980	98.2	103 ▲ 283	58,858	3	23,653	1,500	40.2
R7	101,671	100,838	99.2	99,076	98.3	119 ▲ 421	58,556	5	23,658	2,370	40.4

※ 設置戸数は、上段：新設及び改造工事により設置した戸数、下段：家屋新設・解体及びメーター再取付・取外しによる増減戸数です。

10 使用料等業務状況

(1) 使用料改定変遷表

種別	区分	昭31. 4. 1		昭45. 4. 1		昭51. 4. 1		昭56. 4. 1		昭59. 4. 1		平元. 4. 1		平 9. 4. 1	
		水量	金額	水量	金額	水量	金額	水量	金額	水量	金額	水量	金額	水量	金額
		㎥	円	㎥	円	㎥	円	㎥	円	㎥	円	㎥	円	㎥	円
家事用（その他）	基本	10	30	10	30	10	260	10	410	10	880	10	1,100	10	1,220
	超過	1	3	1	3	1	26	(11から20まで)	43	同左	92	同左	115	同左	128
		—	—	—	—	1,000㎥をこえる1㎥につき	24	(20を超える)	45	同左	96	同左	120	同左	134
業務用	基本	—	—	—	—	—	—	10	490	10	1,060	10	1,450	10	1,620
	超過	—	—	—	—	—	—	(11から20まで)	51	同左	111	同左	152	同左	169
		—	—	—	—	—	—	(21から50まで)	54	同左	117	同左	160	同左	178
		—	—	—	—	—	—	(51から100まで)	58	同左	126	同左	173	同左	193
		—	—	—	—	—	—	(100を超える)	63	同左	137	同左	187	同左	208
公衆浴場用	基本	100	250	100	250	100	250	100	300	100	300	100	400	10	1,220
	超過	1	2円50銭	1	2円50銭	1	2円50銭	(100を超える)	3	同左	3	同左	4	10をこえる	4
水洗式便所	大便器			1個	200	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	小便器			1個	50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	大小両用便器			1個	250	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
平均改定率						68.0%		100.2%		115.8%		28.2%		11.0%	

(2) 使用料調定状況

(単位：円)

	家事用		業務用		浴場用		合計		対前年度伸率(%)
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
R3	287,055	1,162,008,254	24,328	780,538,796	35	541,662	311,418	1,943,088,712	▲ 0.60
消費税	287,055	105,579,233	24,328	70,953,535	35	49,242	311,418	176,582,010	—
R4	286,450	1,134,330,679	24,648	801,201,328	30	500,280	311,128	1,936,032,287	▲ 0.36
消費税	286,450	103,065,161	24,648	72,831,923	30	45,480	311,128	175,942,564	—
R5	284,834	1,120,409,822	25,135	838,405,754	30	500,280	309,999	1,959,315,856	1.20
消費税	284,834	101,800,415	25,135	76,213,790	30	45,480	309,999	178,059,685	—
R6	283,135	1,109,192,684	25,777	851,342,757	30	500,280	308,942	1,961,035,721	0.09
消費税	283,135	100,781,823	25,777	77,390,043	30	45,450	308,942	178,217,316	—
R7	281,244	1,097,255,443	26,460	869,231,686	30	500,280	307,734	1,966,987,409	0.30
消費税	281,244	99,697,227	26,460	79,016,099	30	45,480	307,734	178,758,806	—

(3) 受益者負担金賦課状況

区分／年度	総地積(㎡)	賦課地積(㎡)	受益者(人)	賦課額(円)
R3	280.66	280.66	1	23,575
R4	7,800.86	7,758.41	6	510,704
R5	2,972.65	2,972.65	3	404,101
R6	55,938.63	12,930.93	3	316,147
R7	8,221.91	7,975.01	4	474,899

(4) 貸付制度

種別／項目	水洗トイレの改造 (排水の接続を同時に行う場合を含む) (1戸につきトイレ1基分)	排水の接続 (1戸につき)
貸付金	50万円以内	15万円以内
	貸付額は改造工事完了後の精算額により決定	
返済回数	50か月以内	15か月以内
返済方法	毎月1万円（端数は1か月目で調整します）	
利息	処理区域告示後3年以内の工事着手は無利子、3年経過後の工事着手は有利子	

11 財 務 状 況

(1) 比較損益計算書

(単位：円)

科目＼年度区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
営業収益	1,861,495,308	1,883,659,377	1,866,343,652
下水道使用料	1,781,256,171	1,782,818,375	1,788,228,603
他会計負担金	80,239,137	78,121,002	78,115,049
受託工事収益	－	22,720,000	－
営業費用	3,239,035,244	3,463,370,318	3,488,050,467
維持管理費	1,344,271,674	1,522,712,987	1,554,076,007
受託工事費	－	22,720,000	－
減価償却費	1,874,019,757	1,890,625,902	1,910,465,605
資産減耗費	20,743,813	27,311,429	23,508,855
営業利益（▲は営業損失）	▲1,377,539,936	▲1,579,710,941	▲1,621,706,815
営業外収益	1,518,452,081	1,470,752,649	1,464,485,310
受取利息及び配当金	1,608,028	907,495	337,500
他会計補助金	590,339,814	541,342,229	528,927,641
国庫補助金	－	－	4,500,000
長期前受金戻入	884,729,053	889,227,526	898,776,722
雑収益	41,775,186	39,275,399	31,943,447
営業外費用	126,160,774	147,172,451	170,508,717
支払利息及び企業債取扱諸費	82,144,451	73,729,526	83,867,012
雑支出	44,016,323	73,442,925	86,641,705
経常利益（▲は経常損失）	14,751,371	▲256,130,743	▲327,730,222
特別利益	1,043,363	－	－
その他特別利益	1,043,363	－	－
特別損失	258,025	61,061	45,072
過年度損益修正損	258,025	61,061	45,072
当年度純利益（▲は純損失）	15,536,709	▲256,191,804	▲327,775,294
前年度繰越利益剰余金（▲は繰越欠損金）	－	－	▲240,655,095
その他未処分利益剰余金変動額	48,203,916	15,536,709	－
当年度未処分利益剰余金（▲は未処理欠損金）	63,740,625	▲240,655,095	▲568,430,389

(2) 比較貸借対照表

(資産の部)

(単位：円)

科目＼年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
固定資産	41,802,909,610	41,401,930,728	41,220,087,899
有形固定資産	41,451,643,235	41,233,541,345	41,164,582,988
土地	3,282,853,805	3,282,853,805	3,282,853,805
建物	5,153,531,263	4,937,015,603	4,673,870,899
構築物	26,164,399,862	26,136,664,721	25,471,275,197
機械及び装置	5,976,806,376	5,933,708,070	6,124,792,283
車両運搬具	1,273,249	756,537	649,237
工具、器具及び備品	105,047,504	74,631,506	59,609,962
その他有形固定資産	1,072,648	1,072,648	1,072,648
建設仮勘定	766,658,528	866,838,455	1,550,458,957
無形固定資産	5,472,357	5,472,357	5,472,357
電話加入権	5,472,357	5,472,357	5,472,357
投資	345,794,018	162,917,026	50,032,554
貸付金	343,194,018	160,317,026	47,432,554
出資金	2,600,000	2,600,000	2,600,000
流動資産	1,226,523,463	1,285,080,937	1,214,765,928
現金及び預金	740,194,619	767,106,596	885,975,997
未収金	240,428,844	334,494,341	311,019,931
未収金（貸倒引当金除く）	245,402,537	339,736,273	315,938,434
貸倒引当金	▲4,973,693	▲5,241,932	▲4,918,503
前払金	245,900,000	183,480,000	17,770,000
資産合計	43,029,433,073	42,687,011,665	42,434,853,827

（負債・資本の部）

（単位：円）

科目＼年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
固定負債	7,739,246,176	7,669,183,660	7,645,268,349
企業債	7,516,677,749	7,429,305,596	7,405,257,967
引当金	222,568,427	239,878,064	240,010,382
退職給付引当金	222,568,427	239,878,064	240,010,382
流動負債	1,999,985,223	1,889,280,228	1,779,715,092
未払金	711,698,471	770,247,444	705,323,723
預り金	506,074	577,642	618,045
企業債	1,276,025,301	1,105,372,153	1,060,147,629
引当金	11,755,377	13,082,989	13,625,695
賞与引当金	11,755,377	13,082,989	13,625,695
繰延収益	18,467,141,853	18,363,967,056	18,404,694,453
長期前受金	46,732,005,622	47,429,310,730	48,180,255,505
長期前受金収益化累計額	▲28,264,863,769	▲29,065,343,674	▲29,775,561,052
資本金	8,791,257,070	9,037,053,304	9,205,301,900
自己資本金	8,791,257,070	9,037,053,304	9,205,301,900
剰余金	6,031,802,751	5,727,527,417	5,399,874,033
資本剰余金	5,968,062,126	5,968,182,512	5,968,304,422
受贈財産評価額	36,712,865	36,712,865	36,712,865
国庫補助金	4,172,405,843	4,172,405,843	4,172,405,843
交付金	87,573,497	87,573,497	87,573,497
他会計負担金及び補助金	1,457,682,003	1,457,802,389	1,457,924,299
受益者負担金	172,994,423	172,994,423	172,994,423
工事負担金	22,094,688	22,094,688	22,094,688
寄付金	18,598,807	18,598,807	18,598,807
利益剰余金（▲は欠損金）	63,740,625	▲240,655,095	▲568,430,389
当年度未処分利益剰余金（▲は未処理欠損金）	63,740,625	▲240,655,095	▲568,430,389
負債・資本合計	43,029,433,073	42,687,011,665	42,434,853,827

(3) 経 営 指 標

項　　目	算　　式	比　　率		
		令和５年度	令和６年度	令和７年度
固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産＋流動資産＋繰延資産}} \times 100$ (%)	97.1	97.0	97.1
固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債資本合計}} \times 100$ (%)	18.0	18.0	18.0
自己資本構成比率	$\frac{\text{資本金＋剰余金＋評価差額等＋繰延収益}}{\text{負債資本合計}} \times 100$ (%)	77.4	77.6	77.8
固定資産対長期資本比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金＋剰余金＋評価差額等＋固定負債＋繰延収益}} \times 100$ (%)	101.9	101.5	101.4
固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金＋剰余金＋評価差額等＋繰延収益}} \times 100$ (%)	125.6	125.0	124.9
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$ (%)	61.3	68.0	68.3
自己資本回転率	$\frac{\text{営業収益－受託工事収益}}{\text{(期首自己資本＋期末自己資本)／2}}$ (回)	0.1	0.1	0.1
固定資産回転率	$\frac{\text{営業収益－受託工事収益}}{\text{(期首固定資産＋期末固定資産)／2}}$ (回)	0.0	0.1	0.1
流動資産回転率	$\frac{\text{営業収益－受託工事収益}}{\text{(期首流動資産＋期末流動資産)／2}}$ (回)	1.7	1.5	1.5

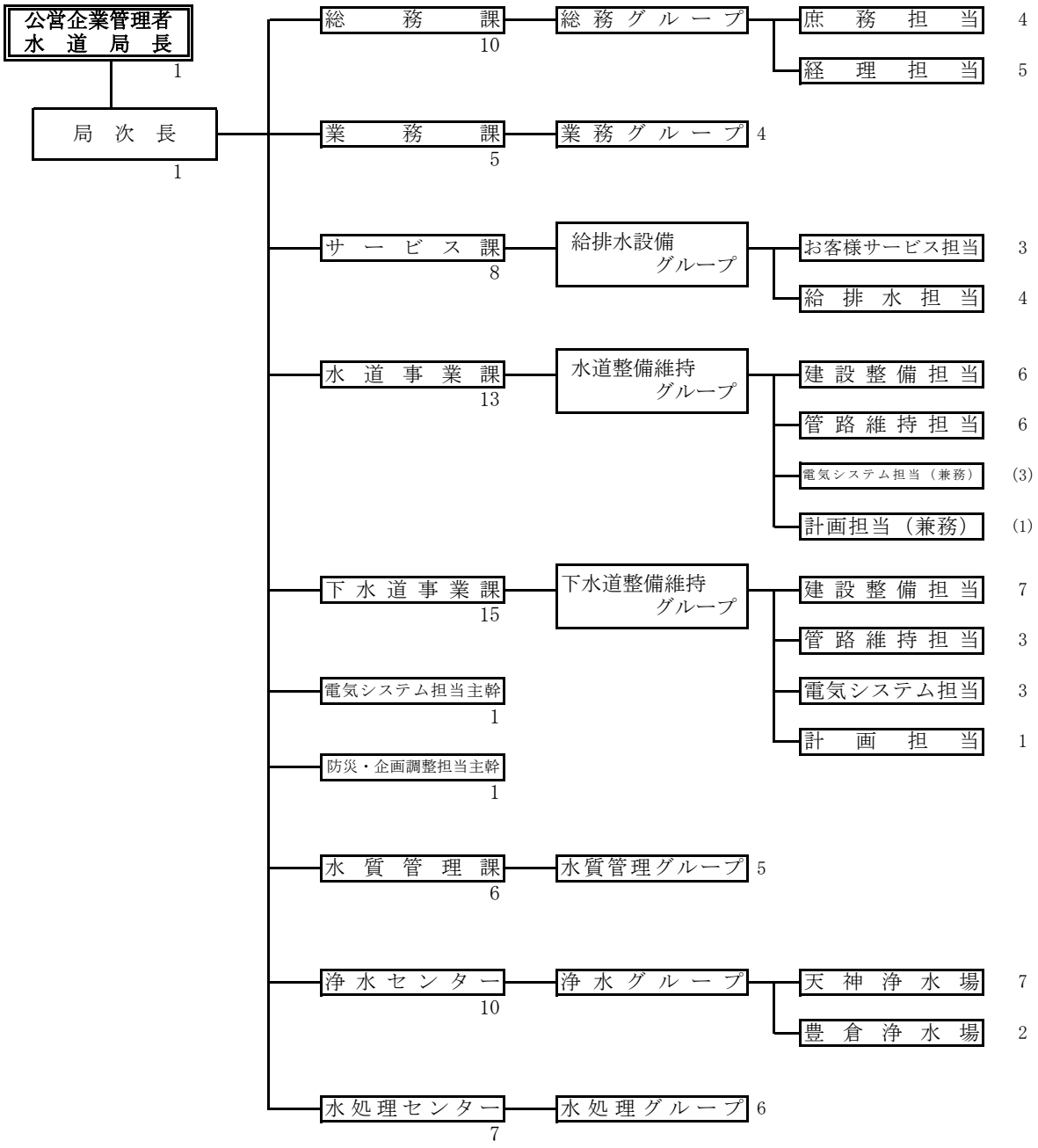
※ 自己資本＝資本金＋剰余金＋評価差額等＋繰延収益

機 構 及 び 人 事 状 況

1 機　構　図

職員数 78
（再任用含む）

令 和 8 年 3 月 31 日 現 在



2 事 務 分 掌

（ 令 和 8 年 3 月 31 日 ）

課（センターを含む。）	分　　掌　　事　　務
総　務　課	(1) 局の庶務並びに局内他課及びセンターとの連絡調整についてのこと。 (2) 儀式及び交際についてのこと。 (3) 公印の保管についてのこと。 (4) 例規の立案及び編さんについてのこと。 (5) 公告式についてのこと。 (6) 文書の審査、収受、発送及び保存についてのこと。 (7) 職員の進退、賞罰、服務及び身分についてのこと。 (8) 職員の給与についてのこと。 (9) 職員の任用及び配置についてのこと。 (10) 職員の研修及び教養についてのこと。 (11) 職員の福利厚生及び衛生管理についてのこと。 (12) 職員の労働組合についてのこと。 (13) 土地及び建物の取得、貸借及び管理についてのこと（局内他課及びセンターに属するものを除く。）。 (14) 局が所有する車両の総括管理についてのこと。 (15) 局庁内の取締りについてのこと。 (16) 予算の編成及び執行管理についてのこと。 (17) 決算についてのこと。 (18) 現金、有価証券及び担保物の出納及び保管についてのこと。 (19) 財政計画及び資金計画についてのこと。 (20) 財務諸表の作成についてのこと。 (21) 企業債、一時借入金及び一時運用金についてのこと。 (22) 工事及び業務委託の請負契約についてのこと。 (23) たな卸資産その他物品の購入及び修繕（たな卸資産を除く。）についてのこと。 (24) 資産の評価についてのこと。 (25) 小樽市水道事業及び下水道事業会計規程（昭和44年小樽市企業管理規程第８号）第74条の規定による物品の管理についてのこと。 (26) 固定資産及びたな卸資産の処分についてのこと。 (27) 水道及び下水道（以下「上下水道」という。）の普及及び広報についてのこと。 (28) 簡易水道事業についてのこと（他課及びセンターが所管する事務を除く。）。 (29) 局内他課及びセンターに属しないこと。
業　務　課	(1) 水道の使用の開始及び休止についてのこと。 (2) 水道料金、下水道使用料その他の収入（簡易水道事業に係るものを含む。以下「水道料金等」という。）の調定、収納及び還付についてのこと。 (3) 水道料金（簡易水道事業に係るものを含む。）及び下水道使用料の減免についてのこと。 (4) 水道料金等の未納整理及び欠損処分についてのこと。 (5) 給水停止処分その他の滞納処分についてのこと。 (6) 水道メーター（簡易水道事業に係るものを含む。以下「メーター」という。）についてのこと。 (7) 使用水量の計量及び認定並びに汚水排出量の認定についてのこと。 (8) 局料金センターについてのこと。
サ ー ビ ス 課	(1) 上下水道に関する相談、案内及び苦情処理についてのこと。 (2) 指定給水装置工事事業者及び下水道指定工事店についてのこと。 (3) 加入金及び受益者負担金の賦課及び減免についてのこと。 (4) 局が所有する土地の総合調整についてのこと。 (5) 上下水道施設に係る道路及び河川等の占用の許可及び更新並びに給水装置工事及び排水設備工事に伴う占用についてのこと。 (6) 給水装置及び排水設備の新設及び改造工事についてのこと。 (7) 配水管からメーターまでの給水装置に係る給水管及び給水用具の指定についてのこと。 (8) 給水装置の受託についてのこと。 (9) 給水装置及び排水設備に係る工事台帳の整備保管についてのこと。 (10) 水洗化の促進及び水洗化改造資金の貸付けについてのこと。 (11) 給水及び配水管路台帳図並びに下水道管路台帳図の交付についてのこと。 (12) 簡易水道事業に係る給水装置についてのこと。 (13) 開発行為のうち上下水道に係る調整及び寄附行為の受付並びに関係書類の保管についてのこと。 (14) 上下水道施設管理システムについてのこと。

課（センターを含む。）	分　　掌　　事　　務
水道事業課	(1) 配水管工事における占用についてのこと。 (2) 給水装置の修繕についてのこと。 (3) 給水施設の受託工事についてのこと（他課に係るものを除く。）。 (4) たな卸資産（メーターを除く。）の管理についてのこと。 (5) 配水管及びその附属施設についてのこと。 (6) 配給水管路台帳図及び仕切弁台帳の整備保管についてのこと。 (7) 導水管、送水管、配水管並びにそれら附属施設の維持管理についてのこと。 (8) 別表水道事業課の部に掲げる所管施設の維持管理についてのこと。 (9) 消火栓及び消火栓台帳の維持管理についてのこと。 (10) 漏水防止対策についてのこと。 (11) 緊急給水についてのこと。 (12) 簡易水道事業に係る配水管及びその附属施設についてのこと。 (13) 開発行為のうち水道に係る技術的指導についてのこと。 (14) 水道事業に係る企画、調査及び計画についてのこと。 (15) 水道施設の拡張及び更新の実施についてのこと。 (16) 水利権の取得についてのこと。 (17) 水道施設（給水施設を除く。）の受託についてのこと。 (18) 局本庁舎の工事の実施についてのこと。 (19) 簡易水道事業に係る計画の策定並びに拡張及び改良工事の実施についてのこと。
下水道事業課	(1) 下水道処理区域についてのこと。 (2) 管きょ工事における占用についてのこと。 (3) 排水設備の修繕についてのこと。 (4) 汚水管及び雨水管並びにそれら附属施設についてのこと。 (5) 公共下水台帳の整備保管についてのこと。 (6) 汚水管及びその附属施設の維持管理についてのこと。 (7) 開発行為のうち下水道に係る技術的指導及び検定についてのこと。 (8) 下水道事業に係る企画、調査及び計画についてのこと。 (9) 下水道施設の拡張及び更新の実施についてのこと。 (10) 局本庁舎の工事の実施についてのこと。
水質管理課	(1) 水道法（昭和32年法律第177号）等による定期及び臨時に実施する水質試験についてのこと。 (2) 水質の試験、調査等の受託についてのこと。 (3) 各浄水場、各下水終末処理場等における水質管理に関する調査及び指導についてのこと。 (4) 水道用薬品の試験についてのこと。 (5) 水質分析用機器及び自動水質計器等の保守点検についてのこと。 (6) 簡易水道事業に係る定期水質試験、水質管理等についてのこと。
浄水センター	(1) 別表浄水センターの項に掲げる所管施設（以下この項において単に「所管施設」という。）の維持管理についてのこと。 (2) 所管施設に係る流水の占用及び土地の占用許可の更新についてのこと。 (3) 所管施設に係る浄水管理状況の統計及び報告についてのこと。 (4) 所管施設に係る関係機関との連絡調整についてのこと。 (5) 所管施設に係る送水調整についてのこと。 (6) 所管施設に係る水源涵養保安林の維持管理についてのこと。 (7) 簡易水道事業に係る浄水場、配水池及び配水ポンプ所の維持管理についてのこと。 (8) 簡易水道事業に係る配水池の受水調整についてのこと。
水処理センター	(1) 別表水処理センターの項に掲げる所管施設の維持管理についてのこと。 (2) 下水の水質試験についてのこと。 (3) 下水道法（昭和33年法律第79号）第12条の２第１項に規定する特定事業場に係る各種届出の受理及び内容審査についてのこと。 (4) 下水道法第12条第１項に規定する除害施設の設置指導、確認及び検査についてのこと。 (5) 工場又は事業場に対する監視及び指導についてのこと (6) 工場又は事業場の排水の水質分析についてのこと。

別　表

所管課 （センターを含む。）	所管施設
水道事業課	桜第２高区ポンプ室、北手宮ポンプ室、奥沢ポンプ所、伍助沢ポンプ所及び最上ポンプ所
浄水センター	(1)　常盤ダムの貯水施設 (2)　天神浄水場、豊倉浄水場及び銭函浄水場の取水施設、導水施設、浄水施設並びに送水施設 (3)　文治沢配水池、清風ヶ丘ポンプ所、清風ヶ丘配水槽、新光配水池、桜第１高区配水地、桜低区配水池、桜第２高区配水池、潮見台配水池、真栄配水池、松ヶ枝配水池、高区配水池、中区配水池、低区配水池、於古発送水ポンプ所、於古発配水槽、於古発高区配水槽、長橋配水池、坂本配水池、オタモイ送水ポンプ所、オタモイ配水池、吉原配水池、幸配水池、北手宮配水池、手宮配水池、赤岩配水池、塩谷配水池、桃内配水池、蘭島配水池、望洋台ポンプ所、望洋台第１配水槽、望洋台第２送水ポンプ室、望洋台第２配水槽、於古発高区ポンプ室、高区送水ポンプ所、天神配水池、天神送水ポンプ所、朝里川温泉ポンプ室、朝里川温泉配水池、春香配水池、春香送水ポンプ所、春香第２送水ポンプ所、銭函高区揚水ポンプ室、銭函高区配水池、銭函中区配水池、銭函第１低区配水池、銭函第２低区配水池、見晴ポンプ所、見晴配水槽 (4)　(1)～(3)に附属する施設 (5)　休止施設のうち所管する施設
水処理センター	(1)　中央下水終末処理場、銭函下水終末処理場及び蘭島下水終末処理場 (2)　朝里第１汚水中継ポンプ場、朝里第２汚水中継ポンプ場、船浜汚水中継ポンプ場、勝納汚水中継ポンプ場、入船汚水中継ポンプ場、高島汚水中継ポンプ場、祝津汚水中継ポンプ場、塩谷第１汚水中継ポンプ場、塩谷第２汚水中継ポンプ場、塩谷第３汚水中継ポンプ場、張碓第１汚水中継ポンプ場、張碓第２汚水中継ポンプ場、若竹ポンプ所

3 職 員 配 置

（令和8年3月31日）

区分			職員 局長	局次長	課長	係長	副主査	事務	技術	その他の職員 技能	再任用	計
			人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
水道局	小樽市公営企業管理者 水道局長		1									1
	局次長			1								1
	主幹				2							2
	総務課	課長			1							1
		庶務担当				1		3				4
		経理担当				2	1	2				5
		計	－	－	1	3	1	5	－	－	－	10
	業務課	課長			1							1
		担当				2	1		1			4
		計	－	－	1	2	1	－	1	－	－	5
	サービス課	課長			1							1
		お客様サービス担当				1		1			1	3
		給排水担当				1	1		2			4
		計	－	－	1	2	1	1	2	－	1	8
	水道事業課	課長			1							1
		建設整備担当				2			4			6
		管路維持担当				1			5			6
		電気システム担当（兼務）				(1)			(2)			(3)
		計画担当（兼務）				(1)						(1)
		計	－	－	1	3	－	－	9	－	－	13
	下水道事業課	課長			1							1
		建設整備担当				2			5			7
		管路維持担当				1			1		1	3
		電気システム担当				1			2			3
		計画担当				1						1
		計	－	－	1	5	－	－	8	－	1	15

区分			職員							その他の職員		計
			局長	局次長	課長	係長	副主査	事務	技術	技能	再任用	
水道局	水質管理課	課長			1							1
		担当				2			3			5
		計	－	－	1	2	－	－	3	－	－	6
	浄水センター	所長			1							1
		天神浄水場				2			4		1	7
		豊倉浄水場				1	1					2
		計	－	－	1	3	1	－	4	－	1	10
	水処理センター	所長			1							1
		担当				3			3			6
		計	－	－	1	3	－	－	3	－	－	7
合計			1	1	10	23	4	6	30	－	3	78
前年同期			1	1	10	23	－	7	30	－	5	77

4 年齢別職員構成

（令和8年3月31日）

職名 / 年齢	職員		その他の職員		計	
	事務	技術	技能	再任用	人数	比率
20歳未満	0人	0人	0人	0人	0人	0.0％
20歳以上25歳未満	0人	5人	0人	0人	5人	6.5％
25歳以上30歳未満	2人	7人	0人	0人	9人	11.7％
30歳以上35歳未満	3人	9人	0人	0人	12人	15.6％
35歳以上40歳未満	4人	8人	0人	0人	12人	15.6％
40歳以上45歳未満	0人	4人	0人	0人	4人	5.2％
45歳以上50歳未満	2人	6人	0人	0人	8人	10.4％
50歳以上55歳未満	1人	10人	0人	0人	11人	14.3％
55歳以上60歳未満	1人	6人	0人	0人	7人	9.1％
60歳以上	2人	4人	0人	3人	9人	11.7％
計	15人	59人	0人	3人	77人	100.0％
平均年齢	42歳1か月	41歳11か月	－	64歳3か月	42歳10か月	

（公営企業管理者を除く）

5 勤続年数別職員構成

（令和8年3月31日）

職名 / 年数	職員		その他の職員		計	
	事務	技術	技能	再任用	人数	比率
1年未満	0人	0人	0人	0人	0人	0.0％
1年以上3年未満	5人	7人	0人	0人	12人	15.6％
3年以上5年未満	3人	8人	0人	0人	11人	14.3％
5年以上7年未満	1人	2人	0人	0人	3人	3.9％
7年以上9年未満	4人	12人	0人	0人	16人	20.8％
9年以上11年未満	1人	3人	0人	0人	4人	5.2％
11年以上15年未満	1人	6人	0人	0人	7人	9.1％
15年以上20年未満	0人	2人	0人	0人	2人	2.6％
20年以上25年未満	0人	5人	0人	0人	5人	6.5％
25年以上30年未満	0人	4人	0人	0人	4人	5.2％
30年以上35年未満	0人	8人	0人	0人	8人	10.4％
35年以上40年未満	0人	2人	0人	0人	2人	2.6％
40年以上	0人	0人	0人	3人	3人	3.9％
計	15人	59人	0人	3人	77人	100.0％
平均勤続年数	5年2か月	14年0か月	－	45年6か月	13年6か月	

（公営企業管理者を除く）

6 職員数推移調

（令和8年3月31日）

区分＼年度		H26			H27			H28			H29			H30			R元			R2			R3			R4			R5			R6			R7		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
職員	局長 局参事 局次長 主幹 課長 所長	11		11	11		11	10	1	11	10	1	11	10	1	11	10	1	11	11		11	12		12	12		12	12		12	12		12	11	1	12
	主査 係長	23		23	23		23	23		23	24		24	24		24	24		24	25		25	22	2	24	20	2	22	19	2	21	21	2	23	21	2	23
	事務	5	2	7	5	3	8	5	3	8	5	3	8	2	5	7	1	6	7	3	5	8	3	4	7	4	2	6	4	2	6	5	2	7	5	3	8
	技術	20		20	21		21	20		20	20		20	24		24	26		26	24		24	24	1	25	25	1	26	27	1	28	28	2	30	30	2	32
その他の職員	技能	12		12	12		12	10		10	9		9	9		9	8		8	4		4	3		3												
	労務																																				
	再任用	6		6	5		5	8		8	9		9	5		5	4		4	8		8	9		9	10	1	11	9	1	10	4	1	5	3		3
合　計		77	2	79	77	3	80	76	4	80	77	4	81	74	6	80	73	7	80	75	5	80	73	7	80	71	6	77	71	6	77	70	7	77	70	8	78
備　考																																					